

国分寺市男女平等推進行動計画

(国分寺市配偶者等からの暴力防止及び被害者支援に関する基本計画)

平成 28 年度及び第 1 次後期 (平成 24~28 年度) 進捗状況評価報告書



人はだれもが「ただその人である」というだけで、



かけがえのない存在です。

国 分 寺 市





目次



I	評価の考え方・手法について	2
1.	評価の目的	2
2.	評価者とその役割	2
3.	評価の頻度と公表	2
4.	評価の方法	2
5.	評価結果の報告	4
6.	男女平等推進行動計画実施状況評価の流れ	5
II	男女平等推進委員会からの答申	6
1.	本委員会における男女平等推進行動計画評価の経緯	8
2.	平成 28 年度及び後期計画の評価方法	8
3.	施策評価と特記事項について	9
4.	施策別評価と着目ポイント	12
III	施策別推進状況評価	20
課題 1	男女平等意識の醸成	21
課題 2	たがいの性の尊重と健康支援	30
課題 3	性別に起因する暴力や人権侵害の根絶	34
課題 4	就労における男女平等の推進	45
課題 5	男女共同参画を支える環境の充実	50
課題 6	政策・方針等の意思決定への男女共同参画	60
IV	数値目標の達成状況	65
V	評価方法の確認事項	68
VI	参考指標	69
VII	参考資料	74
資料No.1	自己点検票書式	75
資料No.2	平成 29 年度会議の開催状況	76
資料No.3	国分寺市男女平等推進行動計画の概要	78
1	計画の目的	78
2	計画の位置付け	78
3	計画の期間	78
4	計画の推進	78
5	計画の基本理念	79
6	計画の体系	80
資料No.4	国分寺市男女平等推進条例	82
資料No.5	国分寺市男女平等推進協議会設置規程	89

I 評価の考え方・手法について

1. 評価の目的

国分寺市男女平等推進行動計画（以下「行動計画」という。）は、男女平等を推進するための施策を体系化したものです。行動計画がどの程度達成されたかを客観的に評価することで、どの分野で男女平等推進施策が進んだか、あるいは進んでいないか、どういう事業が効果的か、あるいは効果的でないかが明らかになり、次に取り組むべき課題等を明らかにすることができます。

また、男女平等を推進するためには、市民の方々に男女平等について理解していただくことが重要です。評価結果を市民に公表することで、男女平等に関する市民の理解が深まることが期待できます。

2. 評価者とその役割

附属機関である国分寺市男女平等推進委員会（以下「推進委員会」という。）からの意見と、国分寺市男女平等推進専門委員会（庁内の主に事業所管課所属の職員で構成する市の内部組織。以下「専門委員会」という。）からの報告を受けて、国分寺市男女平等推進協議会（副市長を会長とし6人の部長で構成する市の内部組織。以下「推進協議会」という。）で、総合的な評価を行います。

推進委員会は評価をするにあたり、市民、事業者等の意見が十分反映され、公正で市民にわかりやすい評価となるよう配慮します。

また、推進委員会の評価は、専門的、市民的見地をもった第三者的立場からの評価ですので、推進協議会は最大限その意見の趣旨を踏まえ、総合的評価を行うよう努めます。

3. 評価の頻度と公表

計画的に進行管理を行うために、評価は毎年度実施し、その結果については、市が市民や事業者等に広く公表します。

4. 評価の方法

計画の実効性を高めるため、以下の各段階を踏んで評価を行います。

(1) 所管課による自己評価（自己点検票の作成）

各事業の所管課は、自己点検票を作成し、自らの事業について事業評価の視点から評価を行い、事務局である文化と人権課に提出します。

イ) 平成 28 年度評価

「事業評価の視点」は、次の①から③の3つの視点を各事業に応じて予め設定しました。

3つの視点	① 計画に沿った事業を行ったか。
	② 実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか（事業の主たる実施目的が男女平等推進そのものである場合）、又は事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか（事業の主たる実施目的が男女平等推進そのものでない場合）。
	③ 事業実施により、男女平等推進の観点からみて成果を挙げることができたと考えられるか。

「男女平等推進の視点」は、国分寺市男女平等推進条例第3条の規定事項のうち、当該事業に関連のある事項を自己点検票に記載しました。

これにより、所管課は事業の実施にあたり、男女平等推進の視点として条例の基本理念を改めて認識するとともに、事業評価の視点から、自己の事業について具体的・客観的に振り返り評価することができます。

所管課の評価の基準は下表のとおりです。各事業評価の3つの視点における評価の合計点を「3（事業評価の視点の数）」で除し、各アルファベットの規定点を超えるものについては☆をつけてプラス評価として平均値を所管課評価としました。

評価	評価の基準	数値換算
達成	計画所定の事業内容を達成した。	4点
A	前年度よりも実績が上がった。	4点
B	前年度と同様の実績があった。	3点
C	前年度より実績が下がった。	2点
D	実績がなかった。	1点
休止・廃止	計画所定の事業内容が休止・廃止になった。	1点

ロ) 平成24～28年度（後期計画）評価

計画改定時（平成24年度）と比較した場合の進捗状況の評価します。所管課の評価の基準は下表のとおりです。

また、平成24～28年度を通しての評価も併せて行います。これにより、後期計画期間に実施した事業を振り返るとともに、今後取り組むべき事業や課題を発見できます。

評価	評価の基準
◎	計画改定時よりも進捗が大幅に図られている。
○	計画に基づきおおむね予定通りに進捗が図られている。
△	未着手、進展なし。又は着手したものの、当初予定よりも進捗が大幅に遅れている。

(2) 推進委員会の評価

以下の手順で評価を行います。

イ) 事務局による総括票の作成

事務局である文化と人権課は、所管課から提出を受けた自己点検票を施策ごとに集約し総括票を作成します。

平成28年度評価については、所管課作成の自己点検票内「総合的に見た場合の当該年度の進捗状況」を評価基準に基づき数値換算します。施策ごとに数値を合計した後、事業数で除した数値を評語にします。総括票では、☆評価については勘案しません。

平成24～28年度（後期計画）評価については、所管課作成の自己点検票内「計画改定時と比べた場合の進捗状況」を数値換算（◎＝3，○＝2，△＝1点）します。施策ごとに数値を合計した後、事業数で除した数値を評語にします。

ロ) 施策評価

所管課から提出された自己点検票と併せて総括票を確認し、計画の推進状況を施策ごとに評価します。

評価基準は所管課の自己評価と同様ですが、数値換算した平均値による評価ではなく、総合判断で施策ごとの評価を行います。

評価をまとめて、市長に意見として答申します。

(3) 専門委員会の評価

所管課から提出された自己点検票を、事業ごとに検討します。

所管課評価と同様の基準に基づいて評価を行います。1つの事業に複数の所管課がある場合には、所管課評価を数値換算した合計を所管課数で除し、その平均値をもとめて評価します。ただし、☆評価については勘案しません。

委員に所管課の職員がいる場合には、所管課としての意見も聞きながら、評価を進めます。

必要に応じて評価理由を記載します。

(4) 推進協議会の評価

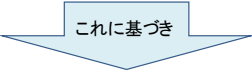
推進委員会からの意見と、専門委員会からの報告を受け、総合的な見地から市としての施策ごとの推進状況評価を行います。

5. 評価結果の報告

市は、評価結果を年次報告書としてとりまとめ、市民及び事業者等に分かりやすい形で報告します。

6. 男女平等推進行動計画実施状況評価の流れ

○国分寺市男女平等推進条例
 ○国分寺市男女平等推進行動計画(平成24年度中間見直し版)(2目標, 6課題, 26施策, 70事業)



	男女平等推進委員会	男女平等推進協議会	男女平等推進専門委員会	事業所管課	事務局	
役割	市長の諮問に応じ、男女平等推進施策に係る重要事項に関すること及び行動計画の進捗状況に関することについて調査審議し答申するほか、市長に建議することができる。	市の男女平等推進施策の総合調整、行動計画の策定・進捗管理に関すること。その他男女平等推進施策に関する重要事項について協議を行う。	行動計画の策定及び進捗管理に関して、左記協議会の指示により調査検討を行い、結果を協議会会長に報告する。	行動計画所定の事業を取り行う。	行動計画を推進するため関係機関と調整をする。	
構成員	男女平等社会の実現に向けて活動している団体の代表者：4人以内 公募市民：3人以内 有識者：3人以内	会長：副市長 副会長：市民生活部長 その他委員：政策部長、総務部長、福祉保健部長、子ども家庭部長、教育部長	市職員14人以内 (政策部：2人以内、総務部1人、市民生活部2人以内、福祉保健部3人以内、子ども家庭部2人以内、教育部4人以内)		文化と人権課職員	
時期	～10月				○今年度方針課内打合せ ○協議会会長・副会長打合せ	
	11月			各課で平成28年度及び第1次後期計画自己点検票作成・事務局へ提出(締切12/15)	課別メールにて、各課へ平成28年度及び第1次後期計画自己点検票記入依頼(自己点検票配布)	
	12月	第1回会議(12/15)開催 ○諮問 ○年間スケジュールと評価方法説明 ○次回以降の委員会日程検討				
	1月	第2回会議(1/19)開催 ○第1次後期計画施策別進捗状況評価審議 第3回会議(1/31)開催 ○第1次後期計画施策別進捗状況評価審議			確認内容を勘案して事業を執行	平成28年度及び第1次後期計画点検票内容確認、各課と調整、推進委員会へ総括票送付
	2月	第4回会議(2/2)開催 ○第1次後期計画施策別進捗状況評価審議 第5回会議(2/13)開催 ○施策評価の最終確認 ○答申案審議、答申決定 答申提出		第1回会議(2/5)開催 ○第1次後期計画事業別進捗状況評価審議 第2回会議(2/6)開催 ○第1次後期計画事業別進捗状況評価審議		
			第1回会議(2/20)開催 ○第1次後期計画及び第2次計画平成29年度上半期進捗状況について(推進委員会答申と専門委員会調査報告をもとに検討)	会長への報告		報告書案検討
3月					評価報告書起案(市長決裁・各課等へ送付)	

Ⅱ 男女平等推進委員会からの答申

(写)

平成30年2月13日

国分寺市長
井澤邦夫様

国分寺市男女平等推進委員会
委員長 長津芳

国分寺市男女平等推進行動計画の推進状況について（答申）

平成29年12月15日付けで、国分寺市男女平等推進行動計画の平成24～28年度（第1次後期計画）の進捗状況について諮問を受けました。

本委員会で審議の結果、別添のとおり取りまとめましたので答申します。

国分寺市男女平等推進行動計画
平成24～28年度（第1次後期計画）の
進捗状況の評価

平成30年2月13日

国分寺市男女平等推進委員会

1. 本委員会における男女平等推進行動計画評価の経緯

国分寺市男女平等推進行動計画（以下「行動計画」という。）は、平成20年5月にスタートしました。本委員会は、市長の諮問を受け、平成20年度は「行動計画の実施状況の評価にかかる指標及び方法について」、平成21年度、22年度、23年度は「行動計画の達成度の評価について」答申いたしました。さらに、平成23年度は行動計画の中間見直し年であったことから、平成20年度から平成22年度の3年間の総括評価についても答申いたしました。

平成24年度、25年度、26年度、27年度は、見直し後の行動計画の実施状況の評価しました。

今年度は、行動計画の最終年度である平成28年度及び平成24年度から28年度までの5年間（以下「後期計画」という。）の進捗状況について評価します。

2. 平成28年度及び後期計画の評価方法

（1） 施策評価の方法について

今年度の評価は、所管課（室）による自己点検票、施策ごとに所管課評価の平均値を求め、評価の基準により評語にした総括票を参照し、本委員会として進捗状況の評価を審議しました。評価は施策単位で行いました。

（2） 評価の考え方について

本委員会の評価は、男女平等推進の視点から見た次の表で示す基準によって行っています。したがって、事業本来の目的からは成果が上げられていても、男女平等推進の視点から見て成果を上げられたと評価できなければ、平成28年度は「実績がなかった。」、後期計画は「未着手、進展なし。または着手したものの、当初予定よりも進捗が大幅に遅れている。」と評価とさせていただきますことがあります。

本委員会は、評価と併せて、評価に際し着目したポイントを示しています。

各所管課（室）におかれましては、本答申の内容を念頭に置きながら、今後の事業に取り組んでいただくことを期待します。

	評価	評価の基準
平成28年度 評価	達成	計画所定の事業内容を達成した。
	A	前年度よりも実績が上がった。
	B	前年度と同様の実績があった。
	C	前年度より実績が下がった又は前年度よりも達成状況が下がった。
	D	実績がなかった。
	休止・廃止	計画所定の事業内容が休止・廃止になった。
後期計画 評価	◎	計画改定時よりも進捗が大幅に図られている。
	○	計画に基づきおおむね予定通りに進捗が図れている。
	△	未着手、進展なし。または着手したものの、当初予定よりも進捗が大幅に遅れている。

3. 施策評価結果と特記事項について

(※ 基本目標・課題については施策体系図を参照)

本委員会では、平成28年度及び後期計画の進捗状況を下表のとおり評価しました。

	課題	施策	平成28年度 評価	後期計画 評価	
基本目標 I	1	(1) 家庭や地域における男女平等の意識づくり	A	○	
		(2) 学校における男女平等教育の充実	B	○	
		(3) 庁内における男女平等意識の徹底	C	△	
		(4) 男女平等に関する実態把握	B	○	
		(5) 男女の人権に配慮した表現の推進	C	△	
	2	(1) たがいの性を理解し、尊重する意識の醸成	B	○	
		(2) 性差や年代に応じた健康支援	B	○	
	3	(1) ドメスティック・バイオレンスの予防のための取り組み	B	○	
		(2) ドメスティック・バイオレンス被害者の安全確保と自立支援	B	○	
		(3) 相談業務の充実と関係機関との連携	B	○	
		(4) セクシュアル・ハラスメント等の防止	B	○	
		(5) 人権侵害を予防するための支援	B	○	
		(6) 子どもにとっての男女平等	B	○	
		(7) 性犯罪被害者の支援	B	○	
	基本目標 II	4	(1) 事業者への啓発と支援	C	△
			(2) 男女平等の視点による調達の仕組みの検討	達成	◎
			(3) 起業・再就職への支援	B	○
(4) 働き方における格差の是正			C	△	
5		(1) 「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活との調和）」の推進	C	△	
		(2) 子育てへの支援	B	○	
		(3) 介護への支援	B	○	
		(4) 生活の安定と自立の促進	B	○	
		(5) 高齢者の虐待防止	B	○	
6		(1) 庁内における男女共同参画	B	○	
		(2) 地域における男女共同参画	B	○	
		(3) 新たに取り組むを必要とする分野への男女共同参画	B	○	

平成28年度評価	評価	施策数
	達成	1
	A	1
	B	19
	C	5
	D	0
	休止・廃止	0

後期評価	評価	施策数
	◎	1
	○	20
	△	5

(1) 平成28年度評価と特記事項について

前年度と同様の実績が多く、新たな取組が少ないように見受けられました。前年度と同様の実績でよしとせず、男女平等推進の意識を高め、より積極的に事業に取り組まれることを期待します。

- 特記事項
- ・「課題1－(1) 家庭や地域における男女平等の意識づくり」においては、市内都立高校へのデートDV防止パンフレット配布は、若年層に向けた有効な取組として評価します。また、多岐にわたる講座の開催等は、市民への男女平等の意識づくりに有効なものであると考えます。今後も継続的に実施されることを望みます。
 - ・「課題5－(1) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活との調和）の推進」においては、男性職員の育児休業取得率が目標値である1割に達していません。目標達成に向け、育児休業を取得しやすい環境づくりと意識啓発を果敢に進めていただくことを期待します。

(2) 後期計画評価と特記事項について

計画に基づきおおむね予定どおり進捗が図られていますが、進捗が大幅に遅れていると評価せざるを得ない施策もありました。事業内容に含まれている事業の未実施、目標値の未達成は残念に思います。実現へ向けて奮起していただくことを期待します。

- 特記事項
- ・「課題4－(2) 男女平等の視点による調達の仕組みの検討」においては、平成24年度に国分寺市公共調達条例が施行され、男女平等の取組を評価する総合評価方式競争入札を制度化されたことを評価します。
 - ・「課題1－(5) 男女の人権に配慮した表現の推進」においては、「男女平等の視点による表現のガイドライン」が作成されたものの、市民への普及に至っていません。作成のみにとどまらず、周知・活用を期待します。
 - ・「課題4－(1) 事業者への啓発と支援」においては、市内事業者への実態調査が実施されませんでした。実態を把握することは、事業者への意識啓発に有効であると考えますので、調査の実施をご検討ください。

(※ 個々の施策評価についてはP.12～19「4. 施策別評価理由」を参照)

(3) 評価全体を通して

本委員会では、所管課の自己点検票を基本の情報とし、今後の政策に反映されていくことを望みながら評価させていただきました。

自己点検票については、前年度よりも実績が上がったと思われる記載があっても実績が読み取りきれず、限られた情報や表現では十分に意思の疎通が図れない点が多々あると感じています。

第2次国分寺市男女平等推進行動計画の自己点検票を記載される際は、男女平等推進に関する視点に立って、取組実績を具体的に記載していただきたいと思います。

更に、必要に応じて所管課（室）と対面の説明の機会を設定していただき、信頼関係を構築した上で評価させていただければ、施策の推進に有効であると考えております。

自己点検票の評価を通して、国分寺市における男女平等社会の実現という目標が明確になることに意義があります。本委員会は、これからも所管課（室）と共に、目標達成に向けた取組を推進していきたいと考えております。

【施策体系図】

※本報告書 82・83 頁と重複するので掲載を割愛します。

4 施策別評価と着目ポイント

基本目標 1 男女の人権を尊重するまち

課題 1 男女平等意識の醸成

施策（1）家庭や地域における男女平等の意識づくり（事業No.1～3）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
A	○	<ul style="list-style-type: none">平成28年度は、前年度に引き続き市内都立高校にデートDV防止パンフレットを配布しており、若年層に向けた有効な取組として評価できる。講座の開催、情報誌の発行、市報・ホームページの活用等により、家庭や地域における男女平等の意識づくりの普及啓発を行っており、男女平等を意識し、今後の自分の生き方や個人を尊重することの大切さを考える契機となっている。

施策（2）学校における男女平等教育の充実（事業No.4～6）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none">性別にかかわらず児童・生徒が自己理解を深め、主体的に進路を選択することができるよう、キャリア教育及び進路指導を行っている。東京都の人権教育プログラムを活用し、人権尊重教育の適正な実施を図りながら、各学校における男女平等教育の充実に取り組んでいる。

施策（3）庁内における男女平等意識の徹底（事業No.7～8）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
C	△	<ul style="list-style-type: none">男女平等に関する職員意識調査が平成28年度未実施であったことは、非常に残念である。一方、庁内研修の実施・東京都市町村職員研修所への研修生派遣により、継続的に庁内における男女平等意識の徹底に取り組んでいることは評価できる。

施策（４）男女平等に関する実態把握（事業No.9～10）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度に実施した国分寺市男女平等に関する市民意識・実態調査の報告書をもとに、平成28年度に第2次国分寺市男女平等推進行動計画を策定した。 男女平等推進行動計画に基づく施策の実施状況について、年次報告書を作成し、男女平等に関する実態を把握している。

施策（５）男女の人権に配慮した表現の推進（事業No.11～13）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
C	△	<ul style="list-style-type: none"> 「男女平等の視点による表現のガイドライン」を作成したものの、市民への普及に至らなかったことは残念である。 一方、平成28年度は、公民館において積極的に講座を開催しており、メディア・リテラシーを育成する有効な取組として評価できる。

課題２ たがいの性の尊重と健康支援

施策（１）たがいの性を理解し、尊重する意識の醸成（事業No.14～15）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座の開催やH I Vと性感染症に関するポスター掲示・リーフレット配布により、たがいの性を理解し、尊重する意識の醸成に取り組んでいる。 学校においても、H I Vと性感染症に関する指導に取り組んでいるが、更なる工夫を期待する。また、L G B Tの理解を深める指導の実施も期待する。

施策（２）性差や年代に応じた健康支援（事業No.16～18）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> 女性特有のがん検診や女性を対象としたメンタルヘルス講座の開催、両親学級における孤独な育児を予防する健康教育等により、性差や年代に応じた健康支援を進めている。

課題3 性別に起因する暴力や人権侵害の根絶

施策（1）ドメスティック・バイオレンスの予防のための取り組み（事業No.19～21）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ドメスティック・バイオレンスの予防のための各事業が実施され、計画に基づき大いに進捗が図られた。 ・児童館での講座開催，市内都立高校へのデートDV防止パンフレットの配布は，若年層に向けた有効な取組として評価できる。 ・小・中学校においては，関係機関が連携し，「子どもいじめ虐待防止条例」及び「いじめ防止基本方針」の周知・徹底を図りながら，暴力を含むいじめの根絶に向けて取り組んでいる。

施策（2）ドメスティック・バイオレンス被害者の安全確保と自立支援（事業No.22～29）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関が連携を図りながら，ドメスティック・バイオレンス被害者の安全確保と自立支援に向けて取り組んでいる。 ・保育園や小・中学校に加え，子どもの健診の機会も捉え，虐待の早期発見に努めている。 ・女性等緊急一時保護費や一時保護施設が確保され，被害者を安全に保護する体制が整えられている。

施策（3）相談業務の充実と関係機関との連携（事業No.30～34）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の悩みごと相談，女性のための法律相談等を実施するとともに，相談窓口の周知に努めている。 ・DV防止連絡会，男女平等に関連する相談事業担当者情報交換会の開催により，関係機関との連携と情報共有を行っている。 ・ドメスティック・バイオレンス被害者が庁内で手続を行う際は，各課の担当職員が相談窓口に出向き対応する体制が整えられている。

施策（４）セクシュアル・ハラスメント等の防止（事業No.35～36）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・「職場におけるセクシュアル・ハラスメントの防止に関する基本方針（平成28年度より「ハラスメントの防止等に関する指針）」、「ハラスメントの防止等に関する要綱」を定め、庁内におけるセクシュアル・ハラスメント対策に取り組んでいる。 ・ハラスメント防止研修を実施し、指針の説明や相談体制の周知を行っている。 ・小・中学校においては、相談しやすい体制の再構築に取り組まれない。

施策（５）人権侵害を予防するための支援（事業No.37）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・講座の開催、情報誌の発行等により、ストーカー等の人権侵害について理解普及に取り組んでいる。 ・防犯まちづくり委員会での防犯啓発活動や防犯マニュアル配布により、市民への意識啓発を図っている。

施策（６）子どもにとっての男女平等（事業No.38）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会開催により、関係機関との連携と情報共有を行っている。 ・平成28年度に進行管理部会を立ち上げ、困難なケースも解決に導けるよう、より一層の連携強化に取り組んでいる。

施策（７）性犯罪被害者の支援（事業No.39）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度に「犯罪被害者等支援条例」を制定し、性犯罪被害者を含む犯罪被害者等支援相談窓口を整備し、周知に取り組んでいる。 ・平成24年度に「犯罪被害者等支援に関する庁内連携ハンドブック」を作成し、庁内への普及啓発を図った。 ・被害者の実態を把握し、ニーズに即した支援体制の検討が必要である。

基本目標 2 男女が平等に社会参画できるまち

課題 4 就労における男女平等の推進

施策（1）事業者への啓発と支援（事業No.40～42）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
C	△	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用における男女平等に関する実態調査が実施されなかったことは、残念である。 ・一方、ママインターン事業や就労支援講座の開催により、雇用における男女平等に関する啓発・情報提供に取り組んでいることは評価できる。 ・就労支援地域連絡会を開催し、関係機関との情報交換・連携を図っている。

施策（2）男女平等の視点による調達の仕組みの検討（事業No.43）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
達成	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度に「国分寺市公共調達条例」が施行され、男女平等の取組を評価する総合評価方式競争入札を制度化したことから、達成とした。

施策（3）起業・再就職への支援（事業No.44～45）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・起業講座やママインターン事業を含む就労支援講座の開催により、起業・再就職に関する情報提供・支援に取り組んでいる。 ・平成27年度には「創業支援事業計画」を策定し、起業に関する情報提供や支援の充実を図っている。 ・小口事業資金融資あっせん制度についても、支援拡充が図られている。

施策（4）働き方における格差の是正（事業No.46～47）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
C	△	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度は労働セミナーが開催されず、残念である。事業内容に「学習機会の提供」とあるので、パンフレット等の配架では不十分である。 ・一方、ママインターン事業を含む就労支援講座の開催により、事業者や市民に向けた情報提供を行っていることは評価できる。

課題5 男女共同参画を支える環境の充実

施策（1）「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活との調和）」の推進（事業No.48～49）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
C	△	<ul style="list-style-type: none"> ・男性職員の育児休業取得率が目標値である1割に達していないことは残念であり、取得率向上につながる職場環境の整備が望まれる。 ・一方、「特定事業主行動計画」の策定、「育児・介護・特別活動に関する休暇制度について」の冊子作成や超過勤務の削減は、庁内のワーク・ライフ・バランスを推進する有効な取組として評価できる。

施策（2）子育てへの支援（事業No.50～54）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・両親学級の土曜開催、父親を対象とした講座等の開催により、男女がともに子育てをするための意識づくりに取り組んでいる。 ・保育施設の増設や学童保育所の保育時間延長により、保育サービスの充実を図っている。 ・ファミリーサポートセンター事業や親子ひろば事業、赤ちゃんふらっとの拡充により、子育て支援に努めている。

施策（3）介護への支援（事業No.55～57）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・介護負担を軽減し、介護を社会全体で支えていけるよう、介護予防事業や講座の開催を行っている。 ・「介護保険べんり帳」や「介護保険ミニガイド」の配布により、介護保険制度の普及・利用促進に取り組んでいる。 ・介護者の支え合い・仲間づくりの場を提供し、介護者への支援を行っている。 ・役割をもった地域活動が介護予防につながる、「介護予防の理念」の普及啓発を図っている。

施策（４）生活の安定と自立の促進（事業No.58～61）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関と連携し、高齢者の自立支援のための啓発事業を行っている。 ・ 相談事業・講座の開催等により、障害者やひとり親家庭、外国人に対し、個々のニーズに即した情報提供や支援に取り組んでいる。 ・ 平成24年度より、ドメスティック・バイオレンス被害者をひとり親家庭関係の手当・医療費助成制度の対象とし、自立支援を行っている。

施策（５）高齢者の虐待防止（事業No.62）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者虐待防止ネットワーク代表者会議・実務者会議の開催により、関係機関との連携と情報共有を行っている。引き続き連携を深め、虐待を未然に防ぐ取組を期待する。 ・ 関係機関の役割等の情報をまとめ、「高齢者虐待対応マニュアル」を作成したことを評価する。 ・ 高齢者からの相談に対し、関係機関と連携し、適切な支援に努めている。

課題6 政策・方針等の意思決定への男女共同参画

施策（１）庁内における男女共同参画（事業No.63～65）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報提供や意識啓発は行われているものの、審議会等の委員における性の偏りは解消されていない。 ・ 全管理職に占める女性管理職の割合は目標値の10%を達成しているが、更なる向上への取組を期待する。また、各部局における男女比率にも配慮されたい。

施策（２）地域における男女共同参画（事業No.66～68）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座の開催により、男性の地域参画の促進に取り組んでいる。 ・ 女性リーダー育成講座は未開催であったが、女性の活躍につながる講座の開催や情報提供を行っている。

施策（3）新たに取り組みを必要とする分野への男女共同参画（事業No.69～70）

28年度 評価	後期計画 評価	評価に際し着目したポイント
B	○	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画の分野への女性参画推進のため、託児サービスを用意したが、都市計画審議会においては女性委員数に変動はなかった。 ・男女比を考慮した初動要員の配置により、女性の視点を取り入れた避難所運営に取り組んでいる。

III 施策別推進状況評価

施策別推進状況評価の見方

◆計画の体系

基本目標	1. 男女の人権を尊重するまち
課題	1. 男女平等意識の醸成

施策(1) 家庭や地域における男女平等の意識づくり

【事業評価の視点】
 ①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の視点からみて成果を挙げることができたと考えられるか
 【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)
 (事業No.1-2)性別にかかわらずなくとも、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が扱えること
 (事業No.3)国際社会における取組と密接な関係があることを認識して取組を推進すること

事業名	担当課	計画記載の主な事業内容	所管課報告の28年度主な事業実績	専門委員会評価
(No.1) 男女平等に関する学習機会の提供	男女平等人権課(現:文化と人権課) 公民館課 保育課(現:子ども子育て事業課)	男女平等推進センターや公民館で、女性のエンパワーメントや性別役割分担意識の解消などをテーマに講座等を開催します。男女平等への理解を広げる企画を充実し、若年層とともに進める事業に取り組みます。幅広い世代が参加できるよう、テーマや開催日時の工夫をします。○男女平等推進条例、男女平等推進行動計画の周知○多様な団体との連携による広報 ○公民館保育室事業の実施○男女平等の保育、幼児教育の促進○若年層とともに進める事業の実施 ○市民の作品募集による意識の普及	〔文〕庁内横断的に男女平等の概念を事業に浸透させるため、男女平等推進センターの各種講座を実施する際には連携できる部署がないか検討し、あれば連携を働きかけた。その結果、各課の事業と男女平等施策とを関連付けることができた。連携した際に各課の担当職員と関わることで、職員への情報提供も同時に行うことができた。 若年層向けのデートDV防止リーフレットを作成し、市内都立高校の生徒に配付した。 〔公〕幼い子(6か月～未就学児)のいる親を対象に「幼い子のいる親のための教室」を5館で開催。本多公民館で「子どもと食」を考える講座、ももち公民館で「子育て関連講座 子育て中こそ私のライフプランニング」を、11～12回の連続講座として実施した。また、光公民館で「防災学習会」、並木公民館で「子育てライフ講座 ころがる軽くなる子育てのヒント」の学習会を4～7回連続で実施、恋ヶ窪公民館で「アンガーマネジメント講座」や「託児付講座 これからの私を考える講座」を、2～3回の講座として実施。光公民館で「お父さん応援講座」を実施し、雑談力・会話術などコミュニケーションの取り方や地域でのまちづくりについて学習した。	B

所管課で事業評価をする際の評価視点及び男女平等推進の視点です。

行動計画記載の事業内容です。

所管課から提出を受けた自己点検票記載の、事業実績の抜粋です。所管課名は下記の略称で表しています。

職員で組織する男女平等推進専門委員会での評価と評価理由です。必要に応じて評価理由をつけています。評価は、事業別評価です。

市長から諮問を受けた有識者・市民等で組織する男女平等推進委員会の評価です。評価は施策別評価です。

男女平等推進委員会の評価に際し着目したポイントです。

~~~~~(略)~~~~~

##### ◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | A |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉  
 ・平成28年度は、前年度に引き続き市内都立高校にデートDV防止パンフレットを配布してあり、若年層に向けた有効な取組として評価できる。  
 ・講座の開催、情報誌の発行、市報・ホームページの活用等により、家庭や地域における男女平等の意識づくりの普及啓発を行っており、男女平等を認識し、今後の自分の生き方や他人を尊重することの大切さを考える契機となっている。

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | A |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価理由〉  
 ・前年度に引き続き平成28年度も実施した市内都立高校へのデートDV防止パンフレット配は、若年層に向けた啓発として効果があると考える。継続して取り組まれた。  
 ・計画期間において、多数の講座が開催されていることにより、男女平等の意識づくりに継続して取り組んでいる。

男女平等推進専門委員会と男女平等推進委員会の評価を基に、市の男女平等施策を総合的に推進するために設置された男女平等推進協議会(副市長を会長とし6人の部長で組織)で行った評価です。評価は施策別評価です。

男女平等推進協議会の評価理由です。

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | A    | A    | A    |

平成24～27年度の協議会(総合)評価です。

男女平等推進行動計画所管課一覧表

| 部      | 課(室)        | 略称     |
|--------|-------------|--------|
| 政策部    | 市政戦略室       | 〔市政〕   |
|        | 政策経営課       | 〔政策〕   |
| 総務部    | 契約管財課       | 〔契約〕   |
|        | 職員課         | 〔職員〕   |
|        | 防災安全課       | 〔防災〕   |
| 市民生活部  | 市民課         | 〔市民〕   |
|        | 経済課         | 〔経済〕   |
|        | 協働コミュニティ課   | 〔協コミ〕  |
| 福祉保健部  | 文化と人権課      | 〔文〕    |
|        | 生活福祉課       | 〔生福〕   |
|        | 障害福祉課       | 〔障害〕   |
|        | 健康推進課       | 〔健推〕   |
| 子ども家庭部 | 高齢福祉課       | 〔高福〕   |
|        | 子ども若者計画課    | 〔子若〕   |
|        | 子ども子育て事業課   | 〔子業〕   |
|        | 子ども子育てサービス課 | 〔子サ〕   |
| まちづくり部 | 子育て相談室      | 〔子相談〕  |
|        | まちづくり計画課    | 〔まち計〕  |
| 教育部    | 学校指導課       | 〔学校指導〕 |
|        | 公民館課        | 〔公民〕   |
|        | 図書館課        | 〔図書〕   |

|          | 評価    | 評価の基準                                   |
|----------|-------|-----------------------------------------|
| 平成28年度評価 | 達成    | 計画所定の事業内容を達成した。                         |
|          | A     | 前年度よりも実績が上がった。                          |
|          | B     | 前年度と同様の実績があった。                          |
|          | C     | 前年度より実績が下がった又は前年度よりも達成状況が下がった。          |
|          | D     | 実績がなかった。                                |
| 後期計画評価   | 休止・廃止 | 計画所定の事業内容が休止・廃止になった。                    |
|          | ◎     | 計画改定時よりも進捗が大幅に図られている。                   |
|          | ○     | 計画に基づき概ね予定通りに進捗が図られている。                 |
|          | △     | 未着手、進展なし。または着手したものの、当初予定よりも進捗が大幅に遅れている。 |

※29年度の所管名で表記

## 課題1 男女平等意識の醸成

### ◆計画の体系

|      |                 |
|------|-----------------|
| 基本目標 | 1. 男女の人権を尊重するまち |
| 課題   | 1. 男女平等意識の醸成    |

#### 施策(1) 家庭や地域における男女平等の意識づくり

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の観点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No.1・2)性別にかかわらずなくだれもが、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること</p> <p>(事業No.3)国際社会における取組と密接な関係があることを認識して取組を推進すること</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                    | 担当課                         | 計画記載の主な事業内容                                                                                                                                                                                                                       | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 専門委員会評価 |
|------------------------|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (No.1) 男女平等に関する学習機会の提供 | 文化と人権課<br>公民館課<br>子ども子育て事業課 | 男女平等推進センターや公民館で、女性のエンパワーメントや性別役割分担意識の解消などをテーマに講座等を開催します。男女平等への理解を広げる企画を充実し、若年層とともに進める事業に取り組みます。幅広い世代が参加できるよう、テーマや開催日時の工夫をします。◇男女平等推進条例、男女平等推進行動計画の周知◇多様な団体との連携による広報 ◇公民館保育室事業の実施◇男女平等の保育、幼児教育の促進◇若年層とともに進める事業の実施 ◇市民の作品募集による意識の普及 | <p>[文人]</p> <p>庁内横断的に男女平等の概念を事業に浸透させるため、男女平等推進センターの各種講座を実施する際には連携できる部署がないか検討し、あれば連携を働きかけた。その結果、各課の事業と男女平等施策とを関連付けることができた。連携した際に各課の担当職員と関わることにより、職員への情報提供も同時に行うことができた。</p> <p>若年層向けのデートDV防止リーフレットを作成し、市内都立高校の生徒に配付した。</p> <p>[公民]</p> <p>幼い子(6か月～未就学児)のいる親を対象に「幼い子のいる親のための教室」を5館で開催。本多公民館で「子どもと“食”を考える講座」、もともち公民館で「子育て関連講座 子育て中こそ私のライフプランニング」を、11～12回の連続講座として実施した。また、光公民館で「防災学習会」、並木公民館で「子育てライフ講座 ころが軽くなる子育てのヒント」の学習会を4～7回連続で実施。恋ヶ窪公民館で「アンガーマネジメント講座」や「託児付講座 これからの私を考える講座」を、2～3回の講座として実施。光公民館で「お父さん応援講座」を実施し、雑談力・会話術などコミュニケーションの取り方や地域での友だちづくりについて学習した。</p> <p>[子事業]</p> <p>男女隔てない保育をすることによって、子ども達に男女平等であるという意識を持ってもらえるよう努めた。また男性保育士の存在により、男女平等や男女平等の保育について、子ども達だけに限らず、保護者や地域の方々の理解が深まった。</p> | B       |

|                                |                                      |                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |          |
|--------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| <p>(No.2) 男女平等に関する情報の収集と提供</p> | <p>文化と人権課<br/>図書館課<br/>市政戦略室</p>     | <p>男女平等の推進に関する情報を収集し、市民へ効果的に情報提供していきます。<br/>◇男女平等推進センター情報誌の発行 ◇男女平等推進センターホームページの作成 ◇男女平等推進センター図書資料室事業の充実 ◇図書館でのコーナー設置</p> | <p>[文人]<br/>「ストーリー」をテーマとした情報誌を発行した。講座開催、各種相談等の情報を、市報・ホームページに掲載した。講座開催に合わせて、テーマに沿った図書資料を目に留まるよう配架した。<br/>[図書]<br/>6月に男女共同参画週間に合わせて、全館で男女平等をテーマとした図書を含めた展示を行った。市内各図書館で、男女平等・人権・家庭のあり方などを主題にした図書を、購入し、提供した。市役所等(国・東京都等を含む)が発行する男女平等・人権問題などの施策資料や啓発パンフレットなども収集し提供するように留意している。ライツこくぶんじ図書リストを図書館ホームページに掲載しライツこくぶんじについて、利用案内に掲載し新規の利用登録時に利用案内を提供し周知を図った。<br/>[市政]<br/>市報を作成する上で、常に男女平等の視点に立ち、人権及び男女平等に配慮した。また、市報の配布については、住民への全戸配布以外に公民館、地域センター等の公共施設のほかJR国分寺駅、JR西国分寺駅及び西武鉄道恋ヶ窪駅への配架を通じより多くの市民に広報活動を行った。</p>                                                                                                                                                                                                              | <p>B</p> |
| <p>(No.3) 国際的理解を深める学習機会の提供</p> | <p>文化と人権課<br/>公民館課<br/>協働コミュニティ課</p> | <p>男女平等社会実現の取組みは、国際社会における取組みと密接な関係があります。国際的な潮流や各国の生活様式の違いなどについて理解し、学習する場を提供します。</p>                                       | <p>[文人]<br/>男女平等の意識づくり講座「男女共同△入門～自分らしい男女平等～」を開催し、各国の男女共同参画に触れた。<br/>[公民]<br/>地域に住む外国人の日本語学習の支援と、市民との交流を目的とし、光公民館で「外国人の生活日本語教室」を実施した。日常生活での日本語使用において、できるだけ不自由のないよう、また活動が制限されないことがないよう、日本語の基本的な知識・語法を生活レベルで修得することを目指している。春学期(4月～7月)、秋学期(9月～12月)、冬学期(1月～3月)で全32回実施。また、学習者が母国の文化や料理をお互いに教え合う場を設定し、学習とは別に地域で交流が図られた。<br/>[協コミ]<br/>「外国人おもてなし語学ボランティア養成講座」(東京都の共催事業)セットコース:9月4日～28日(全5回) 修了者34名<br/>おもてなし講座:12月8日(全1回) 修了者59名以下の事業について、国分寺市国際協会へ補助金を支出。<br/>国際理解講座「世界を知ろうシリーズ」(年4回実施)<br/>第1回 「南米縦断の旅、多様な民族と人々の生活」 6月4日実施、参加者42名<br/>第2回 「トルコと中東の現在」 9月24日実施、参加者46名<br/>第3回 「シルクロードが日本文化に与えた影響について」 12月10日実施、参加者42名<br/>第4回 「米国新大統領の外交政策と対日政策について」 2月18日実施、参加者44名<br/>日本語地域連携連絡会懇談会「世界の読書文化-私の好きな1冊」 2月19日実施、参加者66名</p> | <p>B</p> |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | A |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・平成28年度は、前年度に引き続き市内都立高校にデートDV防止パンフレットを配布しており、若年層に向けた有効な取組として評価できる。  
 ・講座の開催、情報誌の発行、市報・ホームページの活用等により、家庭や地域における男女平等の意識づくりの普及啓発を行っており、男女平等を意識し、今後の自分の生き方や個人を尊重することの大切さを考える契機となっている。

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | A |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・前年度に引き続き平成28年度も実施した市内都立高校へのデートDV防止パンフレット配布は、若年層に向けた啓発として効果があると考えられる。継続して取り組まれない。  
 ・計画期間において、多数の講座が開催されていることにより、男女平等の意識づくりに継続して取り組んでいる。

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | A    | A    | A    |



◆計画の体系

|      |                 |
|------|-----------------|
| 基本目標 | 1. 男女の人権を尊重するまち |
| 課題   | 1. 男女平等意識の醸成    |

施策（2）学校における男女平等教育の充実

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の視点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No4・5)性別にかかわらずだれもが、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること</p> <p>(事業No6)性別の観点から、社会における制度又は慣行をできる限り中立なものにすること</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                          | 担当課   | 計画記載の主な事業内容                                                 | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                          | 専門委員会評価 |
|------------------------------|-------|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (No.4) 男女平等の視点をふまえた教育活動の推進   | 学校指導課 | 各教科・道徳・特別活動等教育活動全体を通じ、児童・生徒の発達段階に応じた人権尊重、男女平等意識を育む教育を推進します。 | 国分寺市人権教育推進委員会を開催し、「人権教育の基盤に立った教育活動の創造と推進」という主題のもと、各教科等における人権教育についてリーフレットを作成し、全ての教職員に配布するなどして、指導方法の改善・充実を図った。<br>市独自のいじめに関する実態調査を年間 3回実施し、性差にかかわらず相手を大切にすることの大切さについて、啓発を行った。<br>各中学校では毎年度全国中学生人権作文コンテストに参加している。                                                            | B       |
| (No.5) 性別にとらわれない職業意識の醸成、進路指導 | 学校指導課 | 職場体験や進路指導などにおいて、性別による固定的な役割分担意識にとらわれず主体的に進路を選択する能力・態度を育みます。 | 文部科学省の「キャリア教育の手引き」に基づき、市立小・中学校全校が「キャリア教育全体計画」を作成し、計画的にキャリア教育を推進した。その中で、あらゆる教育活動を通して、児童・生徒のキャリア形成を図り、自尊感情や自己肯定感の醸成につながっている。<br>キャリア教育の推進を図るため、キャリア教育・進路指導推進委員会を開催し、各校の取組を共有した。<br>児童・生徒の望ましい勤労観・職業観をはぐくむための具体的な機会として、中学校全校で1年生又は2年生を対象とする職場体験活動を3日間実施した。                   | B       |
| (No.6) 教職員への男女平等教育研修の実施      | 学校指導課 | 男女平等教育研修を充実し、教職員に対する男女平等意識の徹底を図ります。                         | 各学校においては男女が互いの違いを認めつつ、個人として尊重される男女両性の本質的平等の理念を児童・生徒に理解されるために、学習指導要領に基づいて、男女平等教育の適正な実施に努めている。<br>各校にセクシュアル・ハラスメント担当を配置して、相談できる体制をつくっている。<br>教員研修では、セクシュアル・ハラスメントやその他の非違行為を防止するため、各学校における服務事故防止研修を年2回実施している。<br>毎月の校長連絡会や副校長連絡会及び学校訪問の機会に、服務事故の具体的な事例に基づき、事故防止のための啓発を図っている。 | B       |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | B |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・性別にかかわらず児童・生徒が自己理解を深め、主体的に進路を選択することができるよう、キャリア教育及び進路指導を行っている。</li> <li>・東京都の人権教育プログラムを活用し、人権尊重教育の適正な実施を図りながら、各学校における男女平等教育の充実に取り組んでいる。</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間において、人権教育リーフレットの作成や職場体験、キャリア教育を継続し、学校における男女平等教育の充実が図られている。</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | B    | B    | B    |

◆計画の体系

|      |                 |
|------|-----------------|
| 基本目標 | 1. 男女の人権を尊重するまち |
| 課題   | 1. 男女平等意識の醸成    |

施策(3)庁内における男女平等意識の徹底

|                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の観点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No7・8)性別の観点から、社会における制度又は慣行をできる限り中立なものにすること</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                      | 担当課                        | 計画記載の主な事業内容                                                  | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 専門委員会評価                                                                                     |
|--------------------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| (No.7) 職員への男女平等研修の実施     | 職員課<br>文化と人権課<br>子ども子育て事業課 | 職員への男女平等意識の徹底を図るため、職員研修を実施します。全職員対象の研修のほか、対象や階層をしばった研修を行います。 | <p>[職員]</p> <p>男女平等研修として、庁内研修「ワーク・ライフ・バランス研修」を全職層を対象に実施した。新任研修及び重点課題研修として「ハラスメント防止研修」を実施した。</p> <p>東京都市町村職員研修所研修「男女共同参画社会形成研修」に職員を派遣した。</p> <p>[文人]</p> <p>新人研修において、ハラスメント防止について説明を行った。</p> <p>男女平等推進センターの講座案内、男女平等に関する情報を庁内イントラネットへ掲載した。</p> <p>[子事業]</p> <p>(旧保育課)ハラスメントやワークライフバランスの庁内研修に職員を派遣し、男女平等の意識について認識を高めた。</p> <p>(旧子育て支援課)児童館・学童保育施設として、子どもたちの男女平等の意識形成など配慮するよう職員会議等での事例研究や情報交換をした。</p> | <b>B</b><br>平成26年度に実施したイクボス研修は、管理職員の意識啓発及び男性職員の育児休業取得率向上に対する効果が期待できるため、今後も継続実施していくことを期待したい。 |
| (No.8) 男女平等に関する職員意識調査の実施 | 職員課<br>文化と人権課              | 男女平等に関する職員意識調査を行い、研修等を効果的に進めるための資料とします。                      | <p>[職員]</p> <p>平成28年度については調査を実施しなかった。</p> <p>[文人]</p> <p>今年度は実施しなかった。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <b>D</b><br>職員調査を実施していないため、D評価とする。                                                          |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   | 〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉                                                                                                      |
|-------------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 28年度        | C | <p>・男女平等に関する職員意識調査が平成28年度未実施であったことは、非常に残念である。</p> <p>・一方、庁内研修の実施・東京都市町村職員研修所への研修生派遣により、継続的に庁内における男女平等意識の徹底に取り組んでいることは評価できる。</p> |
| 後期計画        | △ |                                                                                                                                 |

| 協議会(総合)評価 |   | 〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉                                                                             |
|-----------|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 28年度      | B | <p>・計画期間において、平成25年度に男女平等に関する職員意識調査を実施している。また、ワーク・ライフ・バランス研修やハラスメント防止研修等を継続することで、男女平等意識の醸成に努めている。</p> |
| 後期計画      | ○ |                                                                                                      |

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | B    | B    | C    |

◆計画の体系

|      |                 |
|------|-----------------|
| 基本目標 | 1. 男女の人権を尊重するまち |
| 課題   | 1. 男女平等意識の醸成    |

施策(4)男女平等に関する実態把握

|                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の視点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No9・10)性別の観点から、社会における制度又は慣行をできる限り中立なものにすること</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                     | 担当課    | 計画記載の主な事業内容                                                 | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                     | 専門委員会評価                                                                 |
|-------------------------|--------|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| (No.9)男女平等に関する市民意識・実態調査 | 文化と人権課 | 無作為抽出による調査を行い、市民の意識や実態を把握します。                               | 今年度は実施しなかった。                                                         | <b>B</b><br>平成27年度に実施した男女平等に関する市民意識・実態調査の分析・把握を行い、第2次男女平等推進行動計画を策定している。 |
| (No.10)資料・データ等の整備       | 文化と人権課 | 市の各部署が保有する様々なデータ等を男女平等推進の視点から整理し、施策に反映していきます。<br>◇男女別データの整備 | 昨年度に引き続き、男女平等推進状況評価報告書を発行し、行動計画の推進状況と市が行っている男女平等推進関連事業についての情報提供を行った。 | <b>B</b>                                                                |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |          |
|-------------|----------|
| 28年度        | <b>B</b> |
| 後期計画        | <b>○</b> |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度に実施した国分寺市男女平等に関する市民意識・実態調査の報告書をもとに、平成28年度に第2次国分寺市男女平等推進行動計画を策定した。</li> <li>・男女平等推進行動計画に基づく施策の実施状況について、年次報告書を作成し、男女平等に関する実態を把握している。</li> </ul> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 協議会(総合)評価 |          |
|-----------|----------|
| 28年度      | <b>B</b> |
| 後期計画      | <b>○</b> |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度は、平成27年度実施の市民意識・実態調査の報告書をもとに、第2次国分寺市男女平等推進行動計画を策定している。</li> <li>・計画期間において、毎年度男女平等推進行動計画評価報告書を発行し、進捗状況及び男女平等推進関連事業の情報提供を行うとともに資料・データを整備している。</li> </ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 参考 | 24年度     | 25年度     | 26年度     | 27年度     |
|----|----------|----------|----------|----------|
|    | <b>B</b> | <b>B</b> | <b>A</b> | <b>A</b> |

◆計画の体系

|      |                 |
|------|-----------------|
| 基本目標 | 1. 男女の人権を尊重するまち |
| 課題   | 1. 男女平等意識の醸成    |

施策(5)男女の人権に配慮した表現の推進

|                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の観点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No11・12・13)性別の観点から、社会における制度又は慣行をできる限り中立なものにすること</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                             | 担当課                     | 計画記載の主な事業内容                                                                                                            | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 専門委員会評価 |
|---------------------------------|-------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (No.11)メディア・リテラシーを育成する学習機会の充実   | 文化と人権課<br>公民館課<br>学校指導課 | メディアに描かれる男女の性役割や暴力を助長する表現などに敏感になり、一人ひとりがメディアからの情報を能動的・批判的に読み解く力・活用する力をつけるための学習を推進・支援します。インターネット上の人権侵害の防止のための情報提供を行います。 | <p>[文人]</p> <p>男女平等の意識づくり講座「男女共同△入門～自分らしい男女平等～」を開催し、メディア・リテラシーに触れた。</p> <p>[公民]</p> <p>5館で実施している「幼い子のいる親のための教室」の講座の中で、メディア・リテラシーを学ぶ機会を持っている。恋ヶ窪公民館では、「子育て中こそ私のライフプランニング講座」の中で学習を行った。</p> <p>恋ヶ窪公民館では「メディアリテラシー講演会インターネットによる人権侵害から子どもを守ろう」を開催した。</p> <p>[学校指導]</p> <p>いじめ防止児童会・生徒会フォーラムにおいて児童・生徒が自ら話し合っって策定した「国分寺eルール」について、全小・中学校への一層の周知を図った。このことを踏まえて、各校は情報モラルの向上を図って指導を行い、メディアリテラシーの向上に取り組んだ。</p> <p>セーフティ教室の機会を活用するなどして、全校において、携帯電話やインターネット犯罪から身を守るための指導を実施するとともに、自らが加害者になり得る危険性について指導した。</p> <p>情報教育・ICT教育活用委員会を年2回、情報教育・ICT教育活用研修会年1回開催し、その中で教員や保護者を対象とする情報モラルに関する研修会も行い、情報教育の推進に努めた。</p> | B       |
| (No.12)男女平等の視点での市刊行物等の見直し       | 市政戦略室<br>文化と人権課<br>公民館課 | 「男女平等の視点による表現のガイドライン」をつくり、その活用を通じて市が情報を発信する際には、ジェンダー(社会的性別)にとらわれず、人権を尊重した表現を徹底します。                                     | <p>[市政]</p> <p>「男女平等の視点による表現のガイドライン」は市民へ広報されなかったが、市報を作成する上で、男女平等の観点に配慮した。また、配慮が欠けている原稿については、校正段階で広報担当と原稿作成者間で協議し修正した。</p> <p>[文人]</p> <p>市政戦略室と連携し、「男女平等の視点による表現のガイドライン」を作成した。</p> <p>[公民]</p> <p>公民館だより「けやきの樹」や事業のポスター・チラシなどの作成にあたっては、人権を尊重した表現を使用して作成している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | C       |
| (No.13)「男女平等の視点による表現のガイドライン」の普及 | 文化と人権課<br>市政戦略室         | 人権に配慮した情報発信が行われるよう、「男女平等の視点による表現のガイドライン」について市民に広報します。                                                                  | <p>[文人]</p> <p>ガイドラインを作成したが、見直しが必要となり、広報に至らなかった。</p> <p>[市政]</p> <p>「男女平等の視点による表現のガイドライン」が見直しとなったため、市民に広報することができなかった。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | D       |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | C |
| 後期計画        | △ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・「男女平等の視点による表現のガイドライン」を作成したものの、市民への普及に至らなかったことは残念である。  
 ・一方、平成28年度は、公民館において積極的に講座を開催しており、メディア・リテラシーを育成する有効な取組として評価できる。

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・市民への広報に至らなかったが、平成28年度に「男女平等の視点による表現のガイドライン」が作成された。  
 ・計画期間において、公民館や小・中学校での講座開催により、メディア・リテラシーを育成する学習機会を充実させている。

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | C    | B    | C    | C    |

## 課題2 たがいの性の尊重と健康支援

### ◆計画の体系

|      |                  |
|------|------------------|
| 基本目標 | 1. 男女の人権を尊重するまち  |
| 課題   | 2. たがいの性の尊重と健康支援 |

#### 施策(1) たがいの性を理解し、尊重する意識の醸成

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか③事業実施により、男女平等推進の視点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No14・15)性別にかかわらずだれもが、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                             | 担当課                          | 計画記載の主な事業内容                                                                                                                                   | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 専門委員会評価 |
|---------------------------------|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (No.14)たがいの性を理解し、尊重するための学習機会の提供 | 文化と人権課<br>子ども子育て事業課<br>学校指導課 | 男女平等推進センターにおける講座等を通じて、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康/権利)」の普及を図ります。若年層が学習できる場として、児童館と連携した取組みを行います。学校教育の場において、人権尊重の視点に立ち、性について正しい理解を得るための授業を行います。 | <p>[文人]</p> <p>デートDV啓発講座「友だちと仲よくできる言葉のチカラ」をの2つの児童館で開催した。リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座「親子で学ぶカラダの変化のお話～月経ってなあに?～」 「思春期の男の子のからだどころの変化のお話」を開催した。</p> <p>[子事業]</p> <p>日常の児童館において、児童が自然な関わりをもてるよう配慮している。小学生から中学生などの若年層が、同空間にて自然な形で相手と調和がとれる場の設定として、館内宿泊を実施する。また、児童館と学童保育所および中学生障害児保育が実施されている施設においては、日常的に幅広い学年の関わりが持て、多様な性の理解と人権を尊重する意識醸成が行われている。</p> <p>[学校指導]</p> <p>小学校4年生の体育では、体の発育・発達について理解できるようにしている。中学校1年生では、思春期には、内分泌の働きによって生殖にかかわる機能が成熟することや、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となることを指導している。これらの発達段階に応じた指導が、全小・中学校で作成する指導評価計画に記載され、教育課程に位置付けている。</p> <p>また、都の「性教育の手引」を踏まえ、道徳や理科及び学級活動等でも指導がなされている。「人権教育プログラム」における人権課題「女性」の視点に基づき、男女共同参画社会の実現に向けて主体的に取り組む態度の育成を図っている。</p> | B       |

|                            |                |                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |
|----------------------------|----------------|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| (No.15) HIVや性感染症などに関する情報提供 | 文化と人権課         | HIVや性感染症について正しい知識の普及のため積極的に情報提供を行います。 | <p>[文人]<br/> リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座「親子で学ぶカラダの変化のお話～月経ってなあに?～」 「思春期の男の子のからだどこころの変化のお話」を開催した。<br/> 東京都エイズ予防月間にあわせ、市ホームページで、広報を行った。</p> <p>[健推]<br/> 基本的にHIV・性感染症は、都の事業であるため、センター内にポスターの掲示や相談時・講座実施時における啓発資料(リーフレット等)の配布を実施している。健康推進課では、相談時に対応(質問に回答)したり、保健所で行っている無料のHIV検査や性感染症を調べられるクリニックについての紹介を行っている。</p> <p>[学校指導]<br/> 小学校6年生の体育の学習指導では、病気の予防について取り上げる中でエイズの理解と感染者に対する接し方を指導し、中学校3年生の保健体育では、感染症は病原体が主な要因となって発生すること、感染症の多くが発生源をなくすことや感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることを指導している。こうした教育活動をとおして、HIVや性感染症などに関する児童・生徒の適正な理解を図っている。<br/> 東京都の「人権教育プログラム」において人権課題「HIV感染者・ハンセン病患者等」の指導事例が掲載されており、人権教育の視点から啓発が図られている。</p> | B |
|                            | 健康推進課<br>学校指導課 |                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |   |

◆ 施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | B |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座の開催やHIVと性感染症に関するポスター掲示・リーフレット配布により、たがいの性を理解し、尊重する意識の醸成に取り組んでいる。</li> <li>・学校においても、HIVと性感染症に関する指導に取り組んでいるが、更なる工夫を期待する。また、LGBTの理解を深める指導の実施も期待する。</li> </ul> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                          |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間において、児童館でのデートDV防止啓発講座やリプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座への親子参加により、若年層への啓発に取り組んでいる。引き続き若年層に向けた啓発・情報提供に取り組んでいただきたい。</li> </ul> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | B    | B    | B    |



◆計画の体系

|      |                  |
|------|------------------|
| 基本目標 | 1. 男女の人権を尊重するまち  |
| 課題   | 2. たがいの性の尊重と健康支援 |

施策(2)性差や年代に応じた健康支援

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の観点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No16・17・18)性別にかかわらずだれもが、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                             | 担当課   | 計画記載の主な事業内容                              | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 専門委員会評価 |
|---------------------------------|-------|------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (No.16)性差や年代に応じた健康に関する情報提供・相談事業 | 健康推進課 | 性差に応じた疾病や健康上の課題について、講演会を開催するなど情報提供を行います。 | 女性特有のがんである「乳がん予防・早期発見」に関する講座を実施した。また、女性に多い気分の落ち込みの対処法について「メンタルヘルズ講座」を実施した。保育(託児)も実施し、子育て中の女性も参加しやすいように配慮した。<br>H26年度より子育て世代の女性を対象に子どもの健診時に乳がん・子宮がんの予防方法、視触診について説明とポスター配布を行っており、H28年度も継続的に行った。<br>また、健康づくりの情報提供として、高齢者に対しては敬老会や地域包括支援センターでの出前講座の実施、働き盛り世代等に対しては両親学級などの母子保健事業の中で親世代の健康づくりについての情報提供の実施、若い世代に対しては、市内大学に食事や健康に関するチラシの配布を実施するなど、年代に応じた内容・情報発信方法を工夫して実施した。 | B       |
| (No.17)性差に配慮した健診・検診の実施          | 健康推進課 | 骨粗しょう症検診、乳がん検診、子宮がん検診を実施します。             | 乳がん検診:40歳以上の女性を対象に、4月～翌年3月、国分寺市医師会公衆衛生センターおよび東京都がん検診センターで実施。受診者総数:2,338人。<br>子宮がん検診:20歳以上の女性を対象に、4月～翌年2月、国分寺・小金井・小平市内の指定医療機関で実施。<br>受診者総数:2,580人。                                                                                                                                                                                                                   | B       |
| (No.18)妊産婦への支援                  | 健康推進課 | 母子の健康に着目した健康指導、健康診査を実施します。               | 妊娠届出時に、妊娠に対する気持ちや協力者の有無等についてアンケート記載をいただき、産後のメンタルヘルズについて周知徹底、相談先の紹介実施。記載いただいたアンケート結果は、保健師による会議を開催し、支援が必要な方に対して個別支援を開始できるようにした。妊娠期から乳幼児期にかけて(妊婦訪問・新生児訪問・乳幼児健診・乳幼児母性健康相談等)電話・訪問等で母子の相談を実施している。                                                                                                                                                                         | B       |

◆ 施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | B |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・女性特有のがん検診や女性を対象としたメンタルヘルス講座の開催，両親学級における孤独な育児を予防する健康教育等により，性差や年代に応じた健康支援を進めている。

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・計画期間において，乳がん・子宮がん検診やメンタルヘルス講座，妊娠届時や乳幼児健診の機会を捉えた相談により，妊産婦を含めた女性の健康支援に努めている。  
 ・性差や年代に応じた健康支援のより一層の充実を期待する。

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | B    | B    | B    |

### 課題3 性別に起因する暴力や人権侵害の根絶

#### ◆計画の体系

|      |                      |
|------|----------------------|
| 基本目標 | 1. 男女の人権を尊重するまち      |
| 課題   | 3. 性別に起因する暴力や人権侵害の根絶 |

#### 施策(1) ドメスティック・バイオレンスの予防のための取り組み

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の視点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No19・20・21)性別にかかわらずなくだれもが、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                    | 担当課                 | 計画記載の主な事業内容                                                                                                 | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                          | 専門委員会評価 |
|------------------------|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (No.19) 広報啓発活動による普及    | 文化と人権課              | DVのメカニズムや背景、実態などについて市民や医療・福祉機関などの関係者の理解が深まるよう、さまざまな機会を通じて広報活動を行います。<br>◇広報活動の強化<br>◇啓発資料の作成・普及<br>◇研修・講座の開催 | デートDV啓発講座「友だちと仲よくできる言葉のチカラ」、アンガーマネジメント講座「どう乗り越える？あなたのイライラ・家族の八つ当たり」、DV対策講座「パートナーは変わるか～DV加害者更生プログラムってなんだろう？」を開催した。<br>昨年度に引き続き、啓発リーフレットを市内の民間商業施設等に配架した。<br>若年層向けのデートDV防止リーフレットを作成し、市内都立高校の生徒に配付した。                                                                        | B       |
| (No.20) 「デートDV」に関する啓発  | 文化と人権課<br>子ども子育て事業課 | 「デートDV」について、若年層が主体的に考えることができるよう、児童館などにおいて予防のための学習の場をつくります。近隣大学との連携のあり方を検討します。                               | [文人]<br>デートDV啓発講座「友だちと仲よくできる言葉のチカラ」を開催した。<br>若年層向けのデートDV防止リーフレットを作成し、市内都立高校の生徒に配付した。<br>[子事業]<br>児童館の中高生タイムの実施により、中学生・高校生または17歳以下の若年層が自然の形で、自分を取り巻く人間関係や恋愛の話を日常会話として出来るような場の設定をしている。                                                                                      | B       |
| (No.21) 学校教育における暴力予防教育 | 学校指導課               | 学校教育を通じて、どんな理由があっても暴力は許されないことを学ぶ機会をつくります。                                                                   | いじめ防止児童会・生徒会フォーラムを開催し、児童・生徒の意識の向上を図り、主体的に考え、行動する機会とした。<br>小学校5年生、中学校1年生の全学級で弁護士によるいじめ防止授業を行い、法の視点から暴力の否定を訴えた。<br>市独自の暴力を含めたいじめに関する実態調査を年間3回実施し、いじめ防止・早期発見の意識啓発を継続的に行うとともに、国の問題行動調査における暴力に関する調査も年間1回実施している。<br>教職員に対して、不適切な指導を含めて、体罰防止の撲滅について啓発するとともに、都調査と連携した体罰防止研修を実施した。 | B       |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | B |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・ドメスティック・バイオレンスの予防のための各事業が実施され、計画に基づき大いに進捗が図られた。  
 ・児童館での講座開催、市内都立高校へのデートDV防止パンフレットの配布は、若年層に向けた有効な取組として評価できる。  
 ・小・中学校においては、関係機関が連携し、「子どもいじめ虐待防止条例」及び「いじめ防止基本方針」の周知・徹底を図りながら、暴力を含むいじめの根絶に向けて取り組んでいる。

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・計画期間において、児童館でのデートDV防止啓発講座や市内都立高校へのデートDV防止パンフレット配布により、若年層へ向けた啓発の取組が進んでいる。

|    | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
| 参考 | B    | B    | B    | A    |

◆計画の体系

|      |                      |
|------|----------------------|
| 基本目標 | 1. 男女の人権を尊重するまち      |
| 課題   | 3. 性別に起因する暴力や人権侵害の根絶 |

施策(2) ドメスティック・バイオレンス被害者の安全確保と自立支援

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の視点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No22・23・24・25・26・27・28・29)性別にかかわらずなくだれもが、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                    | 担当課                      | 計画記載の主な事業内容                                            | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 専門委員会評価                                            |
|------------------------|--------------------------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| (No.22) 健診などを通じての発見と対応 | 健康推進課                    | 子どもの健診などをとおしてDVの発見に努め、見つかった際には、関係機関と連携して速やかに適切な対応をします。 | 母子保健事業を通じて、母親や家族背景を把握。保健師の役割を説明し、信頼関係を築き、安心して相談できる関係を作る。家族の全体像をアセスメントし、安全確保と、生活面や精神面でのフォローとして必要な機関(相談・医療機関)の利用・支援者の自己決定を支援した。                                                                                                                                                                                               | B                                                  |
| (No.23) 関係者による通報の周知    | 文化と人権課                   | 市民や医療関係者、福祉関係者に対して、「DV防止法」に基づく通報についての周知・定着を図ります。       | 昨年度に引き続き、啓発リーフレットを市内の民間商業施設等に配架した。市報へ「女性に対する暴力防止」記事を掲載した。                                                                                                                                                                                                                                                                   | B                                                  |
| (No.24) 被害者の安全確保       | 生活福祉課<br>文化と人権課<br>契約管財課 | 女性等緊急一時保護費支給事業をはじめとして、保護を求める被害者の安全確保を図ります。             | <p>[生福]</p> <p>DV被害者との面接相談によって、一時保護の必要性を判断し、被害者にとって最も適切な施設に一時保護した。なお、一時保護解除後については、世帯の状況に応じて、母子生活支援施設入所や民間アパート転宅となった。</p> <p>[文人]</p> <p>緊急一時保護費支給対象となる案件がなかった。</p> <p>[契約]</p> <p>休日や夜間など市役所の閉庁時に、ドメスティック・バイオレンスによる被害者から保護を求めてきた時は、二次被害を起こさないように言動に細心の注意をはかるように当直警備員に徹底した。近くに身を寄せる場所が確保できない場合は、市の施設内に一時的に宿泊できる場所の確保を行う。</p> | B<br>女性等緊急一時保護費や一時保護施設が確保され、被害者を安全に保護する体制が整備されている。 |

|                             |                              |                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |   |
|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| (No.25)被害者の支援にかかる情報の取扱いへの留意 | 市民課<br>子ども子育てサービス課<br>文化と人権課 | 住民基本台帳の他、国民健康保険、介護保険、児童手当など、住民基本台帳からの情報に基づき事務処理を行う部署において、情報管理を徹底します。                            | [市民]<br>ドメスティック・バイオレンスやストーカー行為等の加害者による、被害者の住民票の写しや戸籍の附票の写し等の交付の請求に対し、発行停止の支援措置を講じることで、被害者の安全確保を図った。<br>支援措置の対応には細心の注意を払う必要がある、かつ同措置は関係する市区町村(本籍地・前住所地等)にも支援を依頼するため、処理にあたっては慎重に対応した。<br>支援措置被害者情報を庁内(課税課・納税課・保険課・選挙管理委員会事務局・学務課)で連携し、横断的に被害者の安全確保を図った。<br>事務的な処理にとどまらないように、生活福祉課の母子相談員と連携をし、申請者の利便を図った。<br>番号制度の情報提供ネットワークシステムへの自動応答不可設定及びマイナポータルでの不開示設定を徹底した。<br>[子サ]<br>市民課における支援措置情報を始め業務システムにおける連携情報を有効に活用しつつ、窓口対応時の配慮や情報管理の徹底を引き続き行った。また、DV防止連絡会へオブザーバーとして出席し関係部署との情報共有を行った。<br>[文人]<br>DV防止連絡会(市の内部の関係部署の連絡会)を開催した。<br>DV防止連絡会において、DV被害者支援講座「DV被害者保護における司法と行政の連携について」を開催した。 | B |
| (No.26)さまざまな配慮を必要とする被害者への対応 | 文化と人権課                       | 外国人や障害者など特に支援を必要とする人に配慮した情報提供を行います。                                                             | 外国の方や障害のある方からの相談を受け、情報提供を行った。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | B |
| (No.27)民間シェルターへの財政的支援       | 文化と人権課                       | 被害者の緊急一時保護に重要な役割を果たしている民間シェルターの安定的運営を支援するため補助事業を行います。                                           | 東京多摩地域民間シェルター連絡会(夫等の暴力から避難する女性等を一時保護することを目的として運営している民間の緊急一時保護施設の連絡会)に対して、昨年度に引き続き補助金の支給を行った。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | B |
| (No.28)被害者の自立支援             | 生活福祉課<br>文化と人権課              | 日常生活、就業、住居等について各種制度を活用し、関係機関と連携しながら被害者の自立を支援します。<br>被害者の回復の一助として、必要な情報を提供し、被害者の心理的な安定、回復を支援します。 | [生福]<br>一時保護を行った被害者世帯については、被害者世帯の状況に応じて、入所施設の専門職員や医療機関、児童相談所、その他関係機関と連携し、計画的かつ継続的な支援を行った。<br>一時保護に至らなかった相談者についても、継続的な相談を行い、必要に応じて関係機関と情報共有を図った。<br>[文人]<br>男女平等推進センターにおいて相談を実施した。情報提供や関係機関と連携し、自立を支援を行った。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | B |

|                     |           |                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
|---------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| (No.29) 子どもの安全確保とケア | 子育て相談室    | <p>児童虐待防止の部署と連携し、DVがある家庭の子どもの安全確保を図ります。日常生活の中で被害者の子どもが適切に配慮されるよう、学校、保育園等において丁寧な対応を行います。</p> | <p>[子相談]<br/>相談の中でDVが疑われる家庭を把握した場合、文化と人権課や母子父子自立支援員などの紹介を行った。<br/>他市よりDVで逃げてきたり、逆に他市へ逃げる家庭に対し、転出入先の児童関係の関係機関と連携をして支援を行った。<br/>また、母子父子自立支援員と月一回定期的な連絡会を行い、子どものいるDVケースを把握し支援状況の確認を行った。<br/>父子家庭の相談支援としてもウイメンズプラザなどの紹介をした。<br/>定期的に関催される文化と人権課主催のDV防止連絡会にも出席している。</p> <p>[子事業]<br/>(旧保育課) 公立、私立に係わらずDV・虐待等が疑われる児童の早期発見に努め、保護者による不適切な養育等虐待が疑われた場合には、子ども子育て事業課・保育園や子ども家庭支援センター、児童相談所などの関連機関と連携をしながら、児童虐待の早期発見に努めた。<br/>(旧子育て支援課) 日常的に直接子どもたちと関わりながら、児童虐待の早期発見に努めた。虐待と疑われるケースについて、関連機関とケース会議を開催し、情報を共有した。<br/>乳幼児親子を対象に健康推進課と連携して、ミニ相談会を実施して地域での相談ができる環境を作った。<br/>地区連絡協議会に参加し、児童虐待について、関係機関の役割と連携のあり方について情報交換を行った。</p> <p>[学校指導]<br/>スクールソーシャルワーカーを配置し、定期的に学校を巡回するとともに、児童・生徒への虐待の早期発見・早期対応に努めた。<br/>要保護対策地域協議会と連携し、児童・生徒への虐待について情報交換し、早期対応に努めた。<br/>市立小・中学校全校に「学校サポートチーム」を設置し、子ども家庭支援センターや児童相談所、民生・児童委員、主任児童委員、警察職員等と連携し、虐待を受けている児童・生徒の早期対応に努めている。<br/>各学校に、児童生徒虐待防止担当教員を配置し、組織的な対応の充実を図った。<br/>児童・生徒虐待対応担当教諭研修会を1回開催した。<br/>虐待について、指導主事が生活指導主任会で有効な指導事例を情報提供するなどした。その中で、教育相談の関与を強め、虐待の未然防止を図るべく、指導・助言を行った。</p> | B |
|                     | 子ども子育て事業課 |                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |
|                     | 学校指導課     |                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |   |

◆ 施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | B |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関が連携を図りながら、ドメスティック・バイオレンス被害者の安全確保と自立支援に向けて取り組んでいる。</li> <li>保育園や小・中学校に加え、子どもの健診の機会も捉え、虐待の早期発見に努めている。</li> <li>女性等緊急一時保護費や一時保護施設が確保され、被害者を安全に保護する体制が整えられている。</li> </ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                           |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>計画期間において、DV防止連絡会を開催し、関係機関との連携強化と情報共有により、虐待の早期発見と被害者の安全確保のための体制整備に努めている。</li> </ul> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | B    | B    | B    |

◆計画の体系

|      |                      |
|------|----------------------|
| 基本目標 | 1. 男女の人権を尊重するまち      |
| 課題   | 3. 性別に起因する暴力や人権侵害の根絶 |

施策(3) 相談業務の充実と関係機関との連携

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の視点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No30・31・32・33・34)性別にかかわらずだれもが、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                            | 担当課           | 計画記載の主な事業内容                                                                                           | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                        | 専門委員会評価 |
|--------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (No.30)ドメスティック・バイオレンス等に関する相談事業 | 文化と人権課        | 男女平等推進センターの相談事業を中心にDVIについての相談に対応し、さまざまな機会を通じてDVIに関する相談先について周知を行います。                                   | 男女平等推進センターにおいて女性のための悩みごと相談、法律相談、カウンセリング相談事業を実施した。                                                                                                                                       | B       |
| (No.31)関係者からの二次被害の防止           | 文化と人権課<br>職員課 | 対応する関係者からの二次被害を防止するため、窓口や相談業務担当者を中心に研修を実施します。                                                         | [文人]<br>DV防止連絡会(市の内部の関係部署の連絡会)を開催した。<br>DV防止連絡会において、DV被害者支援講座「DV被害者保護における司法と行政の連携について」を開催した。<br>男女平等に関連する相談事業担当者情報交換会を実施し、情報交換を行った。<br>[職員]<br>東京都市町村職員研修所第3ブロック合同研修「ハラスメント相談員研修」を実施した。 | B       |
| (No.32)「DV防止連絡会」による庁内連携の強化     | 文化と人権課        | 相談や関係窓口で対応する担当者がそれぞれの部署の職責に応じた適切な対応ができるよう、庁内連携のための組織である「DV防止連絡会」を通じて連携の強化を図ります。また、児童虐待の担当部署との調整を図ります。 | DV防止連絡会(市の内部の関係部署の連絡会)を開催した。<br>DV防止連絡会において、DV被害者支援講座「DV被害者保護における司法と行政の連携について」を開催した。<br>男女平等に関連する相談事業担当者情報交換会を実施し、情報交換を行った。                                                             | B       |
| (No.33)庁外の関係機関との連携強化           | 文化と人権課        | 警察や東京都などの関係機関のほか、学校、市医師会、市歯科医師会などの医療関係者や民生・児童委員などの福祉関係者との連携を強化します。                                    | 男女平等に関連する相談事業担当者情報交換会を実施し、情報交換を行った。                                                                                                                                                     | B       |
| (No.34)手続きの一元化についての検討          | 文化と人権課        | 被害者の負担軽減のため、必要書類の共通部分の共有化や窓口の一元化についての検討を行います。                                                         | DV防止連絡会(市の内部の関係部署の連絡会)を開催した。<br>男女平等に関連する相談事業担当者情報交換会を実施し、情報交換を行った。                                                                                                                     | B       |



◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | B |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・女性の悩みごと相談, 女性のための法律相談等を実施するとともに, 相談窓口の周知に努めている。  
 ・DV防止連絡会, 男女平等に関連する相談事業担当者情報交換会の開催により, 関係機関との連携と情報共有を行っている。  
 ・ドメスティック・バイオレンス被害者が庁内で手続を行う際は, 各課の担当職員が相談窓口に出向き対応する体制が整えられている。

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・計画期間において, DV防止連絡会を開催し, 関係機関との連携強化と情報共有により, 相談業務の充実が図られている。

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | B    | B    | C    |

◆計画の体系

|      |                      |
|------|----------------------|
| 基本目標 | 1. 男女の人権を尊重するまち      |
| 課題   | 3. 性別に起因する暴力や人権侵害の根絶 |

施策(4) セクシュアル・ハラスメント等の防止

|                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の観点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No35・36)性別の観点から、社会における制度又は慣行をできる限り中立なものにすること</p> |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                           | 担当課          | 計画記載の主な事業内容                                                                 | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 専門委員会評価 |
|-------------------------------|--------------|-----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (No.35) セクシュアル・ハラスメントの防止の取り組み | 文化と人権課       | さまざまな機会をとおして事業者や市民に対してセクシュアル・ハラスメント等の防止にむけた広報・啓発を行います。                      | 男女共同参画週間、「女性の人権ホットライン」強化週間に合わせ、市報へセクシュアル・ハラスメント相談窓口の記事を掲載した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | B       |
| (No.36) 庁内におけるセクシュアル・ハラスメント対策 | 職員課<br>学校指導課 | 庁内や学校関係者に対して、セクシュアル・ハラスメントの防止について周知します。「苦情処理委員会」などにより、被害者の立場に立った適切な対応を行います。 | <p>[職員]</p> <p>平成28年4月に国分寺市職員のハラスメントの防止等に関する要綱を策定し、同要綱に管理監督者及び職員の責務を明記した。また、ハラスメントが発生した際の相談体制として、要綱に基づきハラスメント相談員の任命を改めて行うとともに、ハラスメント処理委員会を新たに設置した。</p> <p>平成28年7月にハラスメントの防止等に関する指針を策定し、8月に指針に関する職員説明会を実施した。</p> <p>[学校指導]</p> <p>各学校の校務運営組織にセクシュアル・ハラスメント相談員を位置付けた相談体制を一層充実する。</p> <p>セクシュアル・ハラスメント相談員の存在を学校内外に周知することにより、セクシュアル・ハラスメント事案の防止に役立てる。</p> <p>平成23年度から学校要覧に相談員名を記載しており、意識付けを図っている。</p> | B       |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | B |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「職場におけるセクシュアル・ハラスメントの防止に関する基本方針(平成28年度より「ハラスメントの防止等に関する指針）」、「ハラスメントの防止等に関する要綱」を定め、庁内におけるセクシュアル・ハラスメント対策に取り組んでいる。</li> <li>・ハラスメント防止研修を実施し、指針の説明や相談体制の周知を行っている。</li> <li>・小・中学校においては、相談しやすい体制の再構築に取り組まれたい。</li> </ul> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度は、「ハラスメントの防止等に関する指針」についての職員説明会を開催し、庁内におけるセクシュアル・ハラスメント防止の周知に取り組んでいる。</li> <li>・計画期間において、ハラスメント防止研修等を継続し、庁内啓発に努めていることを評価する。</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | C    | C    | B    | C    |

◆計画の体系

|      |                      |
|------|----------------------|
| 基本目標 | 1. 男女の人権を尊重するまち      |
| 課題   | 3. 性別に起因する暴力や人権侵害の根絶 |

施策(5) 人権侵害を予防するための支援

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【事業評価の視点】</b><br/>                 ①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の視点からみて成果を挙げることができたと考えられるか<br/> <b>【男女平等推進の視点】</b>(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)<br/>                 (事業No37)性別にかかわらずだれもが、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                    | 担当課             | 計画記載の主な事業内容                                                              | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 専門委員会評価  |
|------------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| (No.37) ストーカー等の防止の取り組み | 防災安全課<br>文化と人権課 | ストーカー等の人権侵害についての理解の普及を図ります。<br>防犯ブザーの貸し出しや不審者情報の提供など、つきまとい行為防止の取組みを行います。 | <p>[防災]<br/>学校や警察から寄せられた不審者情報を生活安全・安心メールで配信し注意喚起を行った。<br/>メール配信登録者:16,974人(平成28年度末現在)※前年度比+666人<br/>国分寺駅周辺のつきまとい勧誘行為防止重点地区におけるつきまとい勧誘行為防止/パトロール:警備員2名を配置。パトロール時間帯を平成25年度から午後5時から午後11時までとした。これによって夜間の遅い時間帯でのつきまとい勧誘行為の防止を図った。<br/>住宅街、通学路等における庁用車による青色回転灯防犯パトロールについては、青色回転灯装着車計27台(平成28年度末現在)で対応し、発生の抑止を図った。平成24年11月から実施している、本多地区における本多連合町会による夜間の青色防犯パトロールの継続支援を行った。</p> <p>[文人]<br/>ストーカーを特集記事とした男女平等推進センター情報誌を発行した。</p> | <b>B</b> |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |          |
|-------------|----------|
| 28年度        | <b>B</b> |
| 後期計画        | <b>○</b> |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座の開催、情報誌の発行等により、ストーカー等の人権侵害について理解普及に取り組んでいる。</li> <li>・防犯まちづくり委員会での防犯啓発活動や防犯マニュアル配布により、市民への意識啓発を図っている。</li> </ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 協議会(総合)評価 |          |
|-----------|----------|
| 28年度      | <b>B</b> |
| 後期計画      | <b>○</b> |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間において、ストーカーを扱った情報誌の発行や講座開催により、ストーカー等の人権侵害の理解普及・啓発に努めている。また、つきまとい防止パトロールを継続するとともに時間を延長し、つきまとい行為防止の強化を図っている。</li> </ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 参考 | 24年度     | 25年度     | 26年度     | 27年度     |
|----|----------|----------|----------|----------|
|    | <b>A</b> | <b>B</b> | <b>B</b> | <b>B</b> |

◆計画の体系

|      |                      |
|------|----------------------|
| 基本目標 | 1. 男女の人権を尊重するまち      |
| 課題   | 3. 性別に起因する暴力や人権侵害の根絶 |

施策(6) 子どもにとっての男女平等

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の観点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No38)性別にかかわらずだれもが、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                           | 担当課              | 計画記載の主な事業内容                               | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                           | 専門委員会評価  |
|-------------------------------|------------------|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| (No.38)「要保護児童対策地域協議会」による連携の強化 | 子育て相談室<br>文化と人権課 | 児童虐待予防と児童の保護支援について適切な情報提供をし、関係機関の連携を深めます。 | <p>[子相談]</p> <p>要保護児童対策地域協議会の代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を通じて各機関との連携、支援を行った。<br/>小平児童相談所と三か月毎に要保護児童の進行管理を行った。</p> <p>[文人]</p> <p>要保護児童対策地域協議会代表者会議、実務者会議へ参加し、情報提供を行った。<br/>DVと関係する相談については、関係機関と連携をとる体制を整えている。</p> | <b>B</b> |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |          |
|-------------|----------|
| 28年度        | <b>B</b> |
| 後期計画        | <b>○</b> |

|                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護児童対策地域協議会開催により、関係機関との連携と情報共有を行っている。</li> <li>・平成28年度に進行管理部会を立ち上げ、困難なケースも解決に導けるよう、より一層の連携強化に取り組んでいる。</li> </ul> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 協議会(総合)評価 |          |
|-----------|----------|
| 28年度      | <b>B</b> |
| 後期計画      | <b>○</b> |

|                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度は、要保護児童対策地域協議会進行管理部会を立ち上げ、関係機関との連携強化を図っている。</li> <li>・計画期間において、要保護児童対策地域協議会や個別ケース検討会を継続し、家庭状況に応じた支援に努めている。</li> </ul> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 参考 | 24年度     | 25年度     | 26年度     | 27年度     |
|----|----------|----------|----------|----------|
|    | <b>B</b> | <b>B</b> | <b>B</b> | <b>A</b> |

◆計画の体系

|      |                      |
|------|----------------------|
| 基本目標 | 1. 男女の人権を尊重するまち      |
| 課題   | 3. 性別に起因する暴力や人権侵害の根絶 |

施策(7) 性犯罪被害者の支援

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>【事業評価の視点】</b><br/>                 ①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の観点からみて成果を挙げることができたと考えられるか<br/> <b>【男女平等推進の視点】</b>(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)<br/>                 (事業No39)性別にかかわらずなくだれもが、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                         | 担当課    | 計画記載の主な事業内容                                                                                    | 所管課報告の28年度主な事業実績                                       | 専門委員会評価  |
|-----------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|----------|
| (No.39) 性犯罪被害者支援のための広報・啓発活動 | 文化と人権課 | 性犯罪被害者が、被害を訴えることを躊躇せずに必要な相談を受けられるよう、広報活動を通じて性犯罪被害の潜在化防止に努めます。また、性犯罪に対する市民の理解を増進するため、啓発活動を行います。 | 平成25年2月に犯罪被害者等支援条例を施行により設置した。犯罪被害者等支援相談窓口のリーフレットを補充した。 | <b>B</b> |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |          | 〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉                                                                                                                                                                                              |
|-------------|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 28年度        | <b>B</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度に「犯罪被害者等支援条例」を制定し、性犯罪被害者を含む犯罪被害者等支援相談窓口を整備し、周知に取り組んでいる。</li> <li>・平成24年度に「犯罪被害者等支援に関する庁内連携ハンドブック」を作成し、庁内への普及啓発を図った。</li> <li>・被害者の実態を把握し、ニーズに即した支援体制の検討が必要である。</li> </ul> |
| 後期計画        | <b>○</b> |                                                                                                                                                                                                                         |

| 協議会(総合)評価 |          | 〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉                                                                                                                 |
|-----------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 28年度      | <b>B</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間において、「犯罪被害者等支援条例」を制定し、相談窓口の整備・周知に努めている。</li> <li>・職員をはじめとした市民への積極的な広報・啓発に取り組まれない。</li> </ul> |
| 後期計画      | <b>○</b> |                                                                                                                                          |

| 参考 | 24年度     | 25年度     | 26年度     | 27年度     |
|----|----------|----------|----------|----------|
|    | <b>A</b> | <b>A</b> | <b>B</b> | <b>B</b> |

## 課題4 就労における男女平等の推進

### ◆計画の体系

|      |                    |
|------|--------------------|
| 基本目標 | 2. 男女が平等に社会参画できるまち |
| 課題   | 4. 就労における男女平等の推進   |

### 施策(1)事業者への啓発と支援

|                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか③事業実施により、男女平等推進の視点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No40・41・42)性別の観点から、社会における制度又は慣行をできる限り中立なものにすること</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                           | 担当課                    | 計画記載の主な事業内容                                                                                         | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 専門委員会評価                                                   |
|-------------------------------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| (No.40) 雇用における男女平等に関する実態把握    | 文化と人権課<br>契約管財課<br>経済課 | 市と契約を行った事業者に対して雇用における男女平等に関する実態調査を行います。市内事業者への実態調査を行い、調査を通じて関連法規の遵守等について啓発を進めます。                    | [文人]<br>今年度は実施しなかった。<br>[契約]<br>平成24年12月1日に施行した国分寺市公共調達条例には、事業者の努めとして、男女平等を実現するための方策を推進することを求め、調達において男女平等、子育て支援等の取組みを評価する視点を総合評価方式競争入札として盛り込んでいる。<br>本年度、総合評価方式競争入札に該当する案件は3件であった。<br>[経済]<br>計画に掲げている事業についての具体的な対応は行っていない。                                                                                                                                                                 | D<br>市と契約を行った事業者に対して、雇用における男女平等に関する実態調査が未実施であったため、D評価とする。 |
| (No.41) 雇用における男女平等に関する啓発・情報提供 | 文化と人権課<br>経済課          | 市民や事業者への理解を広げるため、市ホームページや男女平等推進センター情報誌など様々な媒体を通じて、広報や学習機会の提供を行います。<br>・ポジティブアクションについての啓発・女性労働者の母性保護 | [文人]<br>ママインターン事業を実施し、講座や就業体験等の就労支援を行った。<br>男女平等推進センター内に女性の就業支援コーナーを設置し、情報誌等を配架した。<br>[経済]<br>男女平等をテーマとした労働セミナーの開催は行わなかったが、男女雇用機会均等法の改正に関する情報パンフレットを経済課及び市民課窓口わきに配架し、周知を図った。                                                                                                                                                                                                                | B                                                         |
| (No.42) 就労支援ネットワーク化の推進        | 経済課                    | 地域において、女性をはじめとする就労困難者の就労支援を進めるため、情報交換の場をつくり、労働に関する行政機関や事業者等との連携を図ります。                               | 出産育児のため離職した女性をはじめとする就労困難者等の就労支援及び地域雇用創出を図るため、関係団体(※1)による国分寺市就労支援地域連絡会(※2)を設置して連携を図っている。(国分寺市障害者センターを参加関係団体に追加)<br>この就労支援地域連絡会での情報交換から、様々な関係団体と就労支援セミナー及び就職面接会等を共催にて実施し、男女を問わず就労支援を行った。<br>(※1)関係団体:東京しごとセンター多摩/ハローワーク立川/国分寺市社会福祉協議会/多摩信用金庫/国分寺市商工会/国分寺市シルバー人材センター/国分寺市障害者センター<br>(※2)就労支援地域連絡会:平成24年8月28日設置<br>就労困難者の雇用促進や地域就労に向けた相互の情報交換・交流などのほか、地域における就労支援事業やコミュニティビジネスの支援などについて検討を進めている。 | B                                                         |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | C |
| 後期計画        | △ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

- ・雇用における男女平等に関する実態調査が実施されなかったことは、残念である。
- ・一方、ママインターン事業や就労支援講座の開催により、雇用における男女平等に関する啓発・情報提供に取り組んでいることは評価できる。
- ・就労支援地域連絡会を開催し、関係機関との情報交換・連携を図っている。

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | C |
| 後期計画      | △ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

- ・計画期間において、就労支援地域連絡会を開催し、関係機関との連携強化に取り組んでいるが、雇用における男女平等に関する実態調査が未実施であった。

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | C    | B    | C    |

◆計画の体系

|      |                    |
|------|--------------------|
| 基本目標 | 2. 男女が平等に社会参画できるまち |
| 課題   | 4. 就労における男女平等の推進   |

施策(2) 男女平等の視点による調達の仕組みの検討

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の視点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No43)性別にかかわらずだれもが、家庭内での協力及び社会的支援のもとに、子育て、介護等家族としての役割を果たすことと職場、地域等において活動することを両立できるようにすること</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                             | 担当課             | 計画記載の主な事業内容                                                                                                                                                                                                 | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                  | 専門委員会評価                                              |
|---------------------------------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| (No.43)市の調達における男女平等推進事業者評価制度の検討 | 契約管財課<br>文化と人権課 | ア 調達の手法として、価格以外の要件に子育て支援や男女平等への取り組み状況の報告を求め、評価採点する仕組みの導入を検討しています。<br>イ 指名競争入札参加に係る指名等の補足資料として、市の契約に実績を持つ事業者へ調査を行い、子育て支援や男女平等などへ取り組む事業者データの整備を検討します。<br>ウ イのデータ提供を受け、調達時の事業者選定の仕組みを検討します。<br>総務課ア・ウ/男女平等人権課イ | [契約]<br>平成24年12月1日に施行した国分寺市公共調達条例には、事業者の努めとして、男女平等を実現するための方策を推進することを求め、調達において男女平等、子育て支援等の取り組みを評価する視点を総合評価方式競争入札として盛り込んだ。<br>本年度は総合評価方式競争入札に該当する案件は3件あった。<br>[文人]<br>指名競争入札参加に関わる指名等の補足資料とするようなデータ整備を求められなかったため、当課独自には特に事業を行わなかった。 | <b>達成</b><br>男女平等の取組を評価する総合評価方式競争入札を制度化したことから、達成とする。 |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |    | 〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉                                                                                          |
|-------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 28年度        | 達成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度に「国分寺市公共調達条例」が施行され、男女平等の取組を評価する総合評価方式競争入札を制度化したことから、達成とした。</li> </ul> |
| 後期計画        | ◎  |                                                                                                                     |

| 協議会(総合)評価 |    | 〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉                                                             |
|-----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 28年度      | 達成 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合評価方式競争入札を制度化されていることから、評価は達成とする。</li> </ul> |
| 後期計画      | ◎  |                                                                                      |

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | 達成   | 達成   | 達成   | 達成   |



◆計画の体系

|      |                    |
|------|--------------------|
| 基本目標 | 2. 男女が平等に社会参画できるまち |
| 課題   | 4. 就労における男女平等の推進   |

施策(3) 起業・再就職への支援

【事業評価の視点】  
 ①計画に沿った事業を行ったか②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか③事業実施により、男女平等推進の視点からみて成果を挙げることができたと考えられるか  
 【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)  
 (事業No44・45)性別にかかわらずだれもが、家庭内での協力及び社会的支援のもとに、子育て、介護等家族としての役割を果たすことと職場、地域等において活動することとを両立できるようにすること

| 事業名                   | 担当課           | 計画記載の主な事業内容                                                                              | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                        | 専門委員会評価                                                      |
|-----------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| (No.44)再就職に関する情報提供・支援 | 文化と人権課        | 男女平等推進センターの講座などとおして、女性の再就職に役立つ情報の提供を行います。職務能力の向上など就労にむけた支援を行います。必要に応じて東京都の関係機関と連携していきます。 | マインターン事業を実施し、講座や就業体験等の就労支援を行った。<br>男女平等推進センター内に女性の就業支援コーナーを設置し、情報誌等を配架した。                                                                                                                                                                               | <b>A</b><br>マインターンの実施は、女性の再就職支援において効果的であったと考えられることから、A評価とする。 |
| (No.45)起業に関する情報提供・支援  | 文化と人権課<br>経済課 | 小口事業資金融資制度や空き店舗事業など、起業に関する情報提供や女性起業家の経験を聞く場をつくります。                                       | [文人]<br>マインターン事業を実施し、講座の中で多様な働き方を紹介した。<br>[経済]<br>平成27年度に策定した創業支援事業計画に基づき、創業を考えている人や創業後間もない人を対象として、市主催事業としては始めて、創業に必要な知識を学ぶことができる創業塾と創業に関する疑問を解決する個別相談を実施することにより、本格的に起業支援の取組を強化した。<br>また、創業塾や市ホームページ、他団体が主催するセミナー等では、小口事業資金融資あっせん制度等の市の支援事業についての周知を図った。 | <b>B</b>                                                     |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | B |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・起業講座やマインターン事業を含む就労支援講座の開催により、起業・再就職に関する情報提供・支援に取り組んでいる。  
 ・平成27年度には「創業支援事業計画」を策定し、起業に関する情報提供や支援の充実を図っている。  
 ・小口事業資金融資あっせん制度についても、支援拡充が図られている。

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・平成26・28年度に実施したマインターン事業の就業体験を通じて、再就職につなげる取組を進めた。  
 ・計画期間において、労働セミナーやマインターン事業、起業・再就職支援講座により、再就職に関する情報提供・支援に努めている。

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | B    | A    | A    |

◆計画の体系

|      |                    |
|------|--------------------|
| 基本目標 | 2. 男女が平等に社会参画できるまち |
| 課題   | 4. 就労における男女平等の推進   |

施策(4)働き方における格差の是正

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか③事業実施により、男女平等推進の観点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No46・47)性別にかかわらずだれもが、家庭内での協力及び社会的支援のもとに、子育て、介護等家族としての役割を果たすことと職場、地域等において活動することを両立できるようにすること</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                    | 担当課           | 計画記載の主な事業内容                                                | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                           | 専門委員会評価                              |
|------------------------|---------------|------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| (No.46) 事業者へむけた啓発・情報提供 | 文化と人権課<br>経済課 | 各種制度や非正規雇用の現状に関する情報提供を通じて、均等待遇にむけた事業者への理解を深めます。            | [文人]<br>ママインターン事業を実施する中で、10事業者が就業体験者の受け入れを行った。<br>[経済]<br>男女平等をテーマとした労働セミナーの開催は行わなかったが、育児・介護休業法の改正に関する情報パンフレットを経済課及び市民課窓口わきに配架し、周知を図った。                                    | B                                    |
| (No.47) 市民にむけた情報提供     | 文化と人権課<br>経済課 | 非正規雇用の現状や、パートタイム労働法、労働者派遣法などについての理解を広げるため広報を行い、学習機会を提供します。 | [文人]<br>ママインターン事業を実施し、講座の中で多様な働き方を紹介した。<br>男女平等推進センター内に女性の就業支援コーナーを設置し、情報誌等を配架した。<br>[経済]<br>男女平等をテーマとした労働セミナーの開催は行わなかったが、育児・介護休業法の改正に関する情報パンフレットを経済課及び市民課窓口わきに配架し、周知を図った。 | C<br>労働法等に踏み込んだ講座等の開催がなかったため、C評価とする。 |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | C |
| 後期計画        | △ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度は労働セミナーが開催されず、残念である。事業内容に「学習機会の提供」とあるので、パンフレット等の配架では不十分である。</li> <li>・一方、ママインターン事業を含む就労支援講座の開催により、事業者や市民に向けた情報提供を行っていることは評価できる。</li> </ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26・28年度に実施したママインターン事業の就業体験受入により、事業者へ啓発を行った。</li> <li>・計画期間においては、労働セミナーやママインターン事業、再就職支援講座により、働き方における格差是正に向けた啓発に取り組んでいる。</li> </ul> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | B    | B    | A    |

## 課題5 男女共同参画を支える環境の充実

### ◆計画の体系

|      |                    |
|------|--------------------|
| 基本目標 | 2. 男女が平等に社会参画できるまち |
| 課題   | 5. 男女共同参画を支える環境の充実 |

### 施策(1)「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活との調和)」の推進

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の視点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No48・49)性別にかかわらずだれもが、家庭内での協力及び社会的支援のもとに、子育て、介護等家族としての役割を果たすことと職場、地域等において活動することを両立できるようにすること</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                          | 担当課           | 計画記載の主な事業内容                                                                                                                                                                              | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 専門委員会評価                                                                             |
|------------------------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| (No.48)ワーク・ライフ・バランスに関する広報活動  | 文化と人権課<br>経済課 | 市報や情報誌、市ホームページなどにより、ワーク・ライフ・バランスについて広報を行います。<br>◇各種事業・制度についての情報提供<br>◇多様な働き方に関する情報提供<br>◇市内事業者の好事例の紹介と普及                                                                                 | [文人]<br>子育て中の男性を対象とした「ワーク・ライフ・バランス」の推進・子育て支援講座「今日から使えるパパの円満家事4つのコツ」を実施し、男性が家事・育児に関わるきっかけづくりを行った。<br>男性の地域参画と働き方格差講座「人生100年どう生きるか ベストセラー『LIFE SHIFT(ライフ・シフト)』からのメッセージ」を開催し、男性・女性すべての方が地域で活動・活躍する人生設計を考える機会を提供した。<br>ママインターン事業を実施し、子育て中の女性への様々な働き方についての講座を開催した。<br>[経済]<br>東京都が主催するワークライフバランス普及啓発イベント他、ワークライフバランス関連の広報を行った。                                                                 | B                                                                                   |
| (No.49)庁内におけるワーク・ライフ・バランスの推進 | 職員課<br>文化と人権課 | 子育てや介護などと仕事とを両立できる環境の充実を図ります。特定事業主行動計画に基づき、次世代育成支援を進め、特に男性の育児休業の取得率の向上を目指します。またワーク・ライフ・バランスに資する休暇制度の情報提供をします。<br>男性職員の育児休業取得率について、平成28(2016)年までに対象者1割の取得を目指します。そのために積極的に情報提供と意識の啓発を行います。 | [職員]<br>当年度においてもワーク・ライフ・バランス研修を実施し16名の職員の参加を得た。<br>職員のワーク・ライフ・バランス推進及び健康管理の視点からも超過勤務の抑制・削減については、昨年同様実施した。また、夏季期間(7月～9月)については、ゆう活及び省エネルギー化の考えも加え早期における超過勤務の推進を行った。<br>男性職員の育児休業については、対象者14名中主任職1名、取得率としては7%となった。<br>「育児・介護・特別活動に関する休暇制度について」の冊子を作成し、庁内周知を図った。<br>[文人]<br>庁内イントラネット掲示板で、男女平等推進センターの講座案内を行い、関心のある職員は出席した。<br>男女共同参画週間の記事を庁内イントラネットへ掲載し、それぞれの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会実現のための啓発を行った。 | B<br>男性職員の育児休業取得率が目標値である1割に達しなかったが、「育児・介護・特別活動に関する休暇制度について」の冊子を作成し庁内周知する等の取組は評価できる。 |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | C |
| 後期計画        | △ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・男性職員の育児休業取得率が目標値である1割に達していないことは残念であり、取得率向上につながる職場環境の整備が望まれる。  
 ・一方、「特定事業主行動計画」の策定、「育児・介護・特別活動に関する休暇制度について」の冊子作成や超過勤務の削減は、庁内のワーク・ライフ・バランスを推進する有効な取組として評価できる。

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・計画期間中に男性職員の育児休業取得率が目標値である1割に達しなかったが、「育児・介護・特別活動に関する休暇制度について」の冊子を作成し、庁内啓発に努めている。また、ワーク・ライフ・バランス研修やイクボス講座、超過勤務の削減により、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいる。

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | A    | C    | B    |

◆計画の体系

|      |                    |
|------|--------------------|
| 基本目標 | 2. 男女が平等に社会参画できるまち |
| 課題   | 5. 男女共同参画を支える環境の充実 |

施策(2) 子育てへの支援

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の観点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No50・51・52・53・54)性別にかかわらず、家庭内での協力及び社会的支援のもとに、子育て、介護等家族としての役割を果たすことと職場、地域等において活動することを両立できるようにすること</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                          | 担当課                                    | 計画記載の主な事業内容                                                                                                                                                                             | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 専門委員会評価                         |
|------------------------------|----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| (No.50) 男女がともに子育てをするための意識づくり | 健康推進課<br>子育て相談室<br>子ども子育て事業課<br>文化と人権課 | 子育ては女性だけでなく、ともに行うものであることを考える機会をつくります。<br>◇両親学級における父親参加の促進<br>◇父親の子育てセミナー等の開催<br>◇こどもの発達センターつくしんぼの父親参画事業の実施◇親子ひろば事業や児童館での土曜日の父親と乳幼児の利用拡大<br>男女平等人権課は、上記の各課事業の機会を活用し、男性の育児参加についての啓発を行います。 | [健推]<br>両親学級は2種類開催。ひかりクラスは年6回・わくわくクラスは年4回、いずれも土曜日開催となっている。このうちひかりクラスはパートナー(父親)が主に沐浴実習や妊婦体験ジャケットを使用した妊婦体験などを行っている。また、妊婦とその家族を対象とした、子育て相談室との共催のプレママ・プレパパセミナーを年2回土曜日に開催し、マタニティーヨガや先輩パパママ交流、座談会、親子ひろば紹介などを行っている。<br>[子相談]<br>通園教室の家庭支援骨子に基づき、4月の保護者交流会、5月の父親参観・講演会、8月の父子園内宿泊訓練、12月の子ども会、2月の親子行事、3月の卒園式は、通園教室通園児の父親に焦点をあてた事業として企画を行った。父親が参加しやすいように土・日に行事を設定し、特に父親の積極的な行事への参加を呼びかけると共に、父親が育児に参加することへの意識向上を狙って支援を行った。通園教室の定員20名の内、1回の行事の参加数は平均すると約13名前後。子ども会、卒園式においては約9割弱の父親が参加しており、参加率は高く、意義のある行事となっている。<br>[子事業]<br>児童館は毎週土曜日は開館し、父親が子どもを連れて来館しやすい環境を作った。父親も参加しやすい行事として、親子で参加できる児童館合同遠足を実施した。<br>[文人]<br>子育て中の男性を対象とした「ワーク・ライフ・バランス」の推進・子育て支援講座「今日から使えるパパの円満家事4つのコツ」を実施し、男性が家事・育児に関わるきっかけづくりを行った。 | B                               |
| (No.51) 保育サービスの充実            | 子ども若者計画課<br>子ども子育て事業課                  | 保育園の待機児解消を進めます。延長保育・病後児保育、学童保育所の保育時間の延長など、保育サービスの充実、多様化を進めます。                                                                                                                           | [子若]<br>待機児童解消のため、4月1日に認可保育所2施設を開園し、定員113名を増員した。市内認可保育所定員数が2,199名から2,321名へと増加した。(定員数：21年度1,276名、22年度1,358名、平成23年度1,638名、平成24年度1,899名、平成25年度1,987名、平成26年度2,119名、平成27年度2,199名)<br>2園開園したが、入所申込者が定員拡大人数を上回り、待機児童数は平成27年度の88名から102名に増加した。(待機児童数：平成21年度101名、22年度74名、23年度39名、24年度19名、25年度53名、26年度77名、27年度88名)<br>翌年度、定員256名増を目指し、保育所開設準備に着手した。<br>[子事業]<br>全学童保育所の保育時間8:00～19:00開所の実施。                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | B<br>保育所の増設等による保育サービスの拡充は評価できる。 |

|                                 |                               |                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                    |
|---------------------------------|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(No.52) 子育てを支え合う関係づくり</p>    | <p>子ども子育てサービス課<br/>子育て相談室</p> | <p>子育て中の親が孤立することなく、地域で支え合える関係づくりを支援します。<br/>◇ファミリーサポートセンター事業の充実<br/>◇親子ひろば事業や児童館事業の充実<br/>◇子育て関係団体のネットワークづくり</p> | <p>[子サ]<br/>社会福祉協議会への委託事業。育児の援助をしたい者(援助会員)と育児援助をしてほしい市民(利用会員)の登録、援助活動の調整をファミリー・サポート・センター職員であるアドバイザーが行い、育児の相互援助を支援した。援助会員の増加のために、平成27年度に市内在住要件を撤廃して対象者を拡大している。また、講習会に参加しやすいよう会場を回ごとに変えるなどの工夫により、会員数の増加に努めている。<br/>利用会員の増加のために、アドバイザーが市内親子ひろばや定期健診会場へ出張し説明および登録などを行った。<br/>定休日としていた月曜日を援助活動も多いことから開館日とし、より援助活動がしやすい体制とした。<br/>[子相談]<br/>※上記の事業内容は、組織改正及び業務担当課変更により、<br/>◇ファミリーサポートセンター事業は、平成27年度から、子ども子育てサービス課へ移管。<br/>◇児童館事業は、子ども子育てサービス課の事業である。<br/>親子ひろば事業は、子育て相談室(子ども家庭支援センター)で実施。<br/>親子ひろば事業は、市直営3か所・委託2か所・協働委託4か所・指定管理者4か所の13か所で引き続き事業展開した。<br/>子育て関係団体等(主に市民活動団体、民間団体、助産師会、公民館、児童館、子ども家庭部所属課)が、子育て支援を支え合うために、また連携を構築するため国分寺子ども・子育て支援円卓会議を引き続き例月開催した。</p> | <p><b>B</b><br/>市内を地区に分け担当職員を配置し、子育て支援活動団体を巡回し顔の見える関係・地域で支え合う関係づくりに努めた点は評価できる。</p> |
| <p>(No.53) 子育てに関する総合的な相談・支援</p> | <p>子ども子育て事業課<br/>子育て相談室</p>   | <p>子どもの健康や発達などの不安の軽減をむけて子育てに関する総合的な情報提供と支援を行います。<br/>児童虐待へきめ細やかに対応します。</p>                                       | <p>[子事業]<br/>地域交流事業を行い、子どもや保護者同士の交流の場の提供や、事業を通じて育児相談等の支援を行った。また子ども家庭支援センター、児童相談所などと連携し、児童虐待について適切な対応を図った。<br/>[子相談]<br/>家族や近隣に育児協力を得ることが困難で、育児支援を必要とする家庭に育児支援ヘルパーを派遣し、安心した子育てができる支援を行った。<br/>保護者の方が緊急かつやむを得ない理由で、一時的に児童を養育できない場合に短期間預かるショートステイ事業を行った。<br/>虐待通告を始め、18歳未満のお子さんを持つ家庭の相談を電話、面談、訪問などで対応した。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <p><b>B</b></p>                                                                    |
| <p>(No.54) 子ども連れで利用しやすい施設整備</p> | <p>子育て相談室</p>                 | <p>◇市内公共施設において、ベビーシートやベビーキープの設置等を進めます。<br/>◇赤ちゃん・ふらっと事業の市内施設等設置を促進し、市民に制度の周知を図ります。</p>                           | <p>新設置(2ヶ所):地域センター[北町・もとまち]<br/>継続設置(29ヶ所):子ども家庭支援センター1・児童館6・学童保育所8・公民館5・図書館2・市役所2・教育文化施設2・公園1・親子ひろば1・JA農協1<br/>広報について、例年、市報3月15日号の1ページを使用し大きく掲載。市ホームページ掲載。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <p><b>B</b><br/>子ども連れの外出時におむつ替え等ができる「赤ちゃん・ふらっと」の1箇所増設は評価できる。</p>                   |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | B |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・両親学級の土曜開催、父親を対象とした講座等の開催により、男女がともに子育てをするための意識づくりに取り組んでいる。  
 ・保育施設の増設や学童保育所の保育時間延長により、保育サービスの充実を図っている。  
 ・ファミリーサポートセンター事業や親子ひろば事業、赤ちゃんふらつとの拡充により、子育て支援に努めている。

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・計画期間において、保育所の増設や学童保育所の保育時間延長等、保育サービスの拡充に取り組んでいる。また、赤ちゃんふらつと等の子ども連れで利用しやすい施設整備も進められている。

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | A    | A    | B    |

◆計画の体系

|      |                    |
|------|--------------------|
| 基本目標 | 2. 男女が平等に社会参画できるまち |
| 課題   | 5. 男女共同参画を支える環境の充実 |

施策(3) 介護への支援

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の観点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No55・56・57)性別にかかわらずだれもが、家庭内での協力及び社会的支援のもとに、子育て、介護等家族としての役割を果たすことと職場、地域等において活動することとを両立できるようにすること</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                        | 担当課             | 計画記載の主な事業内容                                                                                                                                                              | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 専門委員会評価                                   |
|----------------------------|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| (No.55) 介護における男女共同参画の意識づくり | 文化と人権課<br>高齢福祉課 | 男性の生活自立の促進や介護に関わる性別役割分担意識を解消するための情報提供や学習機会の提供を行います。                                                                                                                      | <p>【文人】</p> <p>介護における男女共同参画の意識づくり講座「親子共倒れを避け・団塊世代しのびよる“老後破産”」などかなと思いませんか？長い老後の生活資金～安心な暮らしのためのマネー講座～を2回にわたり開催し、家族と一緒にでも老後破産が避けられない実態を伝え、性別にかかわらず協力し合い介護に関わること、今からできることや老後資金について考える機会を作った。</p> <p>【高福】</p> <p>【介護予防の普及啓発に関する取組等】市全体を対象に介護予防講演会を行うとともに、高齢期の身近な生活相談の窓口である委託地域包括支援センター(市内6か所)が講座等を引き続き実施した。</p> <p>地域住民からの依頼により、出張講座で介護予防について講座を実施。</p>                                                                                                                                                                                 | B                                         |
| (No.56) 介護者への支援            | 高齢福祉課           | <p>介護負担を軽減し、介護を社会全体で支えていくため、介護保険制度の普及・利用促進を図るとともに、介護サービスの基盤整備を推進します。</p> <p>◇介護予防の取り組み</p> <p>◇介護者の支え合い、仲間づくりの場の提供</p> <p>男性介護者向けの講座などを通して、孤立しがちな男性介護者に情報提供と支援を行います。</p> | <p>【介護予防の取組】</p> <p>生活の不活発等により介護を要する状態に至ることを未然に防ぐための介護予防に関する、知識と運動の実践を通して知識の普及啓発の事業(介護予防マシン筋トレニング事業)を委託により市内2会場において実施した。</p> <p>【家族介護者交流会】委託地域包括支援センター(市内6箇所)を拠点に、家族介護者交流会を実施した。情報提供と交流を合わせて行うことにより、介護者同士の繋がりを深めている。うち1箇所の地域包括支援センターでは、男性介護者の懇談会を継続して実施している。参加者から、性別を超えた交流会を求める声があがっており、平成29年度からは、男性介護者に限らず実施方向である。</p> <p>認知症高齢者家族懇談会(きさざぎ会、市内2会場にて実施)について、引き続き開催支援を行った。</p> <p>平成28年6月から、認知症Cafe(おれんじCafe)を市内2箇所に委託し、毎週どちらかで実施している。認知症の人や家族が集い、語り合い、相談できる場として、医師や看護師などの専門職が常駐している。</p> <p>介護者の負担軽減のため、制度の普及・利用促進を図り、広報を実施した。</p> | B<br>認知症の人や家族が集い相談できる「おれんじCafe」の開設は評価できる。 |



|                       |       |                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                  |
|-----------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| (No.57)介護に関する総合的な相談事業 | 高齢福祉課 | 地域包括支援センターを中心に、介護について総合的に情報提供を行います。高齢者虐待を防止する取り組みを進め、関係機関と連携し、適切に対応します。 | <p>(1)総合相談における相談実績(基幹型地域包括支援センター・委託先地域包括支援センターの実績)25,641件</p> <p>(2)権利擁護における相談実績(成年後見制度・高齢者虐待・地域福祉権利擁護事業等)2,333件</p> <p>(3)高齢者虐待に関する対応(国分寺市虐待防止ネットワーク実施要綱に基づく緊急受理会議・個別ケース会議の開催数)41回</p> <p>(まとめ)総合相談件数は年々増加し、地域包括支援センターが対応した事例もそれに伴い増加。最近では高齢部門の関係者だけでは解決しない事例が増加し、関係機関の調整、専門的な助言を求める場の調整が必要となっている。地域ケア会議の専門部会である権利擁護部会においては多機関との連携による事業の運営や日常的なケース支援の協力体制を持つことができた。</p> <p>専門的な助言が必要な事例においては、弁護士・学識等をアドバイザーとして迎え適宜事例検討を行い支援方針の確認、支援機関の役割整理等を行った。</p> | B<br>関係機関・職種との適切な連携体制の構築及びそのための地域包括支援センター職員の人材育成等の実施に努めた点は評価できる。 |
|-----------------------|-------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | B |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

- ・介護負担を軽減し、介護を社会全体で支えていけるよう、介護予防事業や講座の開催を行っている。
- ・「介護保険べんり帳」や「介護保険ミニガイド」の配布により、介護保険制度の普及・利用促進に取り組んでいる。
- ・介護者の支え合い・仲間づくりの場を提供し、介護者への支援を行っている。
- ・役割をもった地域活動が介護予防につながる、「介護予防の理念」の普及啓発を図っている。

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

- ・平成28年度は、おれんじCafeを設置し、介護者支援に取り組んでいる。
- ・計画期間において、男性を対象とした自立支援講座や介護予防講演により、介護における男女共同参画の意識づくりに努めている。

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | B    | B    | B    |

◆計画の体系

|      |                    |
|------|--------------------|
| 基本目標 | 2. 男女が平等に社会参画できるまち |
| 課題   | 5. 男女共同参画を支える環境の充実 |

施策(4) 生活の安定と自立の促進

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の観点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No58・59・60・61)性別にかかわらずなくだれもが、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                      | 担当課                            | 計画記載の主な事業内容                                                                                                                               | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 専門委員会評価 |
|--------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (No.58) 高齢者の自立支援         | 高齢福祉課                          | 高齢者が住みなれた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな機関と連携して、高齢者の暮らしを支援します。                                                                                   | (1)地域包括ケア体制を推進するため、地域ケア会議等各種会議において「認知症高齢者を地域で支えるために」をテーマに地域における高齢者への支援の現状を共有し今後必要とされる基盤整備について協議・検討を行った。<br>(2)市内の全地域包括支援センター職員による全体会を開催し、相談拠点として取り組むべき課題の抽出とセンターの業務遂行に必要なスキル習得のため研修会を行った。<br>(3)地域包括支援センターの各職種による連絡会を開催し専門職として地域で取り組む事業等の確認・課題解決に向けた協議検討等を実施。                                                                                                          | B       |
| (No.59) 障害者への支援          | 高齢福祉課                          | 障害者自立支援法に基づき、障害者の自立を支えるための各種サービスを実施します。                                                                                                   | 【身体障害者相談員, 知的障害者相談員】<br>市役所及びひかりプラザで、月2回障害者とその家族が地域で自立した生活をするために抱えている様々な課題相談に対応している。また、電話による相談も随時受けており、障害福祉サービスなどの情報提供も行っている。<br>【地域活動支援センター】<br>市内には、相談支援と創作的活動などの事業を行う地域活動支援センター I 型が3箇所あり、ここにおいても種々の相談を受け、情報提供を行っている。<br>【障害者就労支援センター】<br>障害者の自立を促進するための一般事業所への就労を促す支援並びに、障害者と事業所とのコーディネートを行っている。また、就労希望者の積極的な掘り起こしや障害者雇用に取り組む企業等への支援等を行うために、地域開拓促進コーディネーターを配置している。 | B       |
| (No.60) ひとり親家庭の生活安定と自立支援 | 生活福祉課<br>子育て相談室<br>子ども子育てサービス課 | ひとり親家庭に対する相談事業をとおして生活の安定を支援します。児童扶養手当、医療費助成、母子福祉資金の貸付、自立支援給付金など生活自立のための支援を行います。また、就労相談を行い、経済的自立を支援します。ひとり親ホームヘルプサービスの派遣をとおして育児・家事の支援をします。 | [生福]<br>ひとり親家庭(母子・父子世帯)の経済的自立を支援するため、母子・父子福祉資金貸付及び自立支援給付金の支給を行った。<br>[子相談]<br>ひとり親家庭へホームヘルパーを派遣し、就労を支援した。<br>ひとり親の家庭内の問題や自立支援に向けた課題への相談対応と各種サービスの情報提供を行った。<br>[子サ]<br>手当・医療助成制度の申請時に併せて受けるひとり親家庭に関連する諸制度については、ホームページや窓口説明用チラシにて情報を提供し、広く制度の周知を行うとともに、市民課や生活福祉課、子育て相談室等の関係部署と綿密な連携を図ることにより、対象となる相談者を適切に手当等の受給に繋いでいる。                                                    | B       |

|                  |              |                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |   |
|------------------|--------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| (No.61)外国人への情報提供 | 協働コミュニケーション課 | 外国人への効果的な情報提供の仕方について検討し、実地します。 | <p>「外国語版くらしのガイド～子育て情報版」(英語、中国語、韓国語、ルビ付き日本語)を、平成24年度から引き続き配架し、子育てに係る手続きや市役所の窓口、サービスや支援制度などの情報提供を行った。</p> <p>国際協会、市政戦略室広報担当者と、外国人への効果的な情報提供について検討しホームページの改訂を行った。</p> <p>「外国人おかあさん交流会」を開催し、日本人と外国人の母親の交流を支援した(国分寺市国際協会)。</p> <p>「親子日本語サロン」を開催し、外国籍の母親の日本語学習を支援した(国分寺市国際協会)。</p> <p>「外国籍保護者のための小学校入学ガイダンス」冊子発行と説明会により、小学校入学にあたって必要な情報を提供した(国分寺市国際協会)。</p> | B |
|------------------|--------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | B |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携し、高齢者の自立支援のための啓発事業を行っている。</li> <li>・相談事業・講座の開催等により、障害者やひとり親家庭、外国人に対し、個々のニーズに即した情報提供や支援に取り組んでいる。</li> <li>・平成24年度より、ドメスティック・バイオレンス被害者をひとり親家庭関係の手当・医療費助成制度の対象とし、自立支援を行っている。</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                                          |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間において、高齢者の地域包括ケア体制の推進、身体障害者相談員・知的障害者相談員による相談、ひとり親家庭へのホームヘルパー派遣、外国語版くらしのガイド配架等、高齢者や障害者、ひとり親家庭、外国人への継続した自立支援の取組を進めた。</li> </ul> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | B    | B    | B    |

◆計画の体系

|      |                    |
|------|--------------------|
| 基本目標 | 2. 男女が平等に社会参画できるまち |
| 課題   | 5. 男女共同参画を支える環境の充実 |

施策(5) 高齢者の虐待防止

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の観点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No62)性別にかかわらずだれもが、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                                 | 担当課             | 計画記載の主な事業内容                                  | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 専門委員会評価                                                   |
|-------------------------------------|-----------------|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| (No.62)「高齢者虐待防止ネットワーク実務者会議」による連携の強化 | 高齢福祉課<br>文化と人権課 | 高齢者虐待予防と被虐待者の保護支援について適切な情報提供をし、関係機関の連携を深めます。 | <p>[高福]</p> <p>昨年と同様、高齢者虐待防止ネットワーク代表者会議、実務者会議を障害福祉課と共に開催した。</p> <p>各ネットワーク会議においては、各機関の役割や現状確認、虐待防止に向けた活動計画について共有した。</p> <p>個別ケース会議においては、各関係機関との連携のもと高齢者とその家族(介護者)への支援を実施した。</p> <p>虐待の対応についてのマニュアル作成のため、高齢者虐待対応マニュアル策定検討委員会を1回開催した。8月に虐待対応マニュアルが完成した。</p> <p>[文人]</p> <p>高齢者虐待防止ネットワーク実務者会議に課長が委員として出席し、男女平等推進の立場から情報交換などを行った。</p> <p>高齢であるDV被害者の相談に対して常日頃から連携をとり適切な支援を行っている。</p> | B<br>「高齢者虐待対応マニュアル」を作成し、関係機関の役割等必要な情報をまとめることができたことは評価できる。 |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | B |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者虐待防止ネットワーク代表者会議・実務者会議の開催により、関係機関との連携と情報共有を行っている。引き続き連携を深め、虐待を未然に防ぐ取組を期待する。</li> <li>・関係機関の役割等の情報をまとめ、「高齢者虐待対応マニュアル」を作成したことを評価する。</li> <li>・高齢者からの相談に対し、関係機関と連携し、適切な支援に努めている。</li> </ul> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度は、虐待を発見した際の関係機関の役割をまとめた「高齢者虐待対応マニュアル」を作成した。虐待発見時に迅速な対応を行うため、マニュアルの活用を図りたい。</li> <li>・計画期間において、高齢者虐待防止ネットワーク代表者会議等により、関係機関との連携を強化を図っている。より一層の連携強化と、虐待の未然防止に取り組まれない。</li> </ul> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | B    | B    | B    |

課題6 政策・方針等の意思決定への男女共同参画

◆計画の体系

|      |                        |
|------|------------------------|
| 基本目標 | 2. 男女が平等に社会参画できるまち     |
| 課題   | 6. 政策・方針等の意思決定への男女共同参画 |

施策 (1) 庁内における男女共同参画

|                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか ②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか ③事業実施により、男女平等推進の観点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No63・64・65)市における政策又は事業者等における方針の立案若しくは決定をはじめとするあらゆる場に、性別にかかわらずだれもが対等に参加できること</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                       | 担当課             | 計画記載の主な事業内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 専門委員会評価                                    |       |       |      |       |       |       |      |       |       |       |       |       |    |    |   |     |       |       |       |       |       |       |      |       |      |   |   |       |      |       |       |       |     |       |       |       |       |       |       |      |       |      |   |   |       |      |       |       |       |     |       |       |       |       |       |       |   |   |   |       |      |       |      |       |       |       |   |
|---------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|-------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|----|----|---|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|---|---|-------|------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|---|---|-------|------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|---|---|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|---|
| (No.63) 審議会等における性による偏りの解消 | 政策経営課<br>文化と人権課 | 平成28(2016)年度までに、審議会等の委員において、一方の性が原則として全体で4割を下回らないようにします。審議会等の特性を分析して、審議会ごとに詳細な目標値を設定し、女性ゼロの審議会等をなくします。政策経営課と男女平等人権課と連携して、各課に対して情報提供と啓発などのポジティブ・アクションを行います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <p>[政策]</p> <p>11年10月20日付け「国分寺市附属機関の設置及び運営の基本に関する条例の取り扱いについて(通達)」において、両性の意見が審議等に反映されるよう、委員の男女比について、それぞれ3割以上になるよう努めることを規定。平成25年度に市長の附属機関の委員の選任・委嘱に係る事務手続きフロー図を作成し、委員の選任・委嘱の際には、事前に政策経営課に連絡する等、全庁的に委員の選任・委嘱方法の統一を図る。</p> <p>上記内容について、庁内公開資料(公開羅針盤/各課資料)として揭示し、通達の趣旨を踏まえた委員の選任・委嘱手続きを行うよう周知。4月1日時点の審議会等の委員の委嘱状況を調査し、上記状況の把握を実施。</p> <p>[文人]</p> <p>平成28年度より、政策経営課から審議会ごとの数値の提供を受けることとなったため、調査を行っていない。</p> <p>男女共同参画週間の市報記事を掲載し、それぞれの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会実現のための啓発を行った。</p> | C<br>審議会等の委員における性による偏りの解消に至らなかったため、C評価とする。 |       |       |      |       |       |       |      |       |       |       |       |       |    |    |   |     |       |       |       |       |       |       |      |       |      |   |   |       |      |       |       |       |     |       |       |       |       |       |       |      |       |      |   |   |       |      |       |       |       |     |       |       |       |       |       |       |   |   |   |       |      |       |      |       |       |       |   |
| (No.64) 庁内の職域の偏りの解消       | 職員課             | <p>部署ごとに職員の性別による偏りをなくすよう職員の配置を行います。</p> <p>各部署における事務技術職女性職員比率推移(各年4月1日現在基準)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>議会</th> <th>政策</th> <th>総務</th> <th>市民生活</th> <th>福祉保健</th> <th>子ども家庭</th> <th>環境</th> <th>都市建設</th> <th>都市開発</th> <th>まちづくり</th> <th>建設環境</th> <th>会計</th> <th>選管</th> <th>監査</th> <th>教育</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>33.3%</td> <td>22.5%</td> <td>26.5%</td> <td>38.8%</td> <td>58.4%</td> <td>76.4%</td> <td>1.8%</td> <td>11.4%</td> <td>0.0%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>60.0%</td> <td>0.0%</td> <td>66.7%</td> <td>51.6%</td> <td>41.1%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>33.3%</td> <td>30.0%</td> <td>26.4%</td> <td>42.0%</td> <td>56.3%</td> <td>76.4%</td> <td>6.3%</td> <td>11.8%</td> <td>0.0%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>60.0%</td> <td>0.0%</td> <td>66.7%</td> <td>55.6%</td> <td>43.2%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>33.3%</td> <td>31.7%</td> <td>30.3%</td> <td>48.1%</td> <td>54.8%</td> <td>77.8%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>17.5%</td> <td>4.9%</td> <td>60.0%</td> <td>0.0%</td> <td>66.7%</td> <td>53.3%</td> <td>42.4%</td> </tr> </tbody> </table> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 議会                                         | 政策    | 総務    | 市民生活 | 福祉保健  | 子ども家庭 | 環境    | 都市建設 | 都市開発  | まちづくり | 建設環境  | 会計    | 選管    | 監査 | 教育 | 計 | H27 | 33.3% | 22.5% | 26.5% | 38.8% | 58.4% | 76.4% | 1.8% | 11.4% | 0.0% | - | - | 60.0% | 0.0% | 66.7% | 51.6% | 41.1% | H28 | 33.3% | 30.0% | 26.4% | 42.0% | 56.3% | 76.4% | 6.3% | 11.8% | 0.0% | - | - | 60.0% | 0.0% | 66.7% | 55.6% | 43.2% | H29 | 33.3% | 31.7% | 30.3% | 48.1% | 54.8% | 77.8% | - | - | - | 17.5% | 4.9% | 60.0% | 0.0% | 66.7% | 53.3% | 42.4% | B |
|                           | 議会              | 政策                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 総務                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 市民生活                                       | 福祉保健  | 子ども家庭 | 環境   | 都市建設  | 都市開発  | まちづくり | 建設環境 | 会計    | 選管    | 監査    | 教育    | 計     |    |    |   |     |       |       |       |       |       |       |      |       |      |   |   |       |      |       |       |       |     |       |       |       |       |       |       |      |       |      |   |   |       |      |       |       |       |     |       |       |       |       |       |       |   |   |   |       |      |       |      |       |       |       |   |
| H27                       | 33.3%           | 22.5%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 26.5%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 38.8%                                      | 58.4% | 76.4% | 1.8% | 11.4% | 0.0%  | -     | -    | 60.0% | 0.0%  | 66.7% | 51.6% | 41.1% |    |    |   |     |       |       |       |       |       |       |      |       |      |   |   |       |      |       |       |       |     |       |       |       |       |       |       |      |       |      |   |   |       |      |       |       |       |     |       |       |       |       |       |       |   |   |   |       |      |       |      |       |       |       |   |
| H28                       | 33.3%           | 30.0%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 26.4%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 42.0%                                      | 56.3% | 76.4% | 6.3% | 11.8% | 0.0%  | -     | -    | 60.0% | 0.0%  | 66.7% | 55.6% | 43.2% |    |    |   |     |       |       |       |       |       |       |      |       |      |   |   |       |      |       |       |       |     |       |       |       |       |       |       |      |       |      |   |   |       |      |       |       |       |     |       |       |       |       |       |       |   |   |   |       |      |       |      |       |       |       |   |
| H29                       | 33.3%           | 31.7%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 30.3%                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 48.1%                                      | 54.8% | 77.8% | -    | -     | -     | 17.5% | 4.9% | 60.0% | 0.0%  | 66.7% | 53.3% | 42.4% |    |    |   |     |       |       |       |       |       |       |      |       |      |   |   |       |      |       |       |       |     |       |       |       |       |       |       |      |       |      |   |   |       |      |       |       |       |     |       |       |       |       |       |       |   |   |   |       |      |       |      |       |       |       |   |
| (No.65) 女性管理職の登用促進        | 職員課<br>文化と人権課   | 平成28(2016)年度までに、管理職の女性比率10%を目指します。そのために、女性管理職登用の妨げになっている要因と対策を検討するなど、庁内における女性管理職の登用にむけた取組みを促進します。(現状:管理職総数66人、女性管理職数3人、女性管理職比率4.5%・平成23(2011)年10月1日現在)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | <p>[職員]</p> <p>平成28年度は女性職員係長職を対象としたキャリアビジョン研修を1回実施し、24名の参加者を得ることができた。</p> <p>平成29年3月31日時点の管理職に占める女性の割合は12.865%(9/70)で目標とする10%を達成できる水準まで引き上げることができた。</p> <p>[文人]</p> <p>内閣府による男女共同参画週間キャッチフレーズ募集記事を庁内イントラネットへ掲載し、平成29年度は女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)の完全施行から1年が経過することを周知した。</p>                                                                                                                                                                                      | 達成<br>管理職の女性比率が目標値である10%を超えたことから、達成とする。    |       |       |      |       |       |       |      |       |       |       |       |       |    |    |   |     |       |       |       |       |       |       |      |       |      |   |   |       |      |       |       |       |     |       |       |       |       |       |       |      |       |      |   |   |       |      |       |       |       |     |       |       |       |       |       |       |   |   |   |       |      |       |      |       |       |       |   |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | B |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・情報提供や意識啓発は行われているものの、審議会等の委員における性の偏りは解消されていない。  
 ・全管理職に占める女性管理職の割合は目標値の10%を達成しているが、更なる向上への取組を期待する。また、各部局における男女比率にも配慮されたい。

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

・平成27・28年度は、女性管理職の割合が目標値の10%を達成している。  
 ・計画期間において、審議会等の委員における性の偏りは解消されていないが、周知啓発を行い、男女比の配慮に努めている。

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | C    | B    | B    | A    |

◆計画の体系

|      |                        |
|------|------------------------|
| 基本目標 | 2. 男女が平等に社会参画できるまち     |
| 課題   | 6. 政策・方針等の意思決定への男女共同参画 |

施策 (2) 地域における男女共同参画

|                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか③事業実施により、男女平等推進の視点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No66・67・68)市における政策又は事業者等における方針の立案若しくは決定をはじめとするあらゆる場に、性別にかかわらずだれもが対等に参加できること</p> |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                | 担当課            | 計画記載の主な事業内容                                            | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 専門委員会評価 |
|--------------------|----------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (No.66) 男性の地域参画の促進 | 公民館課<br>文化と人権課 | 公民館や男女平等推進センターの講座などを通じて、男性が地域でのつながりを広げることのできる機会をつくれます。 | <p>[公民]</p> <p>男性が地域活動に参加するきっかけとなるような場として実施している。光公民館では「男性のための食生活講座」を2回の連続講座として、夏と冬の2回実施。料理初心からリピーターまで幅広い方々の参加があり、講座終了後はグループとして継続的に活動している。「お父さん応援講座」は男性の雑談力・会話術などを学び、仲間づくりの場となった。他の公民館では、男性に限定した講座は開催していないが、男性参加者の多い講座も実施している。</p> <p>[文人]</p> <p>男性の地域参画と働き方格差講座「人生100年どう生きるか ベストセラー『LIFE SHIFT(ライフ・シフト)』からのメッセージ」を開催し、男性・女性すべての方が地域で活動・活躍する人生設計を考える機会を提供した。子育て中の男性を対象とした「ワーク・ライフ・バランス」の推進・子育て支援講座「今日から使えるパパの円満家事4つのコツ」を実施し、参加者同士が交流するきっかけづくりを行った。</p> | B       |
| (No.67) 市民活動への支援   | 協働コミュニティ課      | 情報や場の提供を通じて、さまざまな市民活動に対する支援を行います。                      | <p>市民活動フェスティバルを4月17日に開催。来場者約600人、参加団体19団体。</p> <p>市民活動団体「こらぼdeサロン」を6回実施。33団体、69人が参加。</p> <p>ボランティア活動センターこくぶんじと合同イベントを開催。25団体、42名。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | B       |
| (No.68) 女性リーダーの育成  | 文化と人権課         | 男女平等推進センターにおいて、審議会などさまざまな場での女性の活躍につながる講座などを開催します。      | <p>男性の地域参画と働き方格差講座「人生100年どう生きるか ベストセラー『LIFE SHIFT(ライフ・シフト)』からのメッセージ」を開催し、男性・女性すべての方が地域で活動・活躍する人生設計を考えるきっかけとなった。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | B       |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | B |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座の開催により、男性の地域参画の促進に取り組んでいる。</li> <li>・女性リーダー育成講座は未開催であったが、女性の活躍につながる講座の開催や情報提供を行っている。</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

|                                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間において、男性対象の講座、地域・団体交流会により、地域における男女共同参画に取り組んでいる。継続した取組を期待する。</li> </ul> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | B    | A    | B    | B    |



◆計画の体系

|      |                        |
|------|------------------------|
| 基本目標 | 2. 男女が平等に社会参画できるまち     |
| 課題   | 6. 政策・方針等の意思決定への男女共同参画 |

施策 (3)新たに取り組みを必要とする分野への男女共同参画

|                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>【事業評価の視点】</p> <p>①計画に沿った事業を行ったか②事業実施の際に男女平等推進の視点を盛り込んで行ったか又は実施した事業内容は男女平等・共同参画の観点からみて適切・効果的であったか③事業実施により、男女平等推進の視点からみて成果を挙げることができたと考えられるか</p> <p>【男女平等推進の視点】(国分寺市男女平等推進条例第3条第1項より)</p> <p>(事業No69・70)市における政策又は事業者等における方針の立案若しくは決定をはじめとするあらゆる場に、性別にかかわらずだれもが対等に参加できること</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

| 事業名                      | 担当課               | 計画記載の主な事業内容                                                   | 所管課報告の28年度主な事業実績                                                                                                                 | 専門委員会評価 |
|--------------------------|-------------------|---------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| (No.69)都市計画・防災分野への男女共同参画 | まちづくり計画課<br>防災安全課 | まちの将来像を定めるマスタープラン策定の場など、都市計画の分野への女性の参画を推進します。                 | [まち計]<br>都市計画審議会の女性委員は3人であり、前回同様である。<br>[防災]<br>女性の防災会議委員について平成28年度は、前年度と比べて1名の減がありました。                                          | B       |
| (No.70)農業経営への男女共同参画      | 経済課               | 市内の農業において女性が果たしている役割の重要性に照らして、女性の農業経営参画につながる「家族経営協定」締結を促進します。 | 農業経営改善計画の認定につき、1経営体が再度、女性農業者を含む家族経営協定を締結し、再認定をつけた。<br>新たな認定農業者はいなかったため、女性農業者を含む家族経営協定締結件数/全経営体数=19/50、締結実績は38%は前年度同様。(平成28年度末時点) | B       |

◆施策の推進状況評価

| 推進委員会(外部)評価 |   |
|-------------|---|
| 28年度        | B |
| 後期計画        | ○ |

〈推進委員会による施策別評価に際し着目したポイント〉

- ・都市計画の分野への女性参画推進のため、託児サービスを用意したが、都市計画審議会においては女性委員数に変動はなかった。
- ・男女比を考慮した初動要員の配置により、女性の視点を取り入れた避難所運営に取り組んでいる。

| 協議会(総合)評価 |   |
|-----------|---|
| 28年度      | B |
| 後期計画      | ○ |

〈協議会による施策別評価に際し着目したポイント〉

- ・計画期間においては、女性委員が進出できるよう「国分寺市防災会議条例」を改正し、防災分野への男女共同参画推進に努めている。

| 参考 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 |
|----|------|------|------|------|
|    | A    | A    | B    | B    |

## IV 数値目標の達成状況

数値目標は、計画実施期間内に達成すべき数値の目標として計画で設定しているものです。

### 1 庁内におけるワークライフバランスの推進（事業No. 49）

| 数値目標<br>男性職員の育児休業取得率 | 計画策定当初      | 平成 28 年度    |
|----------------------|-------------|-------------|
| 対象者 1 割の取得           | 5 % ( 1 人 ) | 7 % ( 1 人 ) |

### 2 審議会等の委員における性による偏りの解消（事業 No. 63）

数値目標：審議会等の委員において一方の性が 4 割を下回らないようにする。

#### 【各種審議会等における女性の割合】

※平成 29 年 4 月 1 日時点で委員数が把握できているもの 政策経営課資料より作成

#### ①行政委員会（地方自治法第 180 条の 5 参照）

| 名称          | 庶務担当課      | 根拠法令                               | 委員数 | うち男性 |      | うち女性 |     |
|-------------|------------|------------------------------------|-----|------|------|------|-----|
|             |            |                                    |     | 人数   | 割合   | 人数   | 割合  |
| 教育委員会       | 教育総務課      | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律                | 5   | 3    | 60%  | 2    | 40% |
| 選挙管理委員会     | 選挙管理委員会事務局 | 地方自治法第181条                         | 4   | 3    | 75%  | 1    | 25% |
| 農業委員会       | 農業委員会事務局   | 農業委員会等に関する法律・国分寺市農業委員会の委員の定数に関する条例 | 15  | 14   | 93%  | 1    | 7%  |
| 固定資産評価審査委員会 | 情報管理課      | 地方税法・国分寺市固定資産評価審査委員会条例             | 3   | 3    | 100% | 0    | 0%  |
| 監査委員        | 監査委員事務局    | 地方自治法第195条                         | 2   | 1    | 50%  | 1    | 50% |

#### ②附属機関等法律・条例により設置されている委員会等（地方自治法第 202 条の 3 等）

| 名称                 | 庶務担当課 | 根拠法令                             | 委員数 | うち男性 |      | うち女性 |     |
|--------------------|-------|----------------------------------|-----|------|------|------|-----|
|                    |       |                                  |     | 人数   | 割合   | 人数   | 割合  |
| 国分寺市情報公開・個人情報保護審査会 | 情報管理課 | 国分寺市情報公開・個人情報保護審査会設置条例           | 5   | 5    | 100% | 0    | 0%  |
| 国分寺市情報公開・個人情報保護審議会 | 情報管理課 | 国分寺市情報公開・個人情報保護審議会設置条例           | 12  | 10   | 83%  | 2    | 17% |
| 国分寺市行政改革推進委員会      | 政策経営課 | 国分寺市行政改革推進委員会設置条例                | 8   | 7    | 88%  | 1    | 12% |
| 国分寺市オンブズパーソン       | 政策法務課 | 国分寺市オンブズパーソン条例                   | 2   | 2    | 100% | 0    | 0%  |
| 国分寺市政治倫理審査会        | 政策法務課 | 国分寺市政治倫理条例                       | 5   | 3    | 60%  | 2    | 40% |
| 国分寺市行政不服審査会        | 政策法務課 | 国分寺市行政不服審査会設置条例                  | 5   | 3    | 60%  | 2    | 40% |
| 国分寺市補助金等審査会        | 財政課   | 国分寺市補助金等審査会条例                    | 5   | 3    | 60%  | 2    | 40% |
| 国分寺市表彰審査委員会        | 秘書課   | 国分寺市表彰条例                         | 5   | 4    | 80%  | 1    | 20% |
| 国分寺市公共調達委員会        | 契約管財課 | 国分寺市公共調達条例                       | 5   | 5    | 100% | 0    | 0%  |
| 非常勤職員等公務災害補償等審査会   | 職員課   | 国分寺市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例 | 3   | 3    | 100% | 0    | 0%  |
| 国分寺市職員倫理審査会        | 職員課   | 職員倫理条例第11条                       | 3   | 1    | 33%  | 2    | 67% |
| 国分寺市特別職報酬等審議会      | 職員課   | 国分寺市特別職報酬等審議会設置条例                | 8   | 6    | 75%  | 2    | 25% |
| 国分寺市職員懲戒審査会        | 職員課   | 国分寺市職員懲戒審査会設置条例                  | 3   | 2    | 67%  | 1    | 33% |
| 国分寺市防災会議           | 防災安全課 | 国分寺市防災会議条例                       | 32  | 31   | 97%  | 1    | 3%  |
| 国分寺市国民保護協議会        | 防災安全課 | 国分寺市国民保護協議会条例                    | 31  | 29   | 94%  | 2    | 6%  |
| 国分寺市小口事業資金融資審査会    | 経済課   | 国分寺市小口事業資金融資条例                   | 5   | 5    | 100% | 0    | 0%  |
| 国分寺市認定農業者審査会       | 経済課   | 国分寺市認定農業者審査会設置条例                 | 4   | 4    | 100% | 0    | 0%  |

|                          |          |                                        |    |    |      |    |     |
|--------------------------|----------|----------------------------------------|----|----|------|----|-----|
| 国分寺市消費生活審議会              | 経済課      | 国分寺市消費生活条例                             | 6  | 3  | 50%  | 3  | 50% |
| 国分寺市被害救済委員会              | 経済課      | 国分寺市消費生活条例                             | 6  | 4  | 67%  | 2  | 33% |
| 国分寺市男女平等推進委員会            | 文化と人権課   | 国分寺市男女平等推進条例                           | 9  | 3  | 33%  | 6  | 67% |
| 国分寺市民生委員推せん会             | 地域福祉課    | 国分寺市民生委員推せん会規則                         | 8  | 8  | 100% | 0  | 0%  |
| 国分寺市障害者施策推進協議会           | 障害福祉課    | 国分寺市障害者施策推進協議会設置条例                     | 8  | 5  | 63%  | 3  | 37% |
| 国分寺市障害支援区分認定審査会          | 障害福祉課    | 国分寺市障害支援区分認定審査会設置条例                    | 10 | 5  | 50%  | 5  | 50% |
| 国分寺市国民健康保険運営協議会          | 保険課      | 国分寺市国民健康保険条例                           | 16 | 13 | 81%  | 3  | 19% |
| 国分寺市予防接種健康被害調査委員会        | 健康推進課    | 国分寺市予防接種健康被害調査委員会条例                    | 5  | 5  | 100% | 0  | 0%  |
| 国分寺市地域包括支援センター運営協議会      | 高齢福祉課    | 地域包括支援センター運営協議会設置条例                    | 13 | 8  | 62%  | 5  | 38% |
| 国分寺市老人ホーム入所判定委員会         | 高齢福祉課    | 国分寺市老人ホーム入所判定委員会条例                     | 5  | 3  | 60%  | 2  | 40% |
| 介護保険運営協議会                | 高齢福祉課    | 国分寺市介護保険条例                             | 15 | 9  | 60%  | 6  | 40% |
| 国分寺市介護認定審査会              | 高齢福祉課    | 国分寺市介護保険条例                             | 54 | 31 | 57%  | 23 | 43% |
| 子ども・子育て会議                | 子ども若者計画課 | 国分寺市子ども・子育て会議設置条例                      | 11 | 4  | 36%  | 7  | 64% |
| 国分寺市青少年問題協議会             | 子ども若者計画課 | 国分寺市青少年問題協議会条例                         | 12 | 6  | 50%  | 6  | 50% |
| 国分寺市立子ども家庭支援センター運営協議会    | 子育て相談室   | 国分寺市立子ども家庭支援センター運営協議会設置条例              | 11 | 6  | 55%  | 5  | 45% |
| 国分寺市都市計画審議会              | まちづくり計画課 | 国分寺市都市計画審議会条例                          | 15 | 12 | 80%  | 3  | 20% |
| 国分寺市まちづくり市民会議            | まちづくり推進課 | 国分寺市まちづくり条例                            | 10 | 6  | 60%  | 4  | 40% |
| 国分寺市国分寺駅北口地区第一種市街地再開発審査会 | 駅周辺整備課   | 国分寺市都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業の施行に関する条例 | 7  | 7  | 100% | 0  | 0%  |
| 国分寺市市街地再開発事業融資あっせん審査会    | 駅周辺整備課   | 国分寺市市街地再開発事業に係る権利者に対する融資あっせん及び助成に関する条例 | 4  | 4  | 100% | 0  | 0%  |
| 国分寺市建築審査会                | 建築指導課    | 国分寺市建築審査会設置条例                          | 5  | 4  | 80%  | 1  | 20% |
| 国分寺市財産価格審議会              | 建設事業課    | 国分寺市財産価格審議会条例                          | 7  | 5  | 71%  | 2  | 29% |
| 国分寺市交通安全対策協議会            | 交通対策課    | 国分寺市交通安全対策協議会条例                        | 14 | 12 | 86%  | 2  | 14% |
| 国分寺市湧水等保全審議会             | 緑と建築課    | 国分寺市湧水及び地下水の保全に関する条例                   | 5  | 5  | 100% | 0  | 0%  |
| 国分寺市緑化推進協議会              | 緑と建築課    | 国分寺市の緑の保護と推進に関する条例                     | 14 | 11 | 79%  | 3  | 21% |
| 国分寺市廃棄物の減量及び再利用推進審議会     | ごみ減量推進課  | 国分寺市廃棄物の処理及び減量並びに再利用に関する条例             | 16 | 8  | 50%  | 8  | 50% |
| いじめ防止対策審議会               | 学校指導課    | 子どもいじめ虐待防止条例                           | 5  | 4  | 80%  | 1  | 20% |
| 国分寺市青少年委員                | 社会教育課    | 国分寺市青少年委員の設置に関する条例                     | 13 | 3  | 23%  | 10 | 77% |
| 国分寺市社会教育委員               | 社会教育課    | 国分寺市社会教育委員の設置に関する条例                    | 10 | 5  | 50%  | 5  | 50% |
| 国分寺市文化財保護審議会             | ふるさと文化財課 | 国分寺市文化財の保存と活用に関する条例                    | 6  | 6  | 100% | 0  | 0%  |
| 国分寺市武蔵国分寺跡保存整備委員会        | ふるさと文化財課 | 国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会設置条例                | 10 | 10 | 100% | 0  | 0%  |
| 国分寺市公民館運営審議会             | 公民館課     | 社会教育法・国分寺市立公民館設置及び管理に関する条例             | 11 | 7  | 64%  | 4  | 36% |
| 国分寺市図書館運営協議会             | 図書館課     | 国分寺市立図書館条例                             | 10 | 5  | 50%  | 5  | 50% |

③設置要綱などにより設置されている①、②以外の会議等

| 名称                  | 庶務担当課 | 根拠法令                        | 委員数 | うち男性 |      | うち女性 |     |
|---------------------|-------|-----------------------------|-----|------|------|------|-----|
|                     |       |                             |     | 人数   | 割合   | 人数   | 割合  |
| 国分寺市まち・ひと・しごと創生推進会議 | 政策経営課 | 国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議設置要綱 | 10  | 8    | 80%  | 2    | 20% |
| 国分寺市指定管理者候補者選定委員会   | 契約管財課 | 国分寺市指定管理者候補者選定委員会設置要綱       | 3   | 3    | 100% | 0    | 0%  |
| 国分寺市指定管理者評価委員会      | 契約管財課 | 国分寺市指定管理者候補者選定委員会設置要綱       | 3   | 2    | 67%  | 1    | 33% |
| 国分寺市認定農業者相談支援チーム    | 経済課   | 国分寺市認定農業者相談支援チーム設置要綱        | 7   | 6    | 86%  | 1    | 14% |
| 国分寺市農業委員会委員候補者検討委員会 | 経済課   | 国分寺市農業委員会委員候補者検討委員会設置要綱     | 7   | 7    | 100% | 0    | 0%  |
| 国分寺市就労支援地域連絡会       | 経済課   | 国分寺市就労支援地域連絡会               | 8   | 8    | 100% | 0    | 0%  |

|                                             |           |                                                 |    |    |      |    |     |
|---------------------------------------------|-----------|-------------------------------------------------|----|----|------|----|-----|
| 国分寺市市民活動推進事業等審査会                            | 文化と人権課    | 国分寺市市民活動推進事業等審査会設置要綱                            | 7  | 5  | 71%  | 2  | 29% |
| 国分寺市立いづみホール運営委員会                            | 文化と人権課    | 国分寺市立いづみホール運営委員会設置要綱                            | 6  | 3  | 50%  | 3  | 50% |
| 国分寺市文化振興市民会議                                | 文化と人権課    | 国分寺市文化振興市民会議設置要綱                                | 11 | 7  | 64%  | 4  | 36% |
| 国分寺市協働事業審査会                                 | 協働コミュニティ課 | 国分寺市協働事業審査会設置要綱                                 | 6  | 4  | 67%  | 2  | 33% |
| 国分寺市スポーツ推進委員                                | スポーツ振興課   | スポーツ基本法、国分寺市スポーツ推進委員に関する規則                      | 15 | 6  | 40%  | 9  | 60% |
| 国分寺市障害者地域自立支援協議会                            | 障害福祉課     | 国分寺市障害者地域自立支援協議会設置要綱                            | 18 | 9  | 50%  | 9  | 50% |
| 国分寺市障害者虐待防止ネットワーク代表者会議                      | 障害福祉課     | 国分寺市障害者虐待防止ネットワーク実施要綱                           | 18 | 18 | 100% | 0  | 0%  |
| 国分寺市障害者虐待防止ネットワーク実務者会議                      | 障害福祉課     | 国分寺市障害者虐待防止ネットワーク実施要綱                           | 22 | 12 | 55%  | 10 | 45% |
| 国分寺市子どもの歯を守る連絡会                             | 健康推進課     | 国分寺市子どもの歯を守る連絡会設置要綱                             | 10 | 5  | 50%  | 5  | 50% |
| 国分寺市健康増進計画評価等委員会                            | 健康推進課     | 国分寺市健康増進計画評価等委員会設置要綱                            | 8  | 3  | 38%  | 5  | 62% |
| 国分寺市高齢者虐待対応マニュアル策定検討委員会                     | 高齢福祉課     | 国分寺市高齢者虐待対応マニュアル策定検討委員会設置要綱                     | 13 | 2  | 15%  | 11 | 85% |
| 国分寺市高齢者虐待防止ネットワーク代表者会議                      | 高齢福祉課     | 国分寺市高齢者虐待防止ネットワーク実施要綱                           | 17 | 17 | 100% | 0  | 0%  |
| 国分寺市高齢者虐待防止ネットワーク実務者会議                      | 高齢福祉課     | 国分寺市高齢者虐待防止ネットワーク実施要綱                           | 21 | 13 | 62%  | 8  | 38% |
| 国分寺市地域ケア会議                                  | 高齢福祉課     | 国分寺市地域ケア会議運営要綱                                  | 26 | 11 | 42%  | 15 | 58% |
| 国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画評価等検討委員会              | 高齢福祉課     | 国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画評価等検討委員会設置要綱              | 7  | 5  | 71%  | 2  | 29% |
| 国分寺市生きがい推進事業協議会                             | 高齢福祉課     | 国分寺市生きがい推進事業協議会設置要綱                             | 12 | 9  | 75%  | 3  | 25% |
| 国分寺市生活支援・介護予防サービス整備推進会議                     | 高齢福祉課     | 国分寺市生活支援・介護予防サービス整備推進会議設置要綱                     | 14 | 7  | 50%  | 7  | 50% |
| 国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定検討委員会               | 高齢福祉課     | 国分寺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定検討委員会設置要綱               | 8  | 5  | 63%  | 3  | 37% |
| 国分寺市子育て・育ちいきいき計画推進協議会                       | 子ども若者計画課  | 国分寺市子育て・育ちいきいき計画推進協議会設置要綱                       | 8  | 5  | 63%  | 3  | 37% |
| 国分寺市要保護児童対策地域協議会 代表者会議委員                    | 子育て相談室    | 国分寺市要保護児童対策地域協議会設置要綱                            | 19 | 16 | 84%  | 3  | 16% |
| 国分寺市要保護児童対策地域協議会 実務者会議委員                    | 子育て相談室    | 国分寺市要保護児童対策地域協議会設置要綱                            | 18 | 12 | 67%  | 6  | 33% |
| 国分寺市環境推進管理委員会                               | まちづくり計画課  | 国分寺市環境推進管理委員会設置要綱                               | 12 | 10 | 83%  | 2  | 17% |
| 国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業タウンネーミング候補選定委員会 | 駅周辺整備課    | 国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業タウンネーミング候補選定委員会設置要綱 | 13 | 9  | 69%  | 4  | 31% |
| 国分寺市地域公共交通会議                                | 交通対策課     | 国分寺市地域公共交通会議設置要綱                                | 11 | 11 | 100% | 0  | 0%  |
| 国分寺市清掃センター周辺地元協議会                           | 環境対策課     | 国分寺市清掃センター周辺地元協議会設置要綱                           | 12 | 10 | 83%  | 2  | 17% |
| (仮称)国分寺市リサイクルセンター施設整備基本計画等検討委員会             | 環境対策課     | (仮称)国分寺市リサイクルセンター施設整備基本計画等検討委員会設置要綱             | 6  | 6  | 100% | 0  | 0%  |
| 国分寺市立第七小学校コミュニティ・スクール協議会                    | 学校指導課     | コミュニティ・スクール協議会規則                                | 15 | 5  | 33%  | 10 | 67% |
| 国分寺市立第八小学校コミュニティ・スクール協議会                    | 学校指導課     | コミュニティ・スクール協議会規則                                | 11 | 7  | 64%  | 4  | 36% |
| 国分寺市立第九小学校コミュニティ・スクール協議会                    | 学校指導課     | コミュニティ・スクール協議会規則                                | 15 | 6  | 40%  | 9  | 60% |
| 国分寺市立本多公民館運営サポート会議                          | 公民館課      | 国分寺市公民館運営サポート会議設置要綱                             | 10 | 4  | 40%  | 6  | 60% |
| 国分寺市立恋ヶ窪公民館運営サポート会議                         | 公民館課      | 国分寺市公民館運営サポート会議設置要綱                             | 10 | 2  | 20%  | 8  | 80% |
| 国分寺市立光公民館運営サポート会議                           | 公民館課      | 国分寺市公民館運営サポート会議設置要綱                             | 10 | 5  | 50%  | 5  | 50% |
| 国分寺市立もとまち公民館運営サポート会議                        | 公民館課      | 国分寺市公民館運営サポート会議設置要綱                             | 10 | 5  | 50%  | 5  | 50% |
| 国分寺市立並木公民館運営サポート会議                          | 公民館課      | 国分寺市公民館運営サポート会議設置要綱                             | 10 | 5  | 50%  | 5  | 50% |

### 3 女性管理職の登用促進（事業 No. 65）

| 数値目標 市の管理職の女性比率            | 計画策定当初    | 平成 28 年度    |
|----------------------------|-----------|-------------|
| 25%<br>※平成 24 年度行動計画より 10% | 6.3%（4 人） | 12.86%（9 人） |

## **V 評価方法の確認事項**

総合評価で「達成」となった施策について、推進状況の確認のため自己点検票を作成し、評価を行う。

## VI 参考指標

参考指標は、国分寺市男女平等推進行動計画の各重点分野に関連して、男女平等社会形成の進捗状況を把握する上での一つのものさしになることを期待して、男女平等推進委員会との協議の上設定しているものです。

経年変化や他市との比較をすることで、現状分析と今後の課題を設定することに役立つものであり、その数値自体が目標値となるわけではありません。

### 【D V 分野】

○国分寺市におけるDVの相談件数（延べ）

| 年度 | 男女平等人権課（現：文化と人権課） |    |                |    |           |    | 生活福祉課       |     |
|----|-------------------|----|----------------|----|-----------|----|-------------|-----|
|    | 女性のための<br>カウンセリング |    | 女性のための<br>法律相談 |    | 女性の悩みごと相談 |    | 母子・女性福祉相談件数 |     |
|    | 内DV相談             |    | 内DV相談          |    | 内DV相談     |    | 内DV相談       |     |
| 24 | 51                | 13 | 37             | 10 | 219       | 71 | 1,025       | 180 |
| 25 | 43                | 8  | 26             | 2  | 181       | 76 | 954         | 215 |
| 26 | 51                | 20 | 35             | 5  | 219       | 65 | 616         | 585 |
| 27 | 59                | 13 | 15             | 3  | 203       | 91 | 1,126       | 762 |
| 28 | 45                | 5  | 23             | 2  | 168       | 77 | 892         | 151 |

※文化と人権課調べ

### 【学 校 教 育 分 野】

○公立小学校教員における職位別男女比（26市比較）

| 市町村名        | 教員数<br>(本務者) | 男          |            | 女        |          | 校長       |          | 副校長       |           | 主幹教諭      |            | 教諭       |          | 養護教諭     |          | 栄養教諭     |          |
|-------------|--------------|------------|------------|----------|----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
|             |              | 男          | 女          | 男        | 女        | 男        | 女        | 男         | 女         | 男         | 女          | 男        | 女        | 男        | 女        | 男        | 女        |
| 八王子市        | 1,649        | 690        | 959        | 54       | 11       | 58       | 16       | 76        | 55        | 500       | 809        | 0        | 68       | 0        | 0        | 0        | 0        |
| 立川市         | 492          | 190        | 302        | 18       | 2        | 16       | 4        | 19        | 12        | 137       | 262        | 0        | 21       | 0        | 0        | 0        | 0        |
| 武蔵野市        | 309          | 115        | 194        | 4        | 8        | 5        | 7        | 14        | 11        | 91        | 152        | 0        | 15       | 0        | 0        | 0        | 0        |
| 三鷹市         | 436          | 170        | 266        | 12       | 3        | 12       | 3        | 16        | 15        | 129       | 229        | 0        | 15       | 0        | 0        | 0        | 0        |
| 青梅市         | 401          | 169        | 232        | 14       | 2        | 14       | 3        | 19        | 9         | 121       | 195        | 0        | 19       | 0        | 1        | 0        | 1        |
| 府中市         | 679          | 267        | 412        | 16       | 6        | 17       | 7        | 39        | 18        | 195       | 352        | 0        | 24       | 0        | 3        | 0        | 3        |
| 昭島市         | 322          | 138        | 184        | 9        | 4        | 10       | 3        | 21        | 13        | 98        | 150        | 0        | 12       | 0        | 1        | 0        | 1        |
| 調布市         | 576          | 212        | 364        | 15       | 5        | 13       | 8        | 26        | 17        | 156       | 314        | 1        | 19       | 0        | 0        | 0        | 0        |
| 町田市         | 1,246        | 496        | 750        | 33       | 8        | 27       | 15       | 61        | 29        | 374       | 651        | 0        | 43       | 0        | 2        | 0        | 2        |
| 小金井市        | 254          | 93         | 161        | 7        | 2        | 6        | 3        | 13        | 10        | 67        | 136        | 0        | 8        | 0        | 1        | 0        | 1        |
| 小平市         | 511          | 199        | 312        | 16       | 3        | 15       | 4        | 21        | 19        | 145       | 266        | 0        | 18       | 0        | 1        | 0        | 1        |
| 日野市         | 494          | 185        | 309        | 11       | 6        | 14       | 3        | 18        | 16        | 142       | 266        | 0        | 15       | 0        | 1        | 0        | 1        |
| 東村山市        | 397          | 154        | 243        | 13       | 2        | 8        | 7        | 21        | 14        | 112       | 204        | 0        | 16       | 0        | 0        | 0        | 0        |
| <b>国分寺市</b> | <b>282</b>   | <b>103</b> | <b>179</b> | <b>8</b> | <b>2</b> | <b>6</b> | <b>4</b> | <b>12</b> | <b>12</b> | <b>76</b> | <b>151</b> | <b>0</b> | <b>9</b> | <b>0</b> | <b>0</b> | <b>0</b> | <b>0</b> |
| 国立市         | 199          | 88         | 111        | 7        | 1        | 5        | 3        | 10        | 3         | 65        | 96         | 0        | 8        | 0        | 0        | 0        | 0        |
| 福生市         | 167          | 78         | 89         | 6        | 1        | 6        | 1        | 11        | 3         | 55        | 75         | 0        | 8        | 0        | 1        | 0        | 1        |
| 狛江市         | 188          | 82         | 106        | 5        | 1        | 6        | 0        | 12        | 2         | 59        | 95         | 0        | 7        | 0        | 1        | 0        | 1        |
| 東大和市        | 256          | 105        | 151        | 9        | 1        | 7        | 3        | 12        | 9         | 75        | 131        | 0        | 7        | 1        | 0        | 0        | 0        |
| 清瀬市         | 214          | 86         | 128        | 9        | 0        | 5        | 4        | 13        | 7         | 58        | 109        | 0        | 7        | 0        | 1        | 0        | 1        |
| 東久留米市       | 315          | 118        | 197        | 9        | 4        | 6        | 7        | 12        | 9         | 90        | 162        | 0        | 13       | 0        | 1        | 0        | 1        |
| 武蔵村山市       | 244          | 113        | 131        | 8        | 0        | 7        | 3        | 13        | 10        | 82        | 108        | 0        | 8        | 0        | 1        | 0        | 1        |
| 多摩市         | 420          | 168        | 252        | 14       | 3        | 15       | 2        | 18        | 15        | 121       | 214        | 0        | 16       | 0        | 1        | 0        | 1        |
| 稲城市         | 296          | 109        | 187        | 8        | 4        | 8        | 4        | 10        | 10        | 83        | 154        | 0        | 12       | 0        | 1        | 0        | 1        |
| 羽村市         | 174          | 83         | 91         | 6        | 1        | 6        | 1        | 12        | 3         | 59        | 77         | 0        | 8        | 0        | 1        | 0        | 1        |
| あきる野市       | 255          | 111        | 144        | 9        | 1        | 7        | 3        | 10        | 8         | 83        | 124        | 0        | 8        | 1        | 0        | 0        | 0        |
| 西東京市        | 484          | 182        | 302        | 16       | 2        | 15       | 3        | 22        | 18        | 129       | 262        | 0        | 16       | 0        | 1        | 0        | 1        |

※平成28年度学校基本調査より作成



○病児・病後児保育実施状況（26市比較）

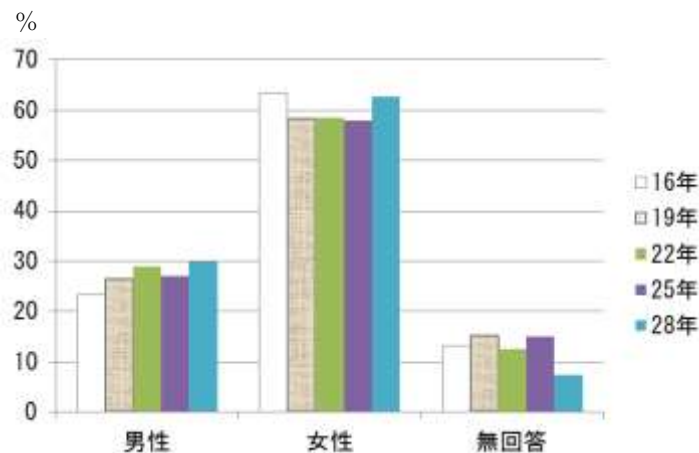
|       | 病児 | 病後児 | 施設数 | 定員数 | 対象                             |
|-------|----|-----|-----|-----|--------------------------------|
| 八王子市  | ○  | ○   | 3   | 15  | 産休明け～小3                        |
| 立川市   |    | ○   | 2   | 8   | 4か月～小3                         |
| 武蔵野市  | ○  | ○   | 2   | 8   | 6か月～小3                         |
| 三鷹市   | ○  | ○   | 2   | 8   | 4か月～就学前                        |
| 青梅市   |    | ○   | 1   | 4   | 2か月～小3                         |
| 府中市   | ○  | ○   | 2   | 10  | 5か月～小3                         |
| 昭島市   | ○  | ○   | 2   | 7   | 1歳～就学前                         |
| 調布市   | ○  | ○   | 2   | 8   | 1歳～小3                          |
| 町田市   | ○  | ○   | 5   | 20  | 病児：4か月～小3<br>病後児：1歳～小3         |
| 小金井市  |    | ○   | 1   | 4   | 1歳～就学前                         |
| 小平市   | ○  | ○   | 2   | 10  | 6か月～就学前                        |
| 日野市   | ○  | ○   | 3   | 8   | 産休明け～概ね10歳未満                   |
| 東村山市  | ○  | ○   | 1   | 4   | 6か月～小3                         |
| 国分寺市  | ○  | ○   | 4   | 16  | 保育園・幼稚園施設等在籍者                  |
| 国立市   | ○  | ○   | 1   | 6   | 6か月～小3                         |
| 福生市   | ○  | ○   | 2   | 8   | 6か月～小6                         |
| 狛江市   | ○  | ○   | 1   | 10  | ～小3                            |
| 東大和市  | ○  | ○   | 1   | 6   | 満6か月～小6                        |
| 清瀬市   | ○  | ○   | 2   | 10  | 病児：2か月～小4<br>病後児：市内在住に勤、満1歳～小3 |
| 東久留米市 | ○  | ○   | 1   | 4   | 1歳～小低学年                        |
| 武蔵村山市 |    | ○   | 1   | 4   | 6か月～就学前，保育施設等在籍者               |
| 多摩市   | ○  | ○   | 2   | 12  | 未就学児・学童クラブ入所児                  |
| 稲城市   | ○  | ○   | 2   | 4～6 | 満4か月～小3                        |
| 羽村市   | ○  | ○   | 2   | 8   | 病児：6か月～小6<br>病後児：保育施設・学童等在籍者   |
| あきる野市 |    | ○   | 1   | 3   | 保育施設在籍者                        |
| 西東京市  | ○  | ○   | 2   | 10  | 6か月～小4                         |

※病児・病後児保育の施設数・定員数の総数を記載。

【高齢者介護分野】

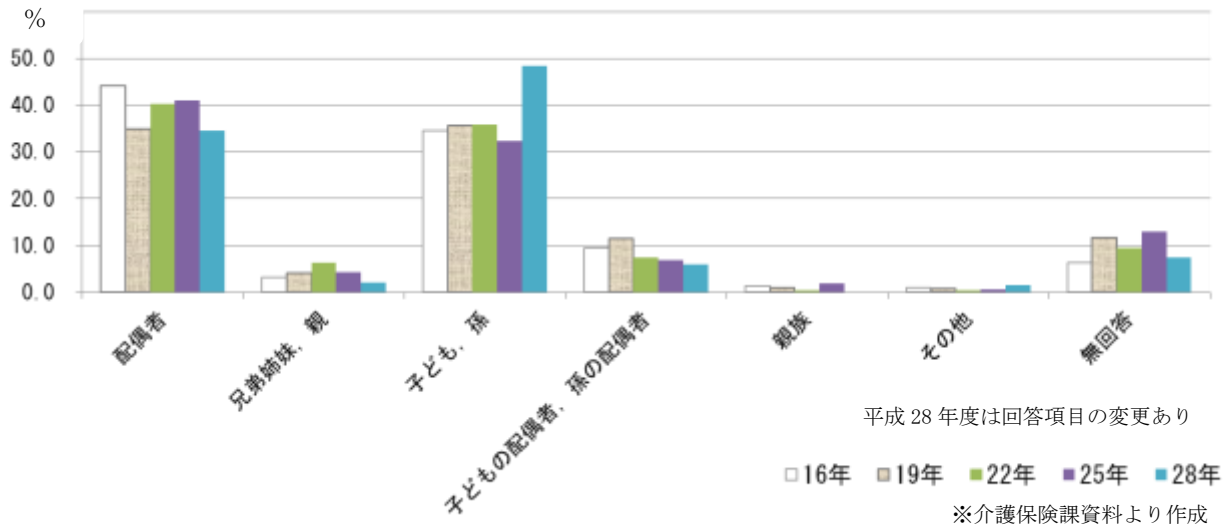
○在宅介護における主介護者の性別と要介護者との続柄（経年比較）

<主介護者の性別>





<要介護者からみた主介護者の続柄>



【防 災 分 野】

○防災会議における委員の男女構成比 (26市比較)

| 市町村名        | 防災会議委員総数(人) | うち女性委員数(人) | 女性割合(%)    |
|-------------|-------------|------------|------------|
| 八王子市        | 47          | 9          | 19.1       |
| 立川市         | 40          | 4          | 10.0       |
| 武蔵野市        | 27          | 3          | 11.1       |
| 三鷹市         | 34          | 5          | 14.7       |
| 青梅市         | 33          | 3          | 9.1        |
| 府中市         | 27          | 4          | 14.8       |
| 昭島市         | 40          | 5          | 12.5       |
| 調布市         | 33          | 4          | 12.1       |
| 町田市         | 34          | 3          | 8.8        |
| 小金井市        | 29          | 10         | 34.5       |
| 小平市         | 31          | 6          | 19.4       |
| 日野市         | 27          | 7          | 25.9       |
| 東村山市        | 32          | 6          | 18.8       |
| <b>国分寺市</b> | <b>33</b>   | <b>3</b>   | <b>9.1</b> |
| 国立市         | 24          | 3          | 12.5       |
| 福生市         | 27          | 2          | 7.4        |
| 狛江市         | 29          | 4          | 13.8       |
| 東大和市        | 24          | 5          | 20.8       |
| 清瀬市         | 25          | 11         | 44.0       |
| 東久留米市       | 23          | 5          | 21.7       |
| 武蔵村山市       | 29          | 2          | 6.9        |
| 多摩市         | 24          | 4          | 16.7       |
| 稲城市         | 19          | 4          | 21.1       |
| 羽村市         | 26          | 3          | 11.5       |
| あきる野市       | 35          | 4          | 11.4       |
| 西東京市        | 32          | 6          | 18.8       |

※地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況(平成28年度)(市区町村編)より作成

【モデル事業所】

○事務系市職員の職位別男女比（26市比較）

| 市区町村名       | 管理職総数<br>(A) | うち女性     | 割合           | 係長級総数<br>(B) | うち女性      | 割合           | 職員総数<br>(AB除く)<br>(C) | うち女性       | 割合           | 総数<br>(A+B+C) | うち女性       | 割合           |
|-------------|--------------|----------|--------------|--------------|-----------|--------------|-----------------------|------------|--------------|---------------|------------|--------------|
| 八王子市        | 136          | 17       | 12.5%        | 467          | 56        | 12.0%        | 1,168                 | 498        | 42.6%        | 1,771         | 571        | 32.2%        |
| 立川市         | 67           | 11       | 16.4%        | 161          | 43        | 26.7%        | 430                   | 155        | 36.0%        | 658           | 209        | 31.8%        |
| 武蔵野市        | 79           | 9        | 11.4%        | 161          | 53        | 32.9%        | 396                   | 220        | 55.6%        | 636           | 282        | 44.3%        |
| 三鷹市         | 99           | 16       | 16.2%        | 102          | 22        | 21.6%        | 384                   | 181        | 47.1%        | 585           | 219        | 37.4%        |
| 青梅市         | 62           | 8        | 12.9%        | 139          | 16        | 11.5%        | 386                   | 152        | 39.4%        | 587           | 176        | 30.0%        |
| 府中市         | 109          | 11       | 10.1%        | 129          | 16        | 12.4%        | 552                   | 290        | 52.5%        | 790           | 317        | 40.1%        |
| 昭島市         | 59           | 8        | 13.6%        | 109          | 29        | 26.6%        | 262                   | 107        | 40.8%        | 430           | 144        | 33.5%        |
| 調布市         | 137          | 16       | 11.7%        | 164          | 51        | 31.1%        | 557                   | 267        | 47.9%        | 858           | 334        | 38.9%        |
| 町田市         | 165          | 14       | 8.5%         | 353          | 77        | 21.8%        | 931                   | 442        | 47.5%        | 1,449         | 533        | 36.8%        |
| 小金井市        | 62           | 11       | 17.7%        | 90           | 17        | 18.9%        | 276                   | 112        | 40.6%        | 428           | 140        | 32.7%        |
| 小平市         | 113          | 10       | 8.8%         | 119          | 33        | 27.7%        | 367                   | 138        | 37.6%        | 599           | 181        | 30.2%        |
| 日野市         | 117          | 20       | 17.1%        | 112          | 36        | 32.1%        | 409                   | 171        | 41.8%        | 638           | 227        | 35.6%        |
| 東村山市        | 79           | 8        | 10.1%        | 156          | 37        | 23.7%        | 324                   | 144        | 44.4%        | 559           | 189        | 33.8%        |
| <b>国分寺市</b> | <b>62</b>    | <b>7</b> | <b>11.3%</b> | <b>106</b>   | <b>26</b> | <b>24.5%</b> | <b>249</b>            | <b>115</b> | <b>46.2%</b> | <b>417</b>    | <b>148</b> | <b>35.5%</b> |
| 国立市         | 45           | 5        | 11.1%        | 70           | 12        | 17.1%        | 180                   | 68         | 37.8%        | 295           | 85         | 28.8%        |
| 福生市         | 52           | 7        | 13.5%        | 98           | 30        | 30.6%        | 190                   | 74         | 38.9%        | 340           | 111        | 32.6%        |
| 狛江市         | 46           | 7        | 15.2%        | 48           | 10        | 20.8%        | 177                   | 77         | 43.5%        | 271           | 94         | 34.7%        |
| 東大和市        | 56           | 6        | 10.7%        | 88           | 14        | 15.9%        | 239                   | 97         | 40.6%        | 383           | 117        | 30.5%        |
| 清瀬市         | 41           | 4        | 9.8%         | 64           | 14        | 21.9%        | 214                   | 111        | 51.9%        | 319           | 129        | 40.4%        |
| 東久留米市       | 36           | 3        | 8.3%         | 79           | 17        | 21.5%        | 262                   | 124        | 47.3%        | 377           | 144        | 38.2%        |
| 武蔵村山市       | 52           | 5        | 9.6%         | 78           | 10        | 12.8%        | 192                   | 85         | 44.3%        | 322           | 100        | 31.1%        |
| 多摩市         | 68           | 12       | 17.6%        | 152          | 42        | 27.6%        | 402                   | 218        | 54.2%        | 622           | 272        | 43.7%        |
| 稲城市         | 49           | 15       | 30.6%        | 81           | 20        | 24.7%        | 197                   | 72         | 36.5%        | 327           | 107        | 32.7%        |
| 羽村市         | 63           | 9        | 14.3%        | 102          | 21        | 20.6%        | 202                   | 117        | 57.9%        | 367           | 147        | 40.1%        |
| あきる野市       | 46           | 3        | 6.5%         | 101          | 22        | 21.8%        | 196                   | 76         | 38.8%        | 343           | 101        | 29.4%        |
| 西東京市        | 71           | 6        | 8.5%         | 173          | 58        | 33.5%        | 375                   | 185        | 49.3%        | 619           | 249        | 40.2%        |
| 東京都         | 1,661        | 305      | 18.4%        | 5,034        | 1,751     | 34.8%        | 12,390                | 6,405      | 51.7%        | 19,085        | 8,461      | 44.3%        |

※東京都については平成27年4月1日現在

※東京都生活文化局都民生活部男女平等参画課作成「平成28年度区市町村男女平等参画施策推進状況調査報告」より作成

## **Ⅶ 参考資料**

- 資料No. 1 自己点検票書式
- 資料No. 2 平成 29 年度会議の開催状況
- 資料No. 3 国分寺市男女平等推進行動計画の概要
- 資料No. 4 国分寺市男女平等推進条例
- 資料No. 5 国分寺市男女平等推進協議会設置規程

| 平成28年度 国分寺市男女平等推進行動計画 自己点検票                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                     | 事業No.                                                                                                                            | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      |                     |            |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------|------------|------------|------------|--|-------|--|-----|--|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|--------|---|----|----|----|---------|---------|--|--|-----------|---|---|---|---|--------|--------|--|--|---------|--|--|--|--|--|--|--------|
| 担当課                                                                                                               | 文化と人権課                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                  | 条例第3条第1項1号～5号のうち、事業に該当する理念を選択して記入する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |      |                     |            |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
| 男女平等推進の視点                                                                                                         | 1号                                                                                                                                                                                                                                                                  | 性別にかかわらずけれども、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |                     |            |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
|                                                                                                                   | 基本目標                                                                                                                                                                                                                                                                | 1                                                                                                                                | 男女の人権を尊重するまち                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |      |                     |            |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
| 対象事業                                                                                                              | 課題                                                                                                                                                                                                                                                                  | 1                                                                                                                                | 男女平等意識の醸成                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |                     |            |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
|                                                                                                                   | 施策名                                                                                                                                                                                                                                                                 | (1)                                                                                                                              | 家庭や地域における男女平等の意識づくり                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |      |                     |            |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
|                                                                                                                   | 事業名                                                                                                                                                                                                                                                                 | ①                                                                                                                                | 男女平等に関する学習機会の提供                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |                     |            |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
| 事業内容                                                                                                              | 男女平等推進センターや公民館で、女性のエンパワーメントや性別役割分担意識の解消などをテーマに講座等を開催します。男女平等への理解を広げる企画を充実し、若年層とともに進める事業に取り組みます。幅広い世代が参加できるよう、テーマや開催日時の工夫をします。<br>◇男女平等推進条例、男女平等推進行動計画の周知 ◇多様な団体との連携による広報 ◇公民館保育室事業の実施<br>◇男女平等の保育、幼児教育の促進 ◇若年層とともに進める事業の実施 ◇市...                                    |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |                     |            |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
| 事業実績                                                                                                              | ●事業実績を書いてください。<br>(例) 女性のエンパワーメントを目的に講座を開催した。他団体との連絡会を初めて開催した。<br>○庁内横断的に男女平等の概念を事業に浸透させるため、男女平等推進センターの各種講座を実施する際には連携できる部署がないか検討し、あれば連携を働きかけた。その結果、各課の事業と男女平等施策とを関連付けることができた。連携した際に各課の担当職員と関わることで、職員への情報提供も同時に行うことができた。<br>○若年層向けのデートDV防止リーフレットを作成し、市内都立高校の生徒に配付した。 |                                                                                                                                  | ●特記事項 ※行動計画規定外の事業で、関連事業として実施し、成果をあげたものがあればご記入ください。評価の際に加点します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |      |                     |            |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
|                                                                                                                   | ●数値化可能な事業について、回数、参加者数(男女比)、予算などを書いてください。<br>(例) 講座、他団体との連絡会、啓発チラシ配布など                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                  | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">回数(回)</th> <th colspan="2">人数(人)</th> <th colspan="2">予算(円)</th> <th colspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>評価年度</th> <th>前年度</th> <th>評価年度</th> <th>前年度</th> <th>評価年度</th> <th>前年度</th> <th>評価年度</th> <th>前年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関連主催講座</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>257,000</td> <td>257,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>他課との連携講座数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>59,000</td> <td>59,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>チラシ配布枚数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>約5,000</td> <td>約4,000</td> </tr> </tbody> </table> |      |                     | 回数(回)      |            | 人数(人)      |  | 予算(円) |  | その他 |  | 評価年度 | 前年度 | 評価年度 | 前年度 | 評価年度 | 前年度 | 評価年度 | 前年度 | 関連主催講座 | 9 | 10 | 26 | 26 | 257,000 | 257,000 |  |  | 他課との連携講座数 | 2 | 2 | 7 | 7 | 59,000 | 59,000 |  |  | チラシ配布枚数 |  |  |  |  |  |  | 約5,000 |
|                                                                                                                   | 回数(回)                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                  | 人数(人)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |      |                     | 予算(円)      |            | その他        |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
|                                                                                                                   | 評価年度                                                                                                                                                                                                                                                                | 前年度                                                                                                                              | 評価年度                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 前年度  | 評価年度                | 前年度        | 評価年度       | 前年度        |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
| 関連主催講座                                                                                                            | 9                                                                                                                                                                                                                                                                   | 10                                                                                                                               | 26                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 26   | 257,000             | 257,000    |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
| 他課との連携講座数                                                                                                         | 2                                                                                                                                                                                                                                                                   | 2                                                                                                                                | 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 7    | 59,000              | 59,000     |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
| チラシ配布枚数                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |                     |            | 約5,000     | 約4,000     |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
| 事業の評価                                                                                                             | ●下記の各「評価の視点」から見て、前年度と比べた推進状況(A～D)を評価してください。                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                  | 所管で自己評価する                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |      |                     |            |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
|                                                                                                                   | 事業評価の視点                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                  | 当年度(n)評価                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 数値換算 | 前年度(n-1)評価          | 前年度(n-2)評価 | 前年度(n-3)評価 | 前年度(n-4)評価 |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
|                                                                                                                   | 男女平等に関する学習機会の提供は行われたか                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                  | A                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 4    | A                   | A          | A          |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
|                                                                                                                   | 評価理由                                                                                                                                                                                                                                                                | 男女平等に関する各種講座を開催した。児童館での講座や市内都立高校へのリーフレット配付を行い、若年層へ男女平等・DV理解促進に取り組んだ。                                                             | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 3    | B                   | A          | A          |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
|                                                                                                                   | 評価理由                                                                                                                                                                                                                                                                | 市民にむけての意識啓発の方法は、適切で、効果的であった。                                                                                                     | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 3    | B                   | A          | A          |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
| 評価理由                                                                                                              | 講座開催時には市報掲載・チラシ配架を行い、市民の目にとまるよう努めた。また、講師と綿密な打ち合わせを行うことで、テーマに則した講座を開催することができた。                                                                                                                                                                                       | B                                                                                                                                | 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | B    | A                   | A          |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
| 評価理由                                                                                                              | 事業実施により、男女平等に関する市民の理解を進めることができた。                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |                     |            |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
| 評価理由                                                                                                              | 講座アンケートの回答では、「参加してよかった」「意識が変わった」が大多数を占め、市民の理解を進めることができたと思う。                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |                     |            |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
| 評価の説明                                                                                                             | 【評価の基準】<br>A=前年度よりも実績があがった B=前年度と同様のかかった 達成=計画所定の事業内容を達成した 休止・廃止=計画に基づき、中止・廃止した<br>【数値換算の方法について】<br>各事業評価の視点における評価につき、A=4 B=3 C=2 D=1 達成=4 休止・廃止=1点として合計点を事業評価の視点数3で除し、各アルファベットの規定点を超えるものについては☆をつけてプラス評価とした。                                                        |                                                                                                                                  | ●計画改定時(24年度)と比べた場合の推進状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |      | ●総合的に見た場合の当該年度の推進状況 |            |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
|                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                  | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |      | B☆                  |            |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |
| ●平成24～28年度を通じた評価<br>講座開催により、男女平等に関する学習機会を提供した。アンケートにおいても、「参加してよかった」「意識が変わった」との回答が大多数を占め、男女平等に関する市民の理解促進を図ることができた。 |                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |      |                     |            |            |            |  |       |  |     |  |      |     |      |     |      |     |      |     |        |   |    |    |    |         |         |  |  |           |   |   |   |   |        |        |  |  |         |  |  |  |  |  |  |        |

## 資料No. 2 平成 29 年度会議の開催状況

### (1) 国分寺市男女平等推進委員会

|       | 開催日               | 検討内容                                  |
|-------|-------------------|---------------------------------------|
| 第 1 回 | 平成 29 年 12 月 15 日 | ・年間スケジュールと今年度評価手法の説明<br>・次回以降の委員会日程検討 |
| 第 2 回 | 平成 30 年 1 月 19 日  | ・平成 24～28 年度（第 1 次後期計画）進捗状況の評価        |
| 第 3 回 | 平成 30 年 1 月 31 日  | ・平成 24～28 年度（第 1 次後期計画）進捗状況の評価        |
| 第 4 回 | 平成 30 年 2 月 2 日   | ・平成 24～28 年度（第 1 次後期計画）進捗状況の評価        |
| 第 5 回 | 平成 30 年 2 月 13 日  | ・施策評価内容の最終確認<br>・答申案審議，決定             |

### ○平成 29 年度 国分寺市男女平等推進委員会委員

（任期：平成 28 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日）

| 氏名     | 所属等                                  | 選出区分                                |
|--------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 吉田 英子  | フェミニネット奏                             | 1 号委員<br>（男女平等社会の実現に向けて活動している団体の代表） |
| 織井 恵美子 | 国際ソロプチミスト国分寺                         |                                     |
| 堀江 由香里 | 特定非営利活動法人 ArrowArrow                 |                                     |
| 升田 範夫  | 一般市民公募                               | 2 号委員<br>（公募市民）                     |
| 北島 稔   | 一般市民公募                               |                                     |
| 中村 洋子  | 一般市民公募                               |                                     |
| 苫米地 伸  | 東京学芸大学准教授                            | 3 号委員<br>（識見を有する者）                  |
| ◎長津 芳  | 元国分寺市立第七小学校校長                        |                                     |
| ○橋本 恭子 | 一橋大学特別研究員<br>日本社会事業大学・津田塾大学<br>非常勤講師 |                                     |

◎…委員長    ○…副委員長

### (2) 国分寺市男女平等推進協議会

|       | 開催日              | 検討内容           |
|-------|------------------|----------------|
| 第 1 回 | 平成 30 年 2 月 20 日 | ・施策別推進状況評価について |

○平成 29 年度 国分寺市男女平等推進協議会委員

| 役職          | 氏名     |
|-------------|--------|
| 副市長（会長）     | 内藤 達也  |
| 市民生活部長（副会長） | 小川 恵一郎 |
| 政策部長        | 水越 寿男  |
| 総務部長        | 塩野目 龍一 |
| 福祉保健部長      | 一ノ瀬 理  |
| 子ども家庭部長     | 可児 泰則  |
| 教育部長        | 堀田 順也  |

(3) 国分寺市男女平等推進専門委員会

|       | 開催日             | 検討内容        |
|-------|-----------------|-------------|
| 第 1 回 | 平成 30 年 2 月 5 日 | ・事業推進状況評価審議 |
| 第 2 回 | 平成 30 年 2 月 6 日 | ・事業推進状況評価審議 |

○平成 29 年度 国分寺市男女平等推進専門委員会委員

(任期：平成 30 年 2 月 5 日から平成 32 年 2 月 4 日)

| 所属                                 | 氏名     |
|------------------------------------|--------|
| 政策部政策法務担当課長                        | ◎柳井 幸  |
| 政策部財政課主任                           | 望月 聖文  |
| 総務部課税課                             | 岩淵 裕太  |
| 市民生活部市民課                           | 松浦 穂里  |
| 市民生活部スポーツ振興課<br>オリンピック・パラリンピック担当係長 | ○秋山 大輔 |
| 福祉保健部地域福祉課主任                       | 田中 由佳  |
| 福祉保健部生活福祉課主任                       | 小池 純子  |
| 福祉保健部障害福祉課                         | 京極 充慶  |
| 子ども家庭部子ども子育て事業課                    | 矢澤 拓磨  |
| 子ども家庭部子育て相談室主任                     | 加藤 篤志  |
| 教育部教育総務課主任                         | 大嶽 みなみ |
| 教育部学校指導課指導主事                       | 福澤 真吾  |
| 教育部公民館課主任                          | 櫻井 奈穂子 |
| 教育部図書館課                            | 清水 美紀  |

◎…委員長 ○…副委員長

## 資料No.3 国分寺市男女平等推進行動計画の概要

### 1 計画の目的

本計画は、国分寺市男女平等推進条例第9条に基づき、男女平等社会の実現に向けて、国分寺市において男女平等推進施策を総合的かつ計画的に推進するために策定するものです。

### 2 計画の位置付け

- (1) 国分寺市男女平等推進条例第9条に基づき策定する計画です。
- (2) 男女共同参画社会基本法第14条第3項の規定に基づき市が策定する、男女平等推進に関する施策についての基本的な計画です。
- (3) 「課題3 性別に起因する暴力や人権侵害の根絶」の「施策(1) ドメスティック・バイオレンスの予防のための取組み」から「施策(3) 相談業務の充実と関係機関との連携」は、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律第2条の3第3項に基づく、国分寺市における「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策の実施に関する基本的な計画」(市町村基本計画)に相当します。

### 3 計画の期間

第4次国分寺市長期総合計画の実施年度に合わせ、期間を平成20(2008)年度から平成28(2016)年度の9年間としています。平成23(2011)年度に計画の見直しを行い、平成24(2012)年度から中間見直し計画を施行しました。

### 4 計画の推進

#### (1) 推進体制

市長の附属機関である「国分寺市男女平等推進委員会(以下「推進委員会」という。)」において、男女平等推進施策に関わる重要事項や行動計画の進捗状況について、専門的あるいは市民的地から調査審議し、市長に答申します。推進委員会からの答申をふまえて、男女平等推進施策を展開します。推進委員会は、男女平等社会の実現に向けて活動する団体の代表4人以内、公募市民3人以内、識見を有する者3人以内の10人以内で構成されます。

全庁にわたる横断的な推進体制として、副市長を会長とし6人の部長で構成する市の内部組織である「国分寺市男女平等推進協議会(以下「推進協議会」という。)」により、男女平等推進施策の総合的な推進と調整を行います。

#### (2) 市民、事業者等との連携と協働

男女平等推進をめぐる課題は、あらゆる分野に深く根ざしています。男女平等社会の実現にむ

けて施策を推進するにあたっては、市民や事業者等との連携や協働が欠かせません。市・市民・事業者等がさまざまな分野で主体的にそれぞれの役割を果たしていくことが望まれます。

### (3) 国や東京都、関係機関との連携

国の法整備や、東京都が広域的に実施すべき事項等については、国や東京都に積極的に働きかけを行うとともに、必要に応じて他の関係機関と連携を図ります。

### (4) 行動計画の効果的な進行管理

計画をより実効性のあるものとするために、年度ごとに推進状況の報告を行い、進捗状況を示します。また、国分寺市男女平等推進条例第 10 条に基づき推進委員会からの意見を聴取し、年次報告書を作成し、公表します。

進捗状況の評価にあたっては、評価基準を明確にし、それをもとに評価した結果を計画の見直しに反映します。

## 5 計画の基本理念

本計画に基づき施策を推進するにあたっては、国分寺市男女平等推進条例第 3 条に規定する基本理念をこの計画の基本理念とします。

(1) 性別にかかわらずだれもが、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダー(社会的性別)による固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること。

(2) 性別の観点から、社会における制度又は慣行をできる限り中立なものにすること。

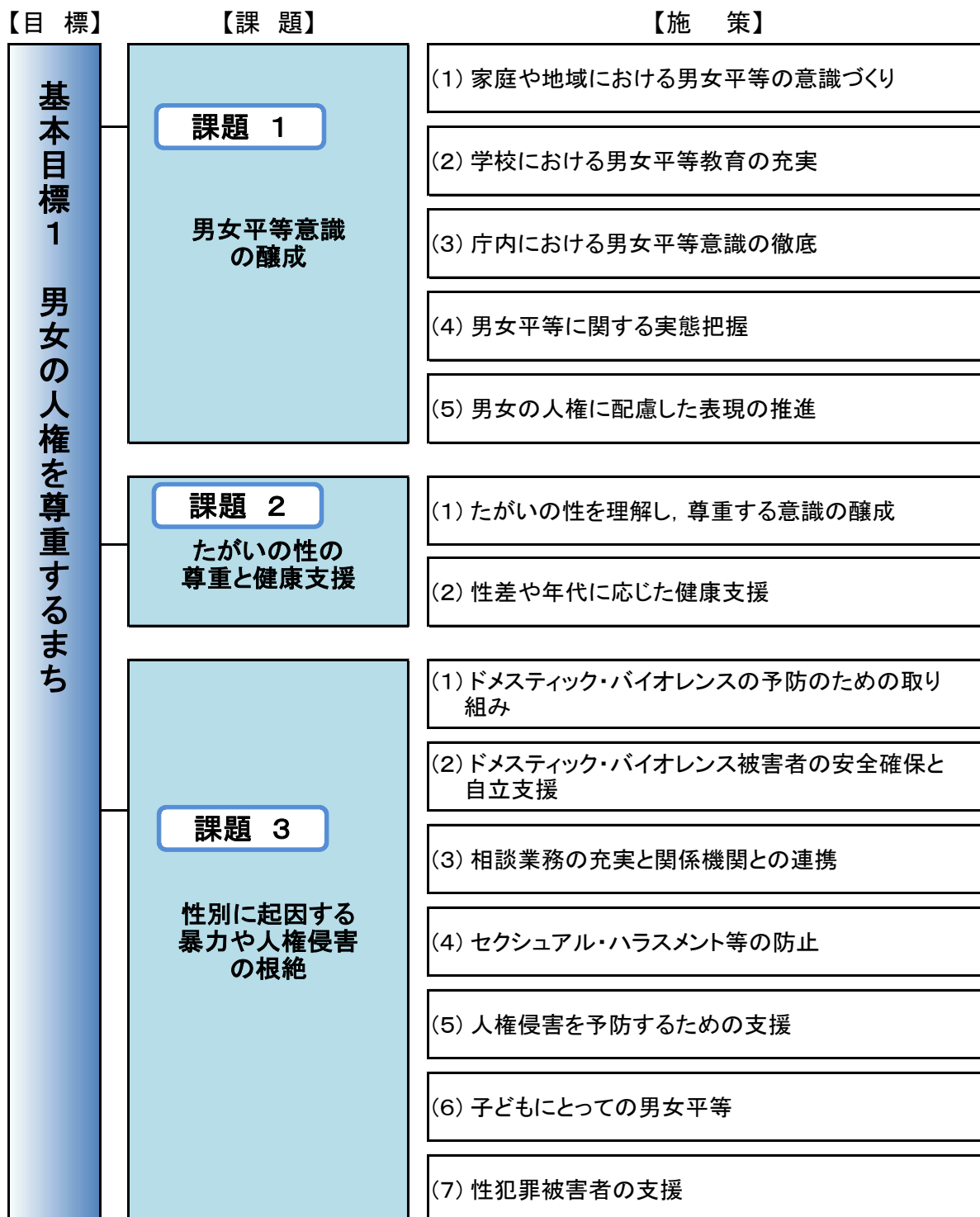
(3) 市における政策又は事業者等における方針の立案若しくは決定をはじめとするあらゆる場に、性別にかかわらずだれもが対等に参加できること。

(4) 性別にかかわらずだれもが、家庭内での協力及び社会的支援のもとに、子育てや介護等家族としての役割を果たすことと、職場や地域等において活動することとを両立できるようにすること。

(5) 国際社会における取組みと密接な関係があることを認識して、取組みを推進すること。



**【施策体系図】**



【目 標】

【課 題】

【施 策】

基本目標 2

男女が平等に社会参画できるまち

課題 4

就労における  
男女平等の推進

(1) 事業者への啓発と支援

(2) 男女平等の視点による調達の様子の検討

(3) 起業・再就職への支援

(4) 働き方における格差の是正

課題 5

男女共同参画  
を支える  
環境の充実

(1) ワークライフバランス(仕事と生活との調和)の  
推進

(2) 子育てへの支援

(3) 介護への支援

(4) 生活の安定と自立の促進

(5) 高齢者の虐待防止

課題 6

政策・方針等の  
意思決定への  
男女共同参画

(1) 庁内における男女共同参画

(2) 地域における男女共同参画

(3) 新たに取り組むを必要とする分野への男女共同  
参画

目次

前文

- 第1章 総則(第1条—第7条)
- 第2章 性別による権利侵害の禁止等(第8条)
- 第3章 基本的施策(第9条・第10条)
- 第4章 具体的施策(第11条—第17条)
- 第5章 男女平等推進センター(第18条—第22条)
- 第6章 苦情等への対応(第23条・第24条)
- 第7章 男女平等推進委員会(第25条・第26条)
- 第8章 雑則(第27条)

附則

人はだれもが「ただその人である」というだけで、かけがえのない存在です。だれもが等しく尊く、性別にかかわらず平等です。

これまで、我が国では個人の尊重と法の下での平等がうたわれている日本国憲法の下、「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約」を批准し、国際社会における取組と連動して、男女共同参画社会基本法の制定等の法整備が進められてきました。国分寺市においては、昭和63年に国分寺市婦人行動計画を策定し、男女平等社会の実現に向けて、市民とともに様々な取組を進めてきました。

しかし、いまだに多くの課題が残されています。ジェンダーによる固定的な役割分担意識とその役割分担意識に基づく社会の慣行には、個々人の自由な活動や生き方の選択を制限するものがあります。ときには一人の人間としての権利まで奪われることがあります。ドメスティック・バイオレンスなど性別に起因する暴力はその現れです。これらの課題の解消に向けて一層の努力が必要です。

人はだれもが多様で自由な存在であり、自分らしく生きる権利を有しています。

国分寺市は、すべての人が性別にかかわらず個人として尊重され、認め合い、支え合いながら、ともに生きることのできる男女平等社会の実現を目指して、この条例をつくります。

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、男女共同参画社会基本法(平成11年法律第78号)の理念に基づき、国分寺市(以下「市」という。)における男女平等社会の実現に関し、基本理念並びに市、市民及び事業者等の責務を定め、市の施策の基本的事項を明らかにするとともに、男女平等社会の実現のための施策(以下「男女平等推進施策」という。)を総合的かつ計画的に推進することにより、男女平等社会を実現することを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 男女平等社会 一人ひとりが個人として尊重され、性別に起因する差別を受けず、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、個性及び能力を十分に発揮する機会が保障され、対等な立場でともに協力し合い、責任を分かち合う社会をいう。
- (2) 市民 市内に住む者又は市内で働く者、学ぶ者若しくは活動する者をいう。
- (3) 事業者等 市内において事業を行うもの及び非営利の活動、公共的活動その他の活動を行うものをいう。
- (4) ジェンダー 生まれつきの生物学的性別と異なり、社会通念又は慣習の中にある男性像、女性像等社会によって作られた性別をいう。
- (5) セクシュアル・ハラスメント 職場、学校等社会のあらゆる場で、性的な言動により、他の者を不快にさせ、又はその者の対応に対して更なる不利益を与えることをいう。
- (6) ドメスティック・バイオレンス 配偶者その他親密な関係にある者(過去に配偶者その他親密な関係にあった者を含む。)による身体的暴力又は精神的、性的若しくは経済的に苦痛を与える行為をいう。

(基本理念)

第3条 男女平等社会を実現するため、次に掲げる事項を基本理念とする。

- (1) 性別にかかわらずだれもが、個人として尊重され、性別に起因する差別及び暴力がなく、ジェンダーによる固定的な役割分担意識及びその役割分担意識に基づく社会的な制度又は慣行により、個人の社会における活動の自由な選択が妨げられることなく、多様な生き方が選択できること。
- (2) 性別の観点から、社会における制度又は慣行をできる限り中立なものにすること。
- (3) 市における政策又は事業者等における方針の立案若しくは決定をはじめとするあらゆる場に、性別にかかわらずだれもが対等に参加できること。
- (4) 性別にかかわらずだれもが、家庭内での協力及び社会的支援のもとに、子育て、介護等家族としての役割を果たすことと職場、地域等において活動することとを両立できるようにすること。
- (5) 国際社会における取組と密接な関係があることを認識して取組を推進すること。

(市の責務)

第4条 市は、この条例の基本理念に基づき、男女平等社会の実現に向けて、総合的かつ計画的に施策を実施しなければならない。

- 2 市は、男女平等社会の実現に影響を及ぼすと認められる施策の立案及び決定に当たっては、男女平等社会の実現に配慮しなければならない。
- 3 市は、自らも事業者等であることを認識し、その労働環境において男女平等社会の実現に向けた取組を積極的に推進しなければならない。
- 4 市は、男女平等社会の実現に向けて、市民及び事業者等と協力して取り組まなければならない。
- 5 市は、男女平等社会の実現に向けて、国及び他の地方公共団体と協力して取り組まなければならない。

(市民の責務)

第5条 市民は、職場、学校、地域、家庭その他の社会のあらゆる場において、この条例の基本理念に基づき、男女平等社会の実現に向けて取り組むよう努めなければならない。

2 市民は、市が実施する男女平等推進施策に協力するよう努めなければならない。

(事業者等の責務)

第6条 事業者等は、その活動を行うに当たっては、この条例の基本理念に基づき、男女平等社会の実現に向けて取り組むよう努めなければならない。

2 事業者等は、労働環境の整備に当たっては、その労働者が性別にかかわらず、子育て、介護又は地域活動と、仕事とを両立できるよう努めなければならない。

3 事業者等は、市が実施する男女平等推進施策に協力するよう努めなければならない。

(市民及び事業者等の協力)

第7条 市民及び事業者等は、互いに協力して男女平等社会の実現に向けて取り組むよう努めなければならない。

## 第2章 性別による権利侵害の禁止等

(性別による権利侵害の禁止等)

第8条 何人も、あらゆる場において、直接的であるか間接的であるかを問わず、性別に起因する差別的行為又は取扱いを行ってはならない。

2 何人も、ドメスティック・バイオレンス、子どもに対する性的暴力その他性別に起因する暴力を行ってはならない。

3 何人も、セクシュアル・ハラスメントを行ってはならない。

4 何人も、ストーカー行為(ストーカー行為等の規制等に関する法律(平成12年法律第81号)第2条(定義)第3項に規定するストーカー行為をいう。)を行ってはならない。

5 何人も、外部に情報を提供するときは、前各項に規定する禁止行為及び取扱い並びにジェンダーによる固定的な役割分担を助長する表現を行わないよう配慮しなければならない。

## 第3章 基本的施策

(行動計画等)

第9条 市長は、この条例の基本理念に基づき、男女平等推進施策を総合的かつ計画的に推進するため、男女平等推進行動計画を策定しなければならない。

2 市長は、男女平等推進行動計画の策定及び変更に当たっては、第25条に規定する国分寺市男女平等推進委員会の意見を聴くとともに、市民及び事業者等の意見を反映するよう努めなければならない。

3 市長は、男女平等推進行動計画を策定し、又は変更したときは、速やかにこれを公表しなければならない。

(年次報告)

第10条 市長は、男女平等推進行動計画に基づく施策の実施状況について、第25条に規定する国分寺市男女平等推進委員会の意見を聴いて年次報告書を作成し、公表しなければならない。

#### 第4章 具体的施策

(啓発活動及び教育による普及)

第11条 市は、男女平等社会の実現に関し、学校教育、生涯学習その他のあらゆる学習の場を通じて、市民及び事業者等の理解を深めるよう必要な措置を講じなければならない。

(雇用の分野における施策)

第12条 市は、雇用の分野における男女平等社会の実現に向けた取組を進めるため、事業者等に対する情報の提供その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

2 市は、市と契約を締結した事業者等に対し、男女平等推進施策に関する広報及び調査への協力を求めることができる。

(生涯にわたる健康への支援)

第13条 市は、男女が対等な関係の下、妊娠、出産、更年期等に関して互いに理解し、尊重し合い、男女が生涯を通じて健康な生活を営むことができるよう必要な措置を講じなければならない。

(ドメスティック・バイオレンス等の防止)

第14条 市は、ドメスティック・バイオレンスその他性別に起因する暴力を防止し、その被害者に必要な支援を行うための措置を講じなければならない。

(委員構成)

第15条 市は、附属機関等の委員の構成に当たっては、男女の意見がともに会議に反映されるよう努めなければならない。

(調査研究)

第16条 市は、男女平等社会の実現のため、必要な調査研究を行わなければならない。

(財政上の措置等)

第17条 市は、男女平等社会の実現のため、財政上の措置その他必要な措置を講じなければならない。

#### 第5章 男女平等推進センター

(設置)

第18条 この条例の基本理念に基づき、男女平等推進施策を実施し、市民及び事業者等による男女平等社会の実現に向けた取組を支援するため、国分寺市立男女平等推進センター(以下「男女平等推進センター」という。)を設置する。

(位置)

第19条 男女平等推進センターの位置は、次のとおりとする。

国分寺市光町一丁目46番地8

(愛称)

第20条 男女平等推進センターの愛称は、「ライツこくぶんじ」とする。

(事業)

第21条 男女平等推進センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 情報及び学習の機会の提供
- (2) 市民及び事業者等相互の交流の機会及び場の提供
- (3) 相談に関する事業
- (4) 図書及び資料の収集並びに提供に関する事業
- (5) 前各号に定めるもののほか、市長が必要と認める事業

(管理及び運営)

第22条 この章に定めるもののほか、男女平等推進センターの管理及び運営に関する事項は、別に定める。

## 第6章 苦情等への対応

(施策への苦情又は改善提案の申出への対応)

第23条 市長は、市が実施する男女平等推進施策又は男女平等社会の実現に影響を及ぼすと認められる施策に関する市民からの苦情又は改善提案に対し、適切に対応しなければならない。

2 市長は、前項の場合において、男女平等推進施策に係る重要事項と認めるときは、第25条に規定する国分寺市男女平等推進委員会に諮問しなければならない。

(性別に起因する人権侵害に係る相談への対応)

第24条 市長は、性別に起因する人権侵害に係る相談については、関係機関、関係団体等と連携を図るとともに、相談した者に配慮した対応に努めなければならない。

## 第7章 男女平等推進委員会

(男女平等推進委員会の設置及び組織)

第25条 市の男女平等推進施策を総合的かつ計画的に推進するため、市長の附属機関として、国分寺市男女平等推進委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会は、市長の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議し、答申するほか、当該事項について市長に建議することができる。

- (1) 男女平等推進施策に係る重要事項に関すること。
- (2) 男女平等推進行動計画の進捗状況に関すること。

3 委員会は、次に掲げる委員10人以内をもって組織し、市長が委嘱する。

- (1) 男女平等社会の実現に向けて活動している団体の代表者 4人以内
- (2) 公募により選出された市民 3人以内
- (3) 識見を有する者 3人以内

- 4 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。
- 6 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 7 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(委員会の会議)

第26条 委員会は、委員長が招集し、委員長は、会議の議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 4 委員会は、会議の運営上必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴き、又は委員以外の者から資料の提出を求めることができる。
- 5 委員会の会議は、公開する。ただし、国分寺市附属機関の設置及び運営の基本に関する条例(平成11年条例第26号)第5条(会議の公開)ただし書の規定に該当する場合は、当該会議の全部又は一部を公開しないことができる。
- 6 委員会の庶務は、市民生活部文化と人権課において処理する。

(平成25年条例第42号・一部改正)

## 第8章 雑則

(委任)

第27条 この条例に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

## 附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成19年6月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際、現に存する国分寺市女性行動計画は、この条例第9条第1項の規定により策定された男女平等推進行動計画とみなす。

(国分寺市男女平等推進委員会条例の廃止)

- 3 国分寺市男女平等推進委員会条例(平成3年条例第8号。以下「旧条例」という。)は、廃止する。

(国分寺市男女平等推進委員会条例の廃止に伴う経過措置)

- 4 この条例の施行の際、現に旧条例第3条第2項の規定に基づき委嘱された委員については、この条例第25条第3項の規定により委嘱されたものとみなす。この場合において、当該委員の任期は、旧条例の規定に基づき委嘱された期間を控除した期間とする。

(国分寺市立女性センター条例の一部改正)



5 国分寺市立女性センター条例(平成6年条例第24号)の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

附 則(平成25年条例第42号)抄  
(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則(平成29年条例第15号)  
この条例は、交付の日から施行する。

## 資料No.5 国分寺市男女平等推進協議会設置規程

平成10年8月24日

訓令第15号

### (設置)

第1条 国分寺市における男女平等社会の実現のための施策(以下「男女平等推進施策」という。)を総合的に推進するため、国分寺市男女平等推進協議会(以下「推進協議会」という。)を設置する。

(平成19年訓令第25号・一部改正)

### (所掌事項)

第2条 推進協議会は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 男女平等推進施策の総合調整
- (2) 男女平等推進行動計画の策定及び進行管理に関すること。
- (3) その他男女平等推進施策に関する重要事項

(平成16年訓令第24号・平成19年訓令第25号・一部改正)

### (組織)

第3条 推進協議会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 副市長
- (2) 政策部長
- (3) 総務部長
- (4) 市民生活部長
- (5) 福祉保健部長
- (6) 子ども福祉部長
- (7) 教育部長

(平成14年訓令第5号・平成16年訓令第24号・平成18年訓令第36号・平成19年訓令第5号・平成23年訓令第22号・平成26年訓令第16号・一部改正)

### (会長及び副会長)

第4条 推進協議会に会長及び副会長を置き、会長は副市長、副会長は市民生活部長をもって充てる。

- 2 会長は、推進協議会を代表し、推進協議会の会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(平成16年訓令第24号・全改, 平成18年訓令第36号・一部改正)

### (推進協議会の会議)

第5条 推進協議会の会議は、会長が招集し、会長は、会議の議長となる。

(平成16年訓令第24号・一部改正)

### (男女平等推進専門委員会)

第6条 推進協議会に男女平等推進専門委員会(以下「専門委員会」という。)を置く。

- 2 専門委員会は、第2条第2号及び第3号に規定する事項について調査検討し、その結果を会長に報告する。

(平成16年訓令第24号・平成19年訓令第25号・一部改正)

(専門委員会の組織)

第7条 専門委員会は、次に掲げる部の職員14人以内をもって組織し、市長が任命し、又は委嘱する。

- (1) 政策部 2人以内
- (2) 総務部 1人
- (3) 市民生活部 2人以内
- (4) 福祉保健部 3人以内
- (5) 子ども福祉部 2人以内
- (6) 教育部 4人以内

(平成19年訓令第27号・全改, 平成21年訓令第24号・一部改正)

(専門委員会の委員長及び副委員長)

第8条 専門委員会に委員長及び副委員長を置き、会長が指名する。

2 委員長は、専門委員会を代表し、専門委員会の会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(平成16年訓令第24号・一部改正)

(専門委員会の会議)

第9条 専門委員会の会議は、委員長が招集し、委員長は、会議の議長となる。

(平成16年訓令第24号・一部改正)

(任期)

第10条 専門委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、専門委員が欠けた場合における補欠専門委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(平成19年訓令第25号・追加)

(意見の聴取等)

第11条 推進協議会及び専門委員会(以下「推進協議会等」という。)は、会議の運営上必要があると認めるときは、委員及び専門委員(以下「委員等」という。)以外の者を会議に出席させ、その意見を聴き、又は委員等以外の者から資料の提出を求めることができる。

(平成16年訓令第24号・追加, 平成19年訓令第25号・旧第14条繰上・一部改正)

(庶務)

第12条 推進協議会等の庶務は、市民生活部文化と人権課において処理する。

(平成14年訓令第5号・一部改正, 平成16年訓令第24号・旧第10条繰下・一部改正, 平成19年訓令第25号・旧第15条繰上, 平成26年訓令第16号・一部改正)

(委任)

第13条 この規程に定めるもののほか推進協議会等の運営に関し必要な事項は、別に定める。


(平成16年訓令第24号・旧第11条繰下・一部改正, 平成19年訓令第25号・旧第16条繰上)

附 則

この訓令は、平成10年9月1日から施行する。

[以下略]





国分寺市男女平等推進行動計画  
(国分寺市配偶者等からの暴力防止及び被害者支援に関する基本計画)  
平成 28 年度及び第 1 次後期(平成 24~28 年度)  
進捗状況評価報告書

平成 30 年 3 月発行  
国分寺市 市民生活部 文化と人権課  
国分寺市光町 1-46-8 ひかりプラザ 2 階  
電話 : 042-573-4378  
FAX : 042-573-4388